



APPROACH S72

操作マニュアル

目次

はじめに.....	1
使用開始にあたって.....	1
デバイス概要.....	1
タッチスクリーン操作のヒント.....	2
タッチスクリーンをロック / ロック解除する.....	2
ゴルフ.....	3
ラウンドを開始する.....	3
ゴルフアイコンの読み方.....	4
ラウンドオプション.....	4
ゴルフ設定.....	4
グリーン上のピンの位置を変更する.....	5
バーチャルキャディ.....	5
ハザード情報 / レイアップ距離を確認する.....	6
タッチターゲティングで距離を計測する(3 点間距離計測).....	6
ホールを変更する.....	6
ボール検索タイマーを設定する.....	6
Green Contour 機能.....	7
パットラインを読む(グリーンリーディング機能).....	7
スコアを記録する.....	7
スコア設定をカスタマイズする.....	8
スコア記録方法を設定する.....	8
ラウンド概要記録を有効にする.....	8
スコア履歴.....	9
ハンディキャップスコアを有効にする.....	9
ピンの方向を確認する.....	9
ラウンド情報を確認する.....	10
Garmin AutoShot 機能でショットを計測する.....	10
ショットを手動で計測する.....	10
クラブ統計を確認する.....	11
カスタムターゲットを保存する.....	11
数字を大きく表示する(ビッグナンバーモード).....	11
PlaysLike 距離を確認する.....	11
ラウンドを中断 / 終了する.....	11
ドライビングレンジアクティビティを開始する.....	12
スイング指標.....	12
理想的なスイングテンポ.....	12
スイングテンポを分析する.....	13
ゴルフクラブのリストをカスタマイズする.....	13

アクティビティ & アプリ.....	15
アプリ.....	15
ヘルススナップショット.....	16
保存済みアプリを使用する.....	16
音声メモを録音する.....	17
Messenger アプリを使用する.....	17
音声コマンドを使用する.....	18
音声コマンド一覧.....	18
Garmin Pay.....	20
Garmin Pay ウォレットをセットアップする.....	20
登録済みの参加銀行カードで支払いをする.....	20
Garmin Pay ウォレットにカードを追加する.....	20
Garmin Pay のカードを管理する.....	21
Garmin Pay のパスコードを変更する.....	21
アクティビティ.....	21
アクティビティを開始する.....	22
アクティビティ記録のヒント.....	22
アクティビティを終了する.....	22
アクティビティを自己評価する.....	23
アクティビティ記録中にスポーツを切り替える.....	23
ランニング.....	24
ランを開始する.....	24
トラックランを開始する.....	24
バーチャルランを開始する.....	24
トレッドミル距離を校正する.....	25
障害物レースアクティビティを記録する.....	25
ウルトラランアクティビティを記録する.....	25
サイクリング.....	26
ライドを開始する.....	26
屋内トレーナーを使用する.....	26
パワーガイド.....	26
パワーガイドを作成する.....	27
スイミング.....	27
プールスイムを開始する.....	27
スイム用語.....	27
スイムアクティビティのヒント.....	28
スイムアクティビティの自動休息と手動休息.....	28
ドリル記録でトレーニングする.....	28
マルチスポーツ.....	29
トライアスロントレーニング.....	29
混合セッションアクティビティを記録する.....	29
マルチスポーツアクティビティを新規追加する.....	30

ジム	30	コントロールメニュー	45
筋力トレーニングアクティビティを記録する	30	コントロールメニューをカスタマイズする ..	48
HIIT アクティビティを記録する	31	LED フラッシュライトを使用する	48
モビリティアクティビティを記録する	32	フラッシュライトストロボをカスタマイズする	48
屋外アクティビティ	32	コントロールメニューからフラッシュライトを使用する	49
ボルダリングアクティビティを記録する	32	サイレントモードを使用する	49
Expedition を開始する	32	トレーニング	50
軌跡ポイントを手動で記録する	32	ライフログ	50
軌跡ポイントを確認する	33	自動ゴール.....	50
ウィンタースポーツ	33	睡眠トラッキング	50
スキーの滑走を確認する	33	呼吸変動	50
その他のアクティビティ	33	Move IQ.....	51
ブレスワークアクティビティを記録する	33	ワークアウト	51
瞑想アクティビティを記録する	33	ワークアウトを実行する	51
アクティビティ&アプリ設定のカスタマイズ ..	34	今日のおすすめワークアウトを実行する	52
アプリのリストをカスタマイズする	34	Garmin Connect からワークアウトをデバイスに転送する	52
アクティビティのお気に入りリストをカスタマイズする	34	インターバルワークアウト	52
お気に入りのアクティビティをピン留めする	34	インターバルワークアウトを実行する	52
トレーニングページをカスタマイズする	34	インターバルワークアウトを作成する	53
カスタムアクティビティを作成する	35	インターバルワークアウトを停止する	53
アクティビティ設定	35	ターゲットトレーニング	53
アクティビティのアラート	37	PacePro トレーニング	54
アラートを設定する	38	Garmin Connect から PacePro プランをダウンロードする	54
アクティビティ実行中にオーディオアラートを再生する	38	デバイスで PacePro プランを作成する	54
ルーティング設定	38	PacePro プランを開始する	54
ClimbPro を使用する	39	レース	55
自動クライムをオンにする	39	レースカレンダーとプライマリレース	55
GPS 設定を変更する	39	レースに向けてトレーニングする	56
セグメント	40	クリティカルスイムスピードテストを実行する	56
表示	41	バーチャルパートナー	57
ウォッチフェイス設定	41	トレーニングカレンダー	57
ウォッチフェイスをカスタマイズする	41	Garmin コーチのプラン	57
ウィジェット	41	自己評価をオンにする	57
ウィジェットを確認する	43	パフォーマンス測定機能	57
ウィジェット一覧をカスタマイズする	43	VO2 Max(最大酸素摂取量)	58
Body Battery	43	予想タイムを確認する	59
ヘルスステータス	44	HRV ステータス	59
ストレスウィジェットを使用する	44	パフォーマンスコンディション	60
天気ウィジェットをカスタマイズする	44	ランニングエコノミー	60
時差ぼけアドバイザーを使用する	45	FTP.....	61
株価ウィジェットに銘柄を追加する	45		

乳酸閾値	61	光学式心拍計	77
リアルタイムスタミナを確認する	61	デバイスを装着する	77
パワーカーブ	62	心拍データが不規則な値を示す場合の対処法	77
トレーニングステータス	62	光学式心拍計設定	78
トレーニングステータスのレベル	63	心拍転送モード	78
トレーニングステータスを表示するには	64	血中酸素トラッキング	78
短期的負荷	64	ウィジェットで血中酸素レベルを確認する	79
負荷バランス	64	血中酸素トラッキングのモードを設定する	79
負荷比	64	血中酸素レベルが不規則な値を示す場合	80
トレーニング効果について	65	自動ゴール	80
持久カスコア	65	週間運動量	80
ヒルスコア	66	週間運動量を加算するには	80
トレーニングレディネス	66	睡眠トラッキング	80
リカバリータイム	66	自動睡眠トラッキングを使用する	80
リカバリー心拍	66	地図	81
パフォーマンスの高度適応と暑熱適応	68	地図を確認する	81
ランニング耐久値	69	地図上の地点を保存してナビゲーションする	81
履歴	70	地図上で現在地を追跡する	81
履歴を確認する	70	地図設定	81
マルチスポーツアクティビティの履歴	70	マリン地図設定	82
自己ベスト	70	地図管理	82
自己ベストを確認する	70	Outdoor Maps+ の地図をダウンロードする	82
自己ベストを前回の記録に変更する	70	TopoActive 地図をダウンロードする	83
自己ベストを削除する	71	ゴルフマップを管理する	83
データの合計を確認する	71	地図を削除する	83
通知とアラートの設定	72	地図データを表示 / 非表示する	83
健康&ウェルネスアラート	72	ナビゲーション	84
異常心拍アラートを設定する	72	目的地へナビゲーションする	84
Move アラート	72	周辺の POI を検索してナビゲーションする	84
モーニングレポート	73	現在のアクティビティのスタート地点へナビゲーションする	84
モーニングレポートをカスタマイズする	73	ナビゲーションを中止する	85
イブニングレポート	73	ポイント	85
イブニングレポートをカスタマイズする	73	ポイントを保存する	85
日の入まで / 日の出まで / 1 時間ごとアラートを設定する	73	デュアルグリッド位置を保存する	85
ストームアラートを設定する	73	Garmin Connect アプリでマップ上の地点を共有する	85
スマートフォン接続アラートをオン / オフにする	73	共有された地点へのナビゲーションを開始する	86
音 / バイブの設定	75	アクティビティ中に共有された地点へのナビゲーションを開始する	86
ディスプレイと輝度の設定	76	コース	86
健康&ウェルネス	77	Garmin Connect でコースを作成する	86

デバイスでコースを作成して実行する	87	アップデートする	98
ラウンドトリップコースを作成する	87	統合トレーニングステータス	98
サイトナビ	87	アクティビティとパフォーマンスの測定結果 を同期する	98
コンパスの方位を固定する	87	PC で Garmin Connect を利用する	98
基準点を設定する	88	Garmin Express でソフトウェアをアップデー トする	99
ポイント投影	88	Garmin Connect に手動でデータを同期する	99
ワイヤレス接続	89	Connect IQ 機能	99
センサーとアクセサリ	89	Connect IQ コンテンツをダウンロードする	99
ワイヤレスセンサー	89	PC で Connect IQ コンテンツをダウンロード する	99
ワイヤレスセンサーをペアリングする	90	Garmin Messenger アプリ	99
クラブトラッキングセンサー	90		
ハートレートセンサーのランニングペースと 距離	90	集中モード	101
ランニングダイナミクス	90	デフォルトの集中モードをカスタマイズする	101
ランニングパワー	91	カスタム集中モードを作成する	101
スイムアクティビティ中のハートレートセン サー	92	ユーザープロフィール	102
Varia デバイスのカメラ機能を使用する	92	ユーザープロフィールを設定する	102
inReach リモート	92	ジェンダー設定	102
スマートフォン接続機能	93	フィットネス年齢を確認する	102
スマートフォンとペアリングする	93	心拍ゾーンについて	102
電話アプリから電話をかける	93	フィットネスの目標	102
音声アシスタントを使用する	94	心拍ゾーンを設定する	102
通知機能を有効にする	94	心拍ゾーンの自動設定	103
通知を確認する	94	心拍ゾーン参考表	103
電話の着信通知に応答 / 拒否する	95	パワーゾーンを設定する	103
テキストメッセージに返信する	95	パフォーマンス測定を自動検出する	104
スマートフォンの Bluetooth 接続をオフにする	95	音楽	105
スマートフォン探索アラートをオン / オフにす る	95	音楽プロバイダに接続する	105
GPS アクティビティ中に紛失したスマート フォンを探す	95	音楽プロバイダから音楽をダウンロードする	105
Wi-Fi 接続機能	96	Garmin Express で音楽をダウンロードする	105
Wi-Fi ネットワークに接続する	96	音楽を再生する	106
Garmin シェア	96	音楽再生のコントロール	106
Garmin シェアでデータを共有する	96	Bluetooth イヤホンと接続する	106
Garmin シェアでデータを受信する	97	オーディオモードを変更する	106
Garmin シェア設定	97	セーフティ & トラッキング機能	107
スマートフォンと PC のアプリケーション	97	援助要請の連絡先を追加する	107
Garmin Golf アプリ	97	連絡先を追加する	107
Garmin Connect	97	事故検出をオン / オフにする	107
Garmin Connect+ サブスクリプション	97	援助要請を送信する	108
Garmin Connect アプリを利用する	98	GroupTrack セッションを開始する	108
Garmin Connect アプリでソフトウェアをアッ プ		GroupTrack セッションのヒント	108

アラーム&タイマー.....	110	デバイスの情報を確認する	121
アラームを設定する	110	電子ラベルの規制および準拠情報を確認する	121
アラームを編集する	110	デバイス情報.....	122
スマート起床アラーム.....	110	AMOLED ディスプレイについて	122
カウントダウンタイマーを開始する.....	110	デバイスを充電する.....	122
タイマーを削除する	111	仕様.....	122
ストップウォッチを使用する	111	バッテリー稼働時間	123
Alt. タイムゾーンを追加する.....	111	バッテリーの稼働時間を長くするには	123
Alt. タイムゾーンを編集する	111	お取り扱い上の注意事項.....	123
カウントダウンイベントを追加する.....	112	クリーニング方法	124
カウントダウンイベントを編集する	112	ナイロンストラップのクリーニング方法 ...	124
パワー管理設定	113	QuickFit バンドを交換する.....	124
バッテリー節約設定をカスタマイズする.....	113	デバイスに関するその他の情報.....	124
パワーモードをカスタマイズする	113	付録.....	126
アクセシビリティ	115	VO2 Max レベル分類表	126
アクセシビリティ設定	115	ランニングダイナミクスデータとカラーゲージ	126
システム設定.....	116	GCT バランス	127
表示言語を変更する	116	上下動と上下動比	127
ショートカット設定をカスタマイズする.....	116	ランニングエコノミー分類表.....	127
デバイスのパスコードを設定する	116	持久カスコア分類表.....	127
デバイスのパスコードを変更する	117	FTP レベル分類表	128
パスコードをオフにする	117	タイヤサイズと周長.....	129
コンパス.....	117	データ項目	130
コンパス設定	117	商標について	140
手動でコンパスを校正する	117		
方位基準を設定する	118		
気圧高度計.....	118		
高度計と気圧計の設定.....	118		
気圧高度計を校正する.....	118		
時刻設定	118		
時刻を同期する	119		
ウォッチの標準キーボードを変更する	119		
起動ワードを有効にする	119		
システムのアドバンス設定	119		
表示単位を変更する	119		
データ記録設定	119		
復元とリセットの設定	120		
Garmin Connect から設定とデータを復元する	120		
初期設定にリセットする	120		
デバイスを手動で再起動する	120		
デバイスをリカバリーモードから復旧する	121		
製品のアップデート.....	121		

はじめに

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

使用開始にあたって

デバイスを初めてご使用になるときには、次の手順に沿ってデバイスをセットアップし、基本的な機能を理解しましょう。

- 1  を長押ししてデバイスの電源をオンにします。(1 ページ デバイス概要)
- 2 デバイスに表示されるメッセージに回答していきます。
- 3 スマートフォンとペアリングします。(93 ページ スマートフォンとペアリングする)
ペアリングすると、コースデータの更新情報にアクセスしたり、スコアカードの同期やスマート通知などの機能が利用できるようになります。ソフトウェアを更新することで、プライバシーやセキュリティ、その他さまざまな機能の修正や改善が反映されます。
- 4 画面に表示される指示に従って初期設定を完了します。
- 5 必要な場合は、デバイスのセキュリティ強化のためのパスコードを設定します。(116 ページ デバイスのパスコードを設定する)
- 6 デバイスを充電します。ラウンド前に十分に充電してからご使用ください。(122 ページ デバイスを充電する)

デバイス概要



ヒント：ショートカットキーの機能をカスタマイズしたり、新規ショートカットキーを作成できます。(116 ページ ショートカット設定をカスタマイズする)

 START キー	<ul style="list-style-type: none">• 3 秒間長押し：電源オン• 押す：アクティビティ & アプリ設定とデバイス設定を開く• 長押し：電源オプションを含むコントロールメニューを表示(45 ページ コントロールメニュー)• 3 回振動するまで長押し：援助要請を送信(107 ページ セーフティ & トラッキング機能)
 BACK キー	<ul style="list-style-type: none">• 押す：前の画面に戻る ヒント：アクティビティ中のキー操作が通常とは異なる場合は、画面に説明が表示されます。• 長押し：フラッシュライト点灯 / 消灯
 タッチスクリーン	<ul style="list-style-type: none">• スワイプ(上下左右)：ウィジェット / 機能 / メニューをスクロール(2 ページ タッチスクリーン操作のヒント)• タップ：メニューのオプションを選択• スワイプ(右)：前のページに戻る

タッチスクリーン操作のヒント

- 画面を上または下方向にドラッグしてリストやメニューをゆっくりスクロールします。
- 画面を**タップ**してリストやメニューの項目、スイッチを選択します。
- 画面を**タップ**してディスプレイを点灯します。
- ウォッチフェイスページで画面を上**にスワイプ**してウィジェットを表示します。
- ウォッチフェイスページで画面を左**にスワイプ**して、アプリ(デバイス設定など)やアクティビティのメニューを表示します。
- ウォッチフェイスページに表示されているデータを長押しして、該当のウィジェットや機能を起動します。
- ウォッチフェイスページで画面を下**にスワイプ**して、通知センターを開きます。
- 画面を右**にスワイプ**して前の画面に戻ります。
- ウォッチフェイス上のアイテムを長押しして、関連する情報やウィジェット、メニューを表示します。(一部対応ウォッチフェイスのみ)
- ウィジェット一覧またはアプリ一覧を表示中に画面を長押しして、オプションの並べ替えや削除を行います。
- アプリ一覧を表示中に画面を長押しして、オプションの並べ替えや削除を行います。
- アクティビティ実行中に画面を上または下方向に**スワイプ**して、トレーニングページをスクロールします。
- 手の平で画面を覆って、ディスプレイの輝度を下げたり表示をオフにしてウォッチフェイスに戻ります。
- 画面を左**にスワイプ**してオプションを表示します(一部のページのみ対象)。

タッチスクリーンをロック / ロック解除する

タッチスクリーンの誤操作を防ぐために、タッチスクリーンをロックできます。

注意：コントロールメニューはカスタマイズできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

1  を長押しして、コントロールメニューを表示します。

2  を選択します。

タッチスクリーンがロックされます。ロックを解除するまで、タッチスクリーンの操作が無効になります。

3 画面の上端から下に**スワイプ**して、タッチスクリーンのロックを解除します。

ゴルフ

ラウンドを開始する

注意：一部の機能は、Garmin Golf のサブスクリプションを契約している場合のみ利用できます。

1  を押します。

2  > **[PLAY GOLF]** の順に選択します。

デバイスが衛星を受信し、現在地からコースまでの距離を計算します。近くに利用可能なコースが一つしかない場合、そのコースが選択されます。衛星信号を捕捉する前に**[スキップ]**を選択すると、コースの一覧が表示されない場合があります。

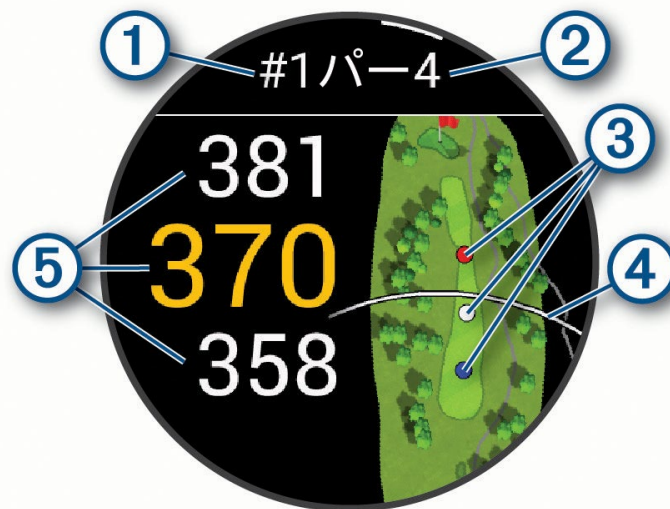
3 コースの一覧が表示されたら、プレーするコースを選択します。

ヒント：9 ホールのコースの場合は、**[9 ホール]** を選択してハーフプレーとして記録するか、**[18 ホール]** を選択して後半の 9 ホールコースを追加して 18 ホールのラウンドとして記録するかを設定できます。

4 スコアを記録する場合、 を選択します。

5 ティー位置を選択します。

あなたの位置情報をもとに、選択したコースの現在地に近いホールの情報が表示されます。ホールから離れた場所にいる場合は、1 番ホールの情報が表示されます。



①	現在のホール番号
②	パー数
③	コースビュー 色付きのドットは、ピンまでのレイアップ距離(メートルまたはヤード)を示します。赤は 100、白は 150、青は 200、黄色は 250 を表します。
④	ティーイングエリアからのドライバー飛距離
⑤	グリーン手前 / 中央 / 奥までの距離

注意：画面に表示されている数字は、グリーンの手前 / 中央 / 奥までの距離を示します。実際のグリーン上のピンの位置までの距離を表すものではありません。

6 次のオプションを選択します。

- ・グリーンの手前 / 中央 / 奥までの距離を**タップ**して、PlaysLike 距離を表示します。(11 ページ [PlaysLike 距離を確認する](#))
- ・グリーンの手前 / 中央 / 奥までの距離を上または下に**スワイプ**して、ハンディキャップストローク数や PlaysLike 距離の決定に影響のあるデータを確認します。
- ・ホールマップを**タップ**してタッチターゲットで距離を計測します。
- ・ホールマップの詳細表示中に  または  を**タップ**して、レイアップポイントやハザード情報を確認します。(6 ページ [ハザード情報 / レイアップ距離を確認する](#))
- ・ を押してラウンドオプションを開きます。(4 ページ [ラウンドオプション](#))

次のホールへ移動すると、自動的に次のホール情報ページへ切り替わります。また、ティーイングエリアが近くに

ある場合を除き、ティーイングエリアまでの方向も表示されます。

ゴルフアイコンの読み方

	タップ ：現在地をピン位置として記録できます。(7 ページ パットラインを読む(グリーンリーディング機能))
	タップ ：現在地をパッティング地点として記録できます。
	直近のショット地点からの距離(10 ページ Garmin AutoShot 機能でショットを計測する)
	タップ ：バーチャルキャディのおすすめクラブを確認できます。(5 ページ バーチャルキャディ)

ラウンドオプション

ラウンド中に  を押してラウンドオプションからゴルフ機能にアクセスします。

[グリーンを表示]：グリーンの形状やレイアウトを表示します。Garmin Golf のサブスクリプションを契約している場合、Green Contour 機能でグリーンの傾斜情報を確認できます(97 ページ [Garmin Golf アプリ](#))。また、登録されているピン位置を変更して、ピンまでの距離をより正確に表示できます(5 ページ [グリーン上のピンの位置を変更する](#))。

[地図表示]：数字を大きく表示モードがオンの場合に地図を開きます。

[バーチャルキャディ]：バーチャルキャディがクラブ選択をアシストします。(5 ページ [バーチャルキャディ](#))

[ホール変更]：プレーするホールを手動で変更します。(6 ページ [ホールを変更する](#))

[グリーンを変更]：1 つのホールで複数のグリーンが利用可能な場合に、表示するグリーンを切り替えます。

[検索タイマー]：ボールを探すときのタイマーを設定します。(6 ページ [ボール検索タイマーを設定する](#))

[スコア開始]/[スコアカード]：ラウンドのスコアカードを表示します。(7 ページ [スコアを記録する](#))

[PinPointer]：現在地からグリーンの方角とピンまでの距離を示します。グリーンが目視で確認できない位置からショットを打つ際に便利な機能です。(9 ページ [ピンの方向を確認する](#))

注意：ゴルフカート乗車中は、PinPointer 機能を使用しないでください。ゴルフカートの磁気がコンパスの精度に影響を及ぼすおそれがあります。

[ラウンド情報]：ラウンド中のタイム、距離、ステップ数、心拍データを表示します。ラウンドの開始と終了に合わせて記録されます。(10 ページ [ラウンド情報を確認する](#))

[ショットの計測]：Garmin AutoShot 機能で記録された直近のショットの飛距離を表示します(10 ページ [Garmin AutoShot 機能でショットを計測する](#))。また、ショットを手動で記録することもできます(10 ページ [ショットを手動で計測する](#))。

[クラブ統計]：各クラブでショットを打ったときの標準飛距離、最長飛距離、ショットの精度を確認できます。この機能は、**[クラブトラッキング]** がオン、または別売の Approach クラブトラッキングセンサーが接続中のときのみ有効です。

[カスタムターゲット]：現在のホールにあるハザードや障害物などの情報を登録できます。

[バックナインを追加]：9 ホールのコースでプレーしている場合に後半 9 ホールを追加し、18 ホールのラウンドとしてプレーできるようにします。

[設定]：ゴルフのアクティビティ設定をカスタマイズします。(4 ページ [ゴルフ設定](#))

[ラウンド終了]：現在のラウンドを終了または一時停止します。

ゴルフ設定

ラウンド中は、 > **[設定]** からゴルフ設定をカスタマイズできます。

[スコア]：スコア設定をカスタマイズします。ラウンド概要記録をオン/オフできます。(8 ページ [スコア設定をカスタマイズする](#))

[ドライバー飛距離]：ドライバーの平均飛距離を設定します。

[PlaysLike]：PlaysLike 距離(コースの高低差などを考慮した実際に打つべきグリーンまでの距離)に関する設定を行います。(11 ページ [PlaysLike 距離を確認する](#))

[地図タイプ]：通常のゴルフマップと航空写真を切り替えます。(83 ページ [ゴルフマップを管理する](#))

注意：この機能を使用するには、Garmin Golf の有料サブスクリプションが必要です。

[傾斜表示]：グリーン傾斜情報をオンにします。表示タイプは**[高度]**/**[勾配]**から選択できます。(7 ページ [傾斜表示](#))

ジ Green Contour 機能)

注意：この機能を使用するには、Garmin Golf の有料サブスクリプションが必要です。

[バーチャルキャディ]：バーチャルキャディ機能の表示方法を**[自動]**/**[手動]**から選択します。バーチャルキャディは、使用クラブを記録して5ラウンド以上プレーし、スコアカードを Garmin Golf アプリにアップロードすると表示されます。

[数字を大きく表示]：ホール情報ページで距離表示の数字を大きく表示します。

[トーナメントモード]：ゴルフの公認トーナメントでの使用が認められていない機能が無効になります。

[ゴルフ距離]：ゴルフコースの距離表示の単位を設定します。

[ゴルフ風速]：ゴルフの風速の表示単位を選択します。

[クラブトラッキング]：ラウンド中のショット後のクラブを入力するオプションを有効にします(8 ページ [ラウンド概要を記録する](#))。また、Approach クラブトラッキングセンサーとの接続設定を行えます。

[お気に入りのスイング指標]：ホール情報ページに表示するスイング指標を設定します。(12 ページ [スイング指標](#))

[GPS]：GPS の受信モードを設定します。(39 ページ [GPS 設定を変更する](#))

[アクティビティ記録]：ゴルフアクティビティを FIT ファイルで記録します。FIT ファイルに記録されたフィットネスデータは Garmin Connect アプリに表示されます。

[距離計をペアリング]：対応の距離計との接続設定を行います。

[距離計]：ペアリング済みの距離計のステータスを表示します。

グリーン上のピンの位置を変更する

グリーン上のピンの位置を変更します。

1 ホール情報ページで、を押します。

2 **[グリーンを表示]**を選択します。

3 ピンをドラッグするか、グリーン上の任意の地点を**タップ**して位置を変更します。

 はピンの位置を示します。

変更後のピンの位置を元に、ホール情報ページの距離表示が更新されます。変更したピンの位置は、現在のラウンド中のみ保存されます。

バーチャルキャディ

バーチャルキャディを使用する前に、クラブトラッキング(35 ページ [アクティビティ設定](#))をオンにして使用クラブを記録するか、別売の Approach クラブトラッキングセンサーを接続して5ラウンド以上プレーし、スコアカードを Garmin Golf アプリにアップロードしてください。バーチャルキャディは、ホール情報や風向き、風速、各クラブの過去のパフォーマンスと、現在の位置情報をもとに、アドバイスを表示します。

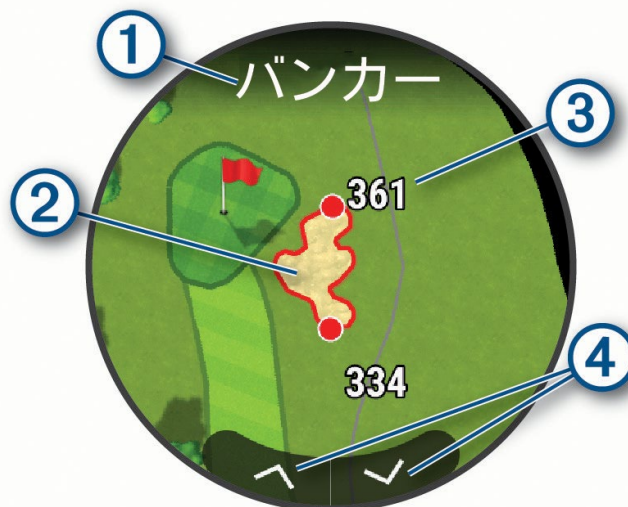


①	次のショットのターゲットライン
②	おすすめクラブを使用した場合の着弾地点予想範囲(クラブのショット履歴に基づいて計算されます) 注意：着弾地点の予想範囲にグリーンが含まれる場合、予想グリーンオン成功率が表示されます。

③	おすすめのクラブ。タップすると、おすすめクラブを使用した場合の予想ストローク数平均や、ほかのクラブ提案を確認できます。
---	---

ハザード情報 / レイアップ距離を確認する

ホール情報ページのホールビューマップをタップすると、ハザードとレイアップポイントを確認できます。



①	ハザードタイプまたはレイアップ距離
②	ハザード / レイアップポイントの位置
③	ハザード (手前 / 奥) やレイアップポイントまでの距離
④	タップ: ハザード / レイアップポイントの切り替え

タッチターゲットティングで距離を計測する (3 点間距離計測)

コースビュー上の任意の地点をタップして、現在地から選択地点までの距離と、選択地点からピンまでの距離を計測することができます。

- 1 ホール情報ページのコースビュー表示部をタップします。
- 2 マップ上の任意の地点をタップして、ターゲットサークル  を配置します。
現在地からターゲットサークルまでの距離と、ターゲットサークルからピンまでの距離が表示されます。
- 3 必要に応じて、スクリーン右側のスライダーでズームイン / ズームアウトします。

ホールを変更する

ホール情報ページに表示するホールを手動で切り替えることができます。

- 1  を押します。
- 2 **【ホール変更】** を選択します。
- 3 画面を上または下にスワイプしてホール番号を選択します。
選択したホールの近くにいる場合、ウォッチは自動的にそのホールの情報を表示します。選択したホールから離れている場合は、ティーイングエリアの方向を表示します。

ボール検索タイマーを設定する

見失ったボールを長時間探してプレーの進行を遅らせることを防ぐために、検索タイマーを使用できます。タイマー終了までにボールが見つからない場合は、ロストボールとして 1 打罰を加え、プレーを再開してください。

- 1 ホール情報ページで、 を押します。
- 2 **【検索タイマー】** を選択します。
3 分のカウントダウンが開始します。
- 3 必要な場合は、次のオプションを選択します。
 - ・タイマーを一時停止するには、 を選択します。

- ・ タイマーを中止するには、 を選択します。

Green Contour 機能

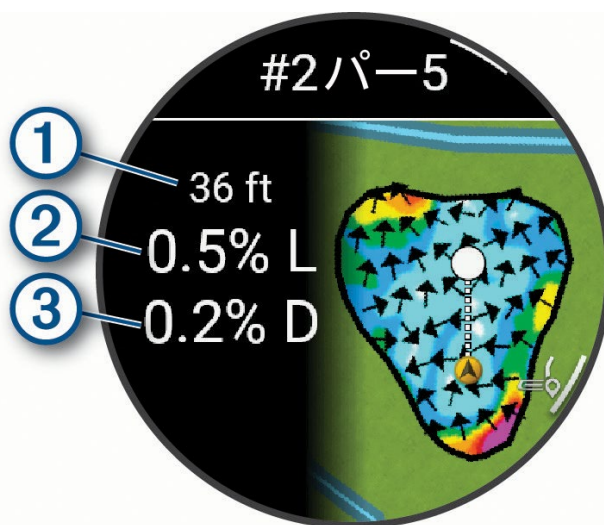
Garmin Golf のサブスクリプションを契約している場合、Green Contour 機能で対応コースのグリーンの起伏や傾斜を確認できます。グリーンに到達すると、傾斜の向きと度合いを示すヒートマップがウォッチに表示されます。Green Contour 機能について詳しくは、Garmin.com/greencontours をご参照ください。

ヒートマップの色	勾配
	0%
	1%
	2%
	3%
	4%
	5%
	6%
	7%
	8%以上

パットラインを読む(グリーンリーディング機能)

Green Contour 機能を有効にすると(4 ページ [ゴルフ設定](#))、グリーンに到達した際に傾斜や高低差の詳細情報を確認でき、パットラインを読むのに役立ちます。

- 1 グリーンに到着したら、ピンの位置まで移動します。
- 2  を選択します。



ピンまでの距離①、パットラインの左右方向の傾斜率(%)②、および上り・下りの傾斜率(%)③が表示されます。

スコアを記録する

- 1  を押します。
- 2 **[スコアカード]** を選択します。
注意：スコア記録を有効にしていなくても、**[スコア記録開始]** を選択してスコア記録をオンにできます。
- 3 ホールを選択します。
- 4  または  を選択してスコアを編集します。

スコア設定をカスタマイズする

ラウンド中に  を押して、**【設定】>【スコア】**の順に選択します。

【スコア記録方法】：ゴルフのラウンドのスコア記録方法を設定します。

【ハンディキャップスコア】：ゴルフのハンディキャップスコアを設定します。(9 ページ [ハンディキャップスコアを有効にする](#))

【合計スコア】：スコアカードにラウンドの合計スコアを表示します。(7 ページ [スコアを記録する](#))

【ラウンド概要記録】：パット数、パーオン率、フェアウェイキープ率などのラウンド概要記録をオン/オフします。

【ペナルティ】：ラウンド概要記録でペナルティの記録をオン/オフします。(8 ページ [ラウンド概要を記録する](#))

【確認】：ラウンド開始時にスコアを記録するか確認します。オン/オフを設定します。

【2 プレーヤー】：ラウンド中に 2 人分のスコアを記録します。

注意：この設定はラウンド中のみ有効です。ラウンドを終了すると自動でオフになります。新しくラウンドを開始したあとに毎回設定してください。

スコア記録方法を設定する

スコア記録方法を選択することができます。

1 ラウンド中に  を押します。

2 **【設定】>【スコア】>【スコア記録方法】**の順に選択します。

3 スコア記録方法を選択します。

注意：**【スクランブル】**を選択した場合、そのラウンドのスコアカードは Garmin Connect アカウントに同期されません。

ステーブルフォードとは

スコア記録方法(8 ページ [スコア記録方法を設定する](#))のステーブルフォードとは、各ホールのパーに対する打数で得られる得点の合計を競い、最も得点の高い者を優勝者とする競技方式です。得点は、全米ゴルフ協会が定める点数が付与されます。

ステーブルフォード方式のスコアは、総打数ではなく総得点で表現されます。

得点	パー数に対する打数
0	2 打以上多い(ダブルボギー以上)
1	1 打多い(ボギー)
2	パー
3	1 打少ない(バーディ)
4	2 打少ない(イーグル)
5	3 打少ない(アルバトロス)

ラウンド概要記録を有効にする

ラウンド概要記録をオンに設定すると、ラウンドの情報をより詳細に記録し、確認することができます(10 ページ [ラウンド情報を確認する](#))。ラウンド概要はラウンド中に確認できるほか、Garmin Golf アプリでラウンドの統計を確認することもできます。

1 ラウンド中に  を押します。

2 **【設定】>【スコア】>【スコア概要記録】**の順に選択します。

ラウンド概要を記録する

ラウンド概要を記録するには、ゴルフ設定でラウンド概要記録を有効に設定する必要があります。(8 ページ [ラウンド概要記録を有効にする](#))

1 スコア入力画面でホールを選択します。

2 ストローク数(パット数を含む)を入力し、**【次へ】**を選択します。

3 パット数を入力し、**【次へ】**を選択します。

ヒント：パット数はラウンド概要記録がオンのときのみ入力します。スコアへの影響はありません。

4 必要な場合は、次のオプションを選択します。

注意：パー 3 のホールでのプレー中や、接続中の Approach クラボトラッキングセンサーがある場合は、ショット方向の入力画面は表示されません。

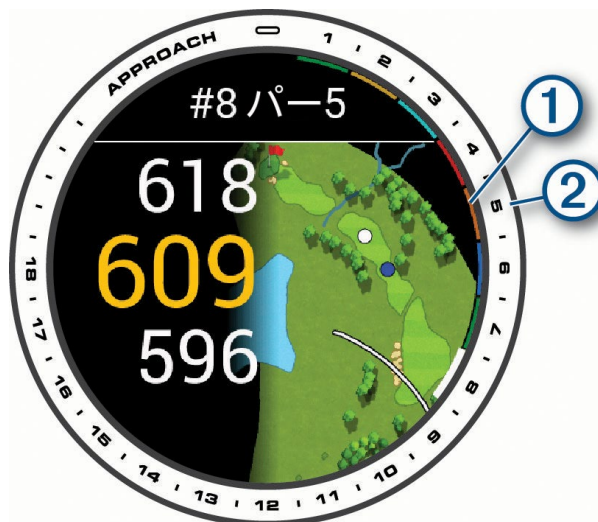
- ・ ティーショットでフェアウェイをキープした場合は、 を選択します。
- ・ ティーショットで左または右にミスショットした場合は、 または  を選択します。

5 必要に応じて、ペナルティ数を入力します。

注意：ペナルティ数はスコアには反映されません。入力したペナルティ数は Garmin Golf アプリで確認できます。

スコア履歴

ラウンド中は、カラーマーカー①でベゼルに刻印されたホールインジケータ②が示す各ホールのスコアを確認できます。



カラー	パー数に対する打数
ダークパープル	5 打以上多い(クインテュブルボギー以上)
ライトパープル	4 打多い(クワドラプルボギー)
レッド	3 打多い(トリプルボギー)
オレンジ	2 打多い(ダブルボギー)
イエロー	1 打多い(ボギー)
グリーン	パー
ライトブルー	1 打少ない(バーディ)
ダークブルー	2 打以上少ない(イーグル以上)

ハンディキャップスコアを有効にする

1 ラウンド中に  を押します。

2 **[設定]>[スコア]>[ハンディキャップスコア]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[Garmin Golf を使用]** Garmin Golf アプリのパフォーマンス統計で算出されたハンディキャップの数値を使用します。
- ・ **[ローカルハンディキャップ]** ローカルハンディキャップを利用します。入力したハンディキャップの数字がトータルスコアから引かれます。
- ・ **[インデックス/スロープ]** インデックス/スロープハンディキャップを利用します。入力したハンディキャップインデックスと、コースのスロープレートに基づきハンディキャップが計算されます。

注意：スロープレートは、選択したティー位置に基づいて自動で計算されます。

ホール情報ページで下に**スワイプ**すると、ハンディキャップストローク数とラウンド中のコースにおけるホールの難度を順位付けしたハンディキャッププレートを確認できます。スコアカードには、そのラウンドのハンディキャップ適用後のスコアが表示されます。

ピンの方角を確認する

現在地からグリーンの方角と距離を示します。グリーン上のピンの位置が目視で確認できない位置からショットを打つ際に便利な機能です。

注意：ゴルフカート乗車中は、PinPointer 機能を使用しないでください。ゴルフカートの磁気がコンパスの精度に影響を及ぼすおそれがあります。

- 1  を押します。
- 2 **[PinPointer]** を選択します。
ポインターがピンの位置を指し示します。

ラウンド情報を確認する

ラウンド中に、スコアや各種統計データ、ステップ数などの情報を確認できます。また、平均心拍数や最大心拍数、各ホールでの心拍数、心拍ゾーン別のショット数など、ラウンドの詳細な心拍データも確認できます。

- 1  を押します。
- 2 **[ラウンド情報]** を選択します。
- 3 画面を上から下にスワイプします。

Garmin AutoShot 機能でショットを計測する

コース上で打ったショットを検出し、飛距離を自動で計算して記録します。記録されたショットは、後から確認することもできます。この機能ではパットは検出できません。

- 1 リード側の手首にデバイスを装着して、ショットを打ったときにしっかりとボールにコンタクトします。
デバイスがショットを検出すると、バナー①にショットの位置から現在地までの距離が表示されます。



ヒント：バナーをタップすると 10 秒間非表示になります。

- 2 次のショットを打ちます。
前回のショットの距離が保存されます。

ショットを手動で計測する

ラウンド中にショットが検出されなかった場合、ショットを手動で追加できます。ショットが検出されなかった地点で以下の操作をして、ショットを追加します。

- 1 ショットを打った後、打った位置からボールの落下地点を確認します。
- 2 ホール情報ページで、 を押します。
- 3 **[ショットの計測]** を選択します。
- 4  を押します。
- 5 **[ショット追加]** を選択します。
- 6 ショットに使用したクラブを選択します。(クラブトラッキングがオンのとき)
- 7 ショットの距離計測モードになります。ボールの落下地点まで移動します。

次のショットを打つとショットの距離が記録されます。必要な場合は、ショットを手動で追加できます。

クラブ統計を確認する

クラブ統計を確認するには、あらかじめ Approach クラブトラッキングセンサーとペアリングするか、**[クラブトラッキング]** をオンにする必要があります。(4 ページ [ゴルフ設定](#))

ラウンド中に、クラブごとの飛距離やショットの精度などの統計情報を確認できます。

- 1  を押します。
- 2 **[クラブ統計]** を選択します。
- 3 クラブを選択します。
- 4 画面を上にもスワイプします。

カスタムターゲットを保存する

ラウンド中にホールごとに 5 か所までカスタムターゲット (ポイント) を登録することができます。コースビューのマップ上には表示されない障害物などを記録しておきたい場合などに便利な機能です。登録済みのカスタムターゲットまでの距離は、ハザード・レイアップ情報ページで確認できます。(6 ページ [ハザード情報 / レイアップ距離を確認する](#))

- 1 カスタムターゲットを登録したい地点まで移動します。
注意： 現在地から離れたホールのカスタムターゲットは登録できません。
- 2 ホール情報ページで、 を押します。
- 3 **[カスタムターゲット]** を選択します。
- 4 必要な場合は、**[追加]** を選択します。
- 5 カスタムターゲットのタイプを選択します。

数字を大きく表示する (ビッグナンバーモード)

ホール情報ページの数字を大きく表示することができます。

- 1  を押します。
- 2 **[設定] > [数字を大きく表示]** の順に選択します。
- 3  を押します。
グリーンの手前、中央、奥までの距離が大きな文字で表示されます。
- 4 画面を上または下にもスワイプして表示データを切り替えます。
- 5 必要な場合は、 を押して **[地図表示]** を選択し、現在のホールのマップを表示します。

PlaysLike 距離を確認する

コースの高低差や風速、風向き、空気密度を考慮した、グリーンまでの実際に打つべき推奨距離を表示します。ラウンド中にホール情報ページのグリーンまでの距離表示部を **タップ** して PlaysLike 距離を表示します。画面を上にもスワイプすると、要素ごとの距離の変動値を確認できます。

ヒント： PlaysLike 距離を算出する際に参照する要素は、ゴルフ設定で編集できます。(4 ページ [ゴルフ設定](#))

- ▲：水平距離よりも長い場合
- ：水平距離と PlaysLike 距離が同じ距離
- ▼：水平距離よりも短い場合
- ↗：高低差による距離の変化量
- ↖：風速と風向きによる距離の変化量
- ☁：空気密度による距離の変化量

ラウンドを中断 / 終了する

- 1  を押します。
- 2 **[ラウンド終了]** を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。

- ・【保存】 スコアデータを保存してラウンドを終了します。
- ・【スコア編集】 スコアを編集します。
- ・【削除】 スコアデータを保存せずにラウンドを終了します。
- ・【一時停止】 ラウンドを一時停止して後で再開します。

ドライビングレンジアクティビティを開始する

ゴルフ練習場や自宅などでネットに向かってショットを練習するときは、ドライビングレンジアクティビティを使用して、スイング指標を確認できます。これらの指標は、スイングの分析や改善に役立ちます。

1 ウォッチフェイスページで  を押します。

2  を選択します。

3 ショットを打ち、画面を上にもスワイプしてスイング指標を確認します。

4 テンポトレーニングを実施する場合は、テンポトレーニングデータのページに切り替えます。(13 ページ [スイングテンポを分析する](#))

5  を押し、次のオプションを選択します。

- ・【トレーニングを終了】 ドライビングレンジアクティビティを終了します。
- ・【クラブ変更】 選択中のクラブを変更します。
- ・【お気に入りのスイング指標】 ホール情報ページに表示するスイング指標を設定します。
- ・【テンポトレーニング】 テンポトレーニングで使用するスイングテンポとトーンを設定します。
- ・【ヒント】 テンポトレーニングのヒント一覧を表示します。

スイング指標

ドライビングレンジアクティビティでは、スイングの分析や改善に役立つ複数のスイング指標を確認できます。

ハンドスピード：最高ハンドスピードは時計の文字盤に当てはめて表示され、ゴルフスイング中に最高速度に達したときの手の位置を確認できます。また、スイング全体のハンドスピードがグラフで表示され、最高速度に加え、スイングトップ時およびインパクト時の速度が強調表示されます。最高ハンドスピードは、ボールへのインパクト前に発生するのが理想です。

バックスイングの長さ(トップの位置)：バックスイングの長さは、スイングを開始してからダウンスイングを開始するまでの範囲を測定したものです。時計の文字盤に当てはめて表示されるため、視覚的に把握できます。一般的に、バックスイングが長いほど回転半径が大きくなり、飛距離の向上につながります。

リストローテーション：リストローテーションは、アドレスからバックスイングのトップの位置を経てインパクトに至るまでの間に、リード側の手首がどの程度回転したかを測定します。グラフにはスイング全体を通した手首の回転量が表示され、トップ時とインパクト時の回転量が強調表示されます。個々のスイングにおける手首の回転量を継続的に分析することで、自分に合った回転量や、好結果につながるスイングの傾向を把握できます。

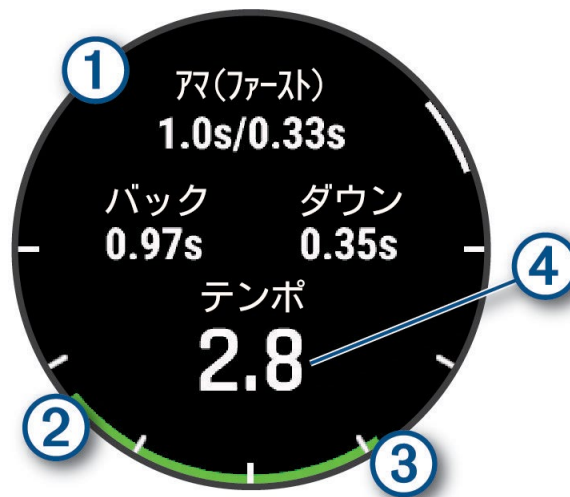
スイングプレーン：スイングプレーンは、バックスイングおよびダウンスイング中の手の軌道が、地面に対してどの角度で動いているかを測定します。また、バックスイングとダウンスイングのスイングプレーン角度の差である切り返し角度も表示されます。理想的なスイングプレーンは、使用するクラブによって異なります。個々のスイングや蓄積されたデータを分析することで、自分に合った角度や、好結果につながる傾向を把握できます。

テンポ：スイングテンポとは、バックスイング速度をダウンスイング速度で割り、比率で表したものです。一般に理想的なスイングは、バックスイングとダウンスイングの速度比が 3:1 とされ、このスイングテンポを 3.0 とします。一定のテンポを維持することで、急ぎ過ぎたダウンスイングを防ぎ、ミスヒットを減らすとともに、インパクト時に最大限のパワーを発揮しやすくなります。(13 ページ [スイングテンポを分析する](#))

理想的なスイングテンポ

0.7 秒 / 0.23 秒や 1.2 秒 / 0.4 秒などのゴルファーの能力や経験によって異なる 6 つのスイングテンポで練習することで、理想的な 3.0 のテンポを達成できます。

バックスイングまたはダウンスイングの速度が速すぎるのか、遅すぎるのか、タイミングが合っているのかをゲージで確認できます。



①	選択したテンポ(バックスイング速度 / ダウンスイング速度)
②	バックスイング速度
③	ダウンスイング速度
④	あなたのテンポ
	良い
	遅い
	速い

まずは遅いテンポのスイング練習から始めて、カラーゲージがバックスイング / ダウンスイング共に緑色のゲージになるようになったら、より速いテンポの練習に切り替えると効果的です。自分に合ったスイング速度を見つけたら、その速度で繰り返し練習しても良いでしょう。

スイングテンポを分析する

スイングテンポ分析を表示するには、ボールを打つ必要があります。

- 1  を押します。
- 2  を選択します。
- 3  を押してメニューを表示します。
- 4 **[テンポトレーニング] > [スイングスピード]** の順に選択して、任意のオプションを選択します。
- 5 準備が完了したら、フルスイングして、ボールを打ちます。
スイングテンポ分析が表示されます。
ヒント：画面を上を**スワイプ**すると、現在のセッションにおけるスイング分析の平均値を確認できます。

ヒントを確認する

 アプリ内で、スイングの分析方法を解説するヒントを確認できます。

- 1  アプリを開き、 を押します。
- 2 **[ヒント]** を選択します。
- 3 画面を**タップ**して次のヒントを表示します。

ゴルフクラブのリストをカスタマイズする

デバイスをスマートフォンの Garmin Golf アプリとペアリングすると、デフォルトで登録されているクラブ一覧をアプリでカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで Garmin Golf アプリを開きます。
- 2 **[プロフィール] > [クラブセット]** の順に選択します。

- 3 任意のオプションを選択してクラブを追加または編集、削除、除外します。
- 4 Garmin Golf アプリとデバイスを同期します。デバイスにクラブセットの更新内容が反映されます。

アクティビティ & アプリ

デバイスには、さまざまなアクティビティとアプリがプリインストールされています。

アプリ：ワークアウトや電話の発信などの機能を搭載しています。(15 ページ [アプリ](#))

アクティビティ：ランやバイク、筋トレ、ゴルフなどの屋内・屋外アクティビティがプリインストールされています。アクティビティを開始すると、GPS や各種センサーから得たデータを画面に表示し、記録します。アクティビティデータは、Garmin Connect のコミュニティに公開・共有できます。

ライフログとフィットネス測定の精度については、[Garmin.com/ataccuracy](https://garmin.com/ataccuracy) をご覧ください。

Connect IQ コンテンツ：Connect IQ ストアからコンテンツをインストールして、デバイスに機能を追加することができます。(99 ページ [Connect IQ コンテンツをダウンロードする](#))

アプリ

デバイスのアプリメニューをカスタマイズすることで、各種機能やオプションに素早くアクセスできます。一部のアプリを利用するには、Bluetooth 接続が必要です。主なアプリは、ウィジェット(41 ページ [ウィジェット](#))やコントロール(45 ページ [コントロールメニュー](#))からもアクセスできます。

ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプしてアプリ一覧を表示します。



名前	詳細
ABC	ABC(高度計・気圧計・コンパス)センサーの情報を表示します。
アラーム	アラームを設定します。
Alt. タイムゾーン	タイムゾーンを追加して、各タイムゾーンの現在時刻を表示します。(111 ページ Alt. タイムゾーンを追加する)
高度計	高度計の情報を表示します。
気圧計	気圧計の情報を表示します。
心拍転送モード	心拍転送モードを開始します。(78 ページ 心拍転送モード)
電卓	電卓を使用します。チップ計算機の機能も使用できます。
カレンダー	スマートフォンのカレンダーにスケジュールされたイベントを表示します。
アラーム&タイマー	アラーム、タイマー、ストップウォッチ、Alt. タイムゾーン、カウントダウンイベントを設定します。(110 ページ アラーム&タイマー)
コンパス	電子コンパスを表示します。
Connect IQ	デバイスで Connect IQ ストアを開きます。(99 ページ Connect IQ 機能)
カウントダウン	カウントダウンイベントを表示します。
Garmin シェア	Garmin デバイス間でデータを送受信します。(96 ページ Garmin シェア)
ヘルススナップショット	ヘルスデータを測定します。(16 ページ ヘルススナップショット)
履歴	アクティビティの履歴、自己ベスト、合計データを表示します。(70 ページ 履歴を確認する)
地図	地図を開き、目的地へのナビゲーションを実行します。(84 ページ 目的地へナビゲーションする)

名前	詳細
地図管理	ダウンロード済みの地図を表示・管理します。(82 ページ 地図管理)
Messenger	Garmin Messenger アプリのメッセージを確認・送信します。(99 ページ Garmin Messenger アプリ)
月の満ち欠け	GPS の位置情報をもとに、現在地の月出 / 月没の時刻、月の満ち欠けの状態を表示します。
音楽	スマートフォンのまたはデバイスに保存された音楽の再生をコントロールします。(106 ページ 音楽を再生する)
通知	スマートフォンの通知を表示します。(94 ページ 通知を確認する)
スマートフォン	スマートフォンの連絡先またはダイヤルキーパッドを使用して電話をかけます。(93 ページ 電話アプリから電話をかける)
音声アシスタント	スマートフォンの音声アシスタントを使用します。(94 ページ 音声アシスタントを使用する)
ポイント投影	現在地から距離と方位を指定して新規ポイントを保存します。
血中酸素	血中酸素レベルを測定します。(78 ページ 血中酸素トラッキング)
基準点	基準となる地点を設定して、その地点からの距離と方位の偏差を参照します。(88 ページ 基準点を設定する)
保存済み	保存済みのポイントやコースを表示します。
設定	設定のメニューページを開きます。
スポーツスコア	プロスポーツや大学対抗スポーツのチームのスコアや試合速報をフォローできます。
株価	株価のリストを表示します。(45 ページ 株価ウィジェットに銘柄を追加する)
ストップウォッチ	ストップウォッチを使用します。
日出 & 日没	日の出、日の入り、トワイライト時刻を表示します。
タイマー	タイマーを設定します。
潮汐	任意の地点の潮汐情報を表示します。
ヒント	デバイスに関するヒントを表示したり、新機能を確認できます。
音声コマンド	音声コマンドを起動します。(18 ページ 音声コマンドを使用する)
音声メモ	音声メモを録音します。(17 ページ 音声メモを録音する)
ウォレット	Garmin Pay ウォレットを開きます。(20 ページ Garmin Pay)
ウォッチフェイス	ウォッチフェイスをカスタマイズします。(41 ページ ウォッチフェイスをカスタマイズする)
天気	現在の天気情報を表示します。
体重の追跡	最近の体重の推移と履歴を表示します。体重は手動で入力できます。Garmin Connect アカウントに Index 体重計がペアリングされている場合は、その体重データが表示されます。
ワークアウト	保存済みのワークアウトを表示します。(51 ページ ワークアウト)

ヘルススナップショット

ヘルススナップショットとは、2 分間の静止した状態の重要なヘルスデータを記録するアクティビティです。心肺機能を総合的に把握するのに役立ちます。平均心拍数、ストレスレベル、呼吸数などの指標を記録します。ヘルススナップショットは、アプリのリストに追加できます。(34 ページ [アクティビティ & アプリ設定のカスタマイズ](#))

保存済みアプリを使用する

保存済みアプリからデバイスに保存されたポイントやコースを一覧で確認できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【保存済み】**を選択します。
- 3 任意のアイテムを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ コースナビゲーションまたはポイントへのナビゲーションを開始するには、 を選択します。
 - ・ コースを反転してナビゲーションを開始するには、**・・・ > 【コースを逆回り】**の順に選択します。
 - ・ 回避ルートや転換点アラートなどのルート設定を編集するには、**・・・ > 【ルート設定】**の順に選択します。

- ・ポイントの詳細を確認するには、・・・>【詳細】の順に選択します。
- ・ポイントまたはコースの詳細を編集するには、・・・>【編集】の順に選択します。
- ・コースの上昇区間の一覧を確認するには、・・・>【クライム確認】の順に選択します。
- ・ナビゲーションを実行していないときにも地図上にコースを表示するには、・・・>【地図上に表示】の順に選択します。
- ・Garmin シェア機能でポイントまたはコースを共有するには、・・・>【共有】の順に選択します。(96 ページ [Garmin シェア](#))
- ・ポイントまたはコースを削除するには、・・・>【削除】の順に選択します。

音声メモを録音する

デバイスの内蔵マイクとスピーカーで、音声メモを録音・再生します。

1 次のオプションを選択します。

- ・ウォッチフェイスページで  を押します。
- ・  を長押しします。

2 【音声メモ】を選択します。

3 画面を左にスワイプします。

4 次のオプションを選択します。

- ・【位置】 音声メモに GPS の位置情報を保存します。
- ・【音量】 スピーカーの音量を調整します。

5 ● を選択します。

6 音声メモに録音する内容を発話します。

7 ■ を選択します。

8 次のオプションを選択します。

- ・▶ 音声メモを再生します。
- ・左にスワイプして音声メモの名前を変更、または音声メモを削除します。
- ・📍 音声メモの地点を地図上で確認します。
- ・  を押して前の画面に戻り、||\ を選択して音声メモのライブラリを表示します。

Messenger アプリを使用する

△注意

スマートフォンの Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

注意

デバイスで Messenger アプリを使用するには、デバイスが BluetoothR 接続を使用して対応するスマートフォンの Messenger アプリに接続されている必要があります。(99 ページ [Garmin Messenger アプリ](#))

デバイスの Messenger アプリでは、スマートフォンの Garmin Messenger アプリからのメッセージを表示、作成、返信することができます。

1 次のオプションを選択します。

- ・ウォッチフェイスページで画面を上スワイプします。

2 [Messenger] を選択します。

3 初めて Messenger 機能を使用する場合は、デバイスに表示された二次元コードをスマートフォンのカメラでスキャンして、画面に表示される指示に従ってペアリングとセットアッププロセスを完了します。

4 デバイスで次のオプションを選択します。

- ・メッセージを新規作成するには、 を選択します。宛先を選択して、プリセットメッセージを選択するか、またはメッセージを入力します。
- ・メッセージを確認するには、画面を下にスクロールして、任意のメッセージのスレッドを選択します。
- ・メッセージに返信するには、任意のメッセージスレッドを選択して【返信】を選択します。リストからメッセージを選択するか、メッセージを入力します。

音声コマンドを使用する

注意：この機能は、一部の言語では利用できません。

1 次のオプションを選択します。

- ウォッチフェイスページで  を押し、[音声コマンド]を選択します。

-  を長押しして、[音声コマンド]を選択します。

注意：コントロールメニューはカスタマイズできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

- 「OK Garmin」と発話します。

注意：システム設定から「OK Garmin」の起動ワードを有効にすることができます。(119 ページ [起動ワードを有効にする](#))

2 任意の音声コマンドを発話します。(18 ページ [音声コマンド一覧](#))

音声コマンド一覧

音声コマンドシステムは、自然音声を自動認識して動作するように設計されています。以下のリストは、音声コマンドの一例です。リストに示す例とは異なるフレーズでもコマンドを認識することができます(「OK Garmin」を除く)。リストに示す例とは異なるフレーズでもコマンドを認識することができます。音声コマンドについて、詳しくは [Garmin.com/voicecommand/tips](https://garmin.com/voicecommand/tips) をご参照ください。

起動ワード	機能
OK Garmin	音声コマンドを起動します。起動ワードに続けて、音声コマンドを発話します。

音声コマンドのヘルプ	機能
• コマンドとして使えるフレーズを教えて • 認識できるコマンドは？	音声コマンドの例を表示します。

デバイスとディスプレイ

音声コマンド	機能
• スマートフォンを探して • スマートフォンの探索開始	スマートフォンで探索用のサウンドを再生します。(Bluetooth 接続範囲内にある場合)
• サイレントモードを解除して • サイレントモードをオフ	サイレントモードをオフにします。
• 機内モードにする • 機内モードをオン	機内モードにして、すべてのワイヤレス接続を無効にします。
• 画面輝度を高くして • ディスプレイを明るくする	ディスプレイの輝度を上げます。(AMOLED ディスプレイ搭載モデルのみ)
• 画面輝度を低くして • バックライトを弱くする	ディスプレイの輝度を下げます。(AMOLED ディスプレイ搭載モデルのみ)
• 明るさ 80 に調整 • ディスプレイの輝度を 80 に変更する	デバイスの輝度を指定した値(0 ~ 100%)に設定します。(MIP ディスプレイ搭載モデルのみ)

アラーム&タイマー

音声コマンド	機能
• 15 分のタイマーをスタート • 15 分計って	指定した時間のタイマーを設定します。
• タイマーを止めて • カウントダウン停止	現在作動中のタイマーを停止します。
• タイマーの残りをカウント • カウントダウンを再開	停止中のタイマーを再開します。
• タイマー終わり • カウントダウンを終了する	現在作動中のタイマーを終了します。
• ストップウォッチを起動する • ストップウォッチで計測開始	ストップウォッチを開始します。

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ストップウォッチ停止 ・ストップウォッチでの計測を終了 	ストップウォッチを停止します。
<ul style="list-style-type: none"> ・アラームを午前 3 時 15 分にセット ・午前 3 時 15 分になったら教えて 	指定した時間にアラームを鳴らします。(一回のみ)

アプリとアクティビティ

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none"> ・今の天気を教えて ・天気予報を表示 	天気アプリを開きます。
<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーを表示 ・カレンダーを開いて 	カレンダーアプリを開きます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ランを開始 ・ランアクティビティを起動して 	ランのアクティビティを開始します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングを開始 ・ハイイクアクティビティを記録する 	ハイキングのアクティビティを開始します。
<ul style="list-style-type: none"> ・トライアスロンを開始 ・トライアスロンのアクティビティを計測する 	トライアスロンのアクティビティを開始します。

注意: 音声コマンド一覧に示すアプリとアクティビティは一例です。デフォルトのすべてのアプリとアクティビティは、音声コマンドのフレーズに使用することができます。(15 ページ [アプリ](#)) (21 ページ [アクティビティ](#))

ナビゲーション

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーションを起動 ・ルートを教えて 	ナビゲーションのメニューを開きます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ここをポイント登録する ・ポイント一覧に現在地を追加 	現在地をポイントとして保存します。
<ul style="list-style-type: none"> ・コンパスを表示 ・コンパス画面を開いて 	コンパスを開きます。

オーディオ

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none"> ・音量 8 にセット ・音量を 8 に変更する 	音量を指定した値(0 ～ 10 または 0 ～ 100%)に設定します。
<ul style="list-style-type: none"> ・音量を上げる ・音量を強くして 	音量を上げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・音量を下げる ・音量を落として 	音量を下げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を再生する ・曲をスタート 	現在選択中の曲を再生します。
<ul style="list-style-type: none"> ・次の曲を再生する ・再生中の曲をスキップ 	次の曲を再生します。
<ul style="list-style-type: none"> ・前の曲に戻る ・前の曲を再生 	前の曲を再生します。
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽再生を一時停止 ・音楽を止めて 	現在再生中の音楽の再生を停止します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ミュートにする ・サウンドをオフにして 	サウンドをミュートします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ミュート解除する ・サウンドをオンにして 	サウンドのミュートを解除します。

Garmin Pay

Garmin Pay の機能を使用すると、提携する金融機関が発行したクレジットカードやデビットカード、または対応する交通系 IC カードを利用して、対応する店舗や交通機関などでウォッチを使って支払いを行うことができます。

注意：この機能は、一部の国または地域では利用できません。

Garmin Pay ウォレットをセットアップする

Garmin Pay ウォレットに参加銀行のカードまたは交通系 IC カードを登録してセットアップします。Garmin Pay ウォレットには複数のカードを追加することができます。Garmin Pay に対応する参加銀行のカードについては [Garmin.com/garminpay/banks](https://garmin.com/garminpay/banks) をご参照ください。交通系 IC カードについては [Garmin.co.jp/minisite/garmin-pay/](https://garmin.co.jp/minisite/garmin-pay/) をご参照ください。

- 1 Garmin Connect アプリで・・・を選択します。
- 2 **[Wallet & Garmin Pay]** > **[開始]** の順に選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

登録済みの参加銀行カードで支払いをする

デバイスでタッチ決済を行うためには、Garmin Pay ウォレットに少なくとも 1 枚のカードを登録する必要があります。対応する加盟店は、デバイスをかざして支払いができます。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ウォッチフェイスページで  を押します。
 - ・  を長押しします。

- 2 **[ウォレット]** を選択します。

- 3 4 桁のパスコードを入力します。

注意：パスコードの入力を 3 回間違えると、ウォレットがロックされます。ロックされた場合は、Garmin Connect アプリでパスコードをリセットする必要があります。

前回使用したカードが表示されます。



- 4 Garmin Pay ウォレットに登録済みの別のカードを使用する場合は、**スワイプ**してカードを切り替えます。（任意）
- 5 60 秒以内にデバイスを決済端末の読み取り部にかざします。デバイスの画面が読み取り部に向くようにしてかざしてください。リーダーとの通信が完了すると、デバイスが振動して画面にチェックマークが表示されます。
- 6 必要に応じて、決済端末の指示に従って取引処理を完了します。

ヒント：一度パスコードの入力に成功すると、デバイスを腕から取り外さない限り、その後 24 時間はパスコードなしで支払いを行うことができます。デバイスを腕から取り外したり、デバイスの光学式心拍計による心拍モニタリングが無効になると、支払いの際に再度パスコードの入力が必要になります。

Garmin Pay ウォレットにカードを追加する

Garmin Pay ウォレットには、最大で 10 枚のカードを登録することができます。交通系 IC カードは、1 枚まで登録することができます。

1 Garmin Connect アプリで・・・> **[Wallet & Garmin Pay]** > **+** の順に選択します。

2 画面に表示される指示に従って操作します。

カードが追加されると、デバイスで支払いをするときにカードを選択できます。

Garmin Pay のカードを管理する

カードを一時停止したり、削除できます。

注意：一部の国では、参加銀行により Garmin Pay の機能に利用制限を設けている場合があります。

1 Garmin Connect アプリで・・・> **[Wallet & Garmin Pay]** の順に選択します。

2 カードを選択します。

3 **⋮** を選択します。

4 次のオプションを選択します。

- ・ **[カードの停止]** カードの利用を一時停止、または一時停止を解除します。一時停止を解除するまで、Garmin Pay での支払いに使用することはできません。
- ・ **🗑️ [カードを削除]**：カードを削除します。

Garmin Pay のパスコードを変更する

パスコードを変更するには、現在のパスコードの入力が必要です。パスコードを忘れてしまった場合は、デバイスの Garmin Pay 機能をリセットして新しいパスコードを設定し、カード情報を入力しなおす必要があります。

注意：Garmin Pay のパスコードを変更すると、デバイスのパスコードロックのパスコードも変更されます。
([117 ページ デバイスのパスコードを変更する](#))

1 Garmin Connect アプリで・・・を選択します。

2 **[Wallet & Garmin Pay]** > **[パスコードの変更]** の順に選択します。

3 画面に表示される指示に従って操作します。

パスコード変更後の初回支払い時は、新しいパスコードを入力する必要があります。

アクティビティ

ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**し、**⋮** を選択します。お気に入りに設定したアクティビティは、リストの上部に表示されます。([34 ページ アクティビティのお気に入りリストをカスタマイズする](#))

注意：同一のアクティビティが複数の異なるカテゴリーに表示される場合があります。



カテゴリー	アクティビティ
ラン	ラン、トラックラン、トレイルラン、トレッドミル、屋内トラック、障害物レース、ウルトララン、バーチャルラン
バイク	バイク、バイク通勤、屋内バイク、バイクツアー、BMX、シクロクロス、e-バイク、e-MTB、グラベルバイク、MTB、ロードバイク
スイム	屋外スイム、プールスイム
マルチスポーツ	混合セッション、スイムラン、トライアスロン

カテゴリー	アクティビティ
ジム	ボクシング、カーディオ、屋内クライム、Xトレーナー、フロアクライム、HIIT、なわとび、総合格闘技、モビリティ、ピラティス、屋内ロー、ステアステッパー、筋トレ、屋内ウォーク、ヨガ
アウトドア	Adventure Race、アーチェリー、ボルダリング、ディスクゴルフ、Driving Range、Expedition、釣り、ゴルフ、ハイキング、乗馬、狩り、インラインスケート、登山、ラッキング、ウォーク
ウィンタースポーツ	アイススケート、スキー、スノーボード、スノーモービル、スノーシュー、XC クラシックスキー、XC スケートスキー
ウォータースポーツ	ボート、カヤック、ローイング、ヨット、長距離ヨット、ヨットレース、シュノーケル、SUP
チームスポーツ	アメリカンフットボール、野球、バスケットボール、クリケット、フィールドホッケー、アイスホッケー、ラグロス、ラグビー、サッカー、ソフトボール、バレーボール、アルティメット
ラケットスポーツ	バドミントン、パデル、ピククルボール、プラットホームテニス、ラケットボール、スカッシュ、卓球、テニス
モータースポーツ	ATV、モトクロス、オートバイ、オーバーランド
その他	ブレスワーク、瞑想、トラックミー

アクティビティを開始する

アクティビティを開始するときに、自動で GPS がオンになります。(GPS 設定が有効なアクティビティの場合)

- 1 ウォッチフェイスページで  を押します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ピン留めされているアクティビティを選択します。(34 ページ [アクティビティ&アプリ設定のカスタマイズ](#))
 - ・  を選択して、お気に入り外のアクティビティを選択します。
- 3 GPS の受信が必要なアクティビティの場合は、上空の開けた屋外で静止して GPS の受信を完了します。
必要に応じてワイヤレスセンサーを接続して、光学式心拍計で心拍数を測定し、デバイスの準備が完了します。
- 4  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
アクティビティのデータはタイマー計測中のみ記録されます。

アクティビティ記録のヒント

- ・アクティビティを開始する前にデバイスを充電してください。(122 ページ [デバイスを充電する](#))
- ・アクティビティを選択した後、アクティビティタイマーを開始する前に画面の上端から下に**スワイプ**するとアクティビティステータスメニューが表示されます。ここから各種ステータス設定を変更できます。
ヒント：アクティビティ中は、画面を左に**スワイプ**してから下に**スワイプ**すると、アクティビティステータスメニューを表示できます。
- ・一部のアクティビティでは、 を押すと手動でラップを取得したり、新しいセットやポーズの開始、ワークアウトの次のステップに移行することができます。
特定のアクティビティでは、 を選択してラップの取得を取り消すことができます。
- ・タッチスクリーンを上または下に**スワイプ**して、トレーニングページをスクロールします。
ヒント：アクティビティ実行中にタッチスクリーンのロックを解除するには、スクリーンの上端から下方向に**スワイプ**します。
- ・アクティビティ設定を表示するには、タッチスクリーンを左から右に**スワイプ**します。ミュージックコントロールを表示するには、タッチスクリーンを右から左に**スワイプ**します。
- ・アクティビティ実行中に画面を右に**スワイプ**して **[スポーツ変更]** を選択すると、アクティビティタイプを変更できます。複数のアクティビティタイプを含むアクティビティは、マルチスポーツアクティビティとして保存されます。

アクティビティを終了する

アクティビティタイプにより利用可能なオプションが異なります。

- 1  を押します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[再開]** タイマーを再開します。

- ・ **【次のアクティビティ】** 混合セッションアクティビティで次のスポーツに移行します。(29 ページ [混合セッションアクティビティを記録する](#))
- ・ **【保存】** > オプションを選択 アクティビティのデータを保存して、詳細を確認します。
注意：自己評価がオンのとき、アクティビティの評価を入力できます。(23 ページ [アクティビティを自己評価する](#))
- ・ **【後で再開】** アクティビティを一時中断してウォッチフェイスページに戻ります。
- ・ **【ラップ】** ラップを取得します。
特定のアクティビティでは、 を選択してラップの取得を取り消すことができます。
- ・ **【スタート地点】** > **【TracBack】** アクティビティの軌跡を辿って開始地点へ戻るナビゲーションを開始します。
注意：このオプションは、GPS 設定が有効なアクティビティのみ利用できます。
- ・ **【スタート地点】** > **【ルート】** アクティビティの終了地点から開始地点に戻る直行のナビゲーションを開始します。
注意：このオプションは、GPS 設定が有効なアクティビティのみ利用できます。
- ・ **【リカバリー心拍数】** 2 分間のカウントダウンを開始して、タイマー停止時の心拍数とタイマー停止から 2 分後の心拍数の差を表示します。(心拍計測が有効なアクティビティのみ) (66 ページ [リカバリー心拍](#))
- ・ **【削除】** >  データを削除してアクティビティを終了します。

注意：タイマー停止後 30 分間操作を行わないと、自動でデータが保存されます。

アクティビティを自己評価する

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

特定のアクティビティでは、自己評価設定をカスタマイズできます。(57 ページ [自己評価をオンにする](#))

- 1 アクティビティのタイマーを停止して、オプションから **【保存】** を選択します。(22 ページ [アクティビティを終了する](#))
- 2 エフォート評価を 10 段階で選択します。
注意：自己評価をスキップするには、**【スキップ】** を選択します。
- 3 フィーリング評価を 5 段階で選択します。

自己評価は、Garmin Connect アプリで確認できます。

アクティビティ記録中にスポーツを切り替える

単一スポーツ用のアクティビティを選択して記録を開始した場合でも、途中でスポーツを手動で切り替えて記録を続けることができます。例えば、屋外でバイクとカヤックを 10 分ずつ行い、屋内ウォークで締めくくるまでの 3 種目を 1 つのアクティビティデータとして記録します。

この機能は、チームスポーツやラケットスポーツには対応していません。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択します。
- 3 アクティビティを選択します。
- 4  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 5 次のスポーツを開始する準備ができれば、タイマーは止めずに画面を右にスワイプして **【スポーツ変更】** を選択します。
- 6 アクティビティタイプを選択します。
次のスポーツの記録が開始されるまでのカウントダウンが表示されます。
ヒント： を押すとスポーツの切り替えをキャンセルできます。
注意：屋内スポーツから屋外スポーツに切り替える場合、衛星信号を捕捉するため切り替え完了までに時間がかかります。
- 7 現在のスポーツを完了したら、手順 5～6 を繰り返すか、 を押してタイマーを停止します。
- 8 **【保存】** >  の順に選択します。
- 9 次のオプションを選択します。
 - ・ 画面をスクロールして、スポーツごとのタイムやアクティビティ全体でのパフォーマンス測定結果を確認します。
 - ・ 画面を左にスワイプして、スポーツごとのアクティビティデータなどの追加オプションを確認したり、全体のアクティビティデータを削除します。

ランニング

ランを開始する

ランアクティビティでは、ワイヤレスセンサーをデバイスとペアリングして利用することができます。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

- 1 ワイヤレスセンサー(心拍計等)を装着します。(任意)
- 2 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 3  > **[ラン]** の順に選択します。
- 4 外部接続のワイヤレスセンサーを使用する場合は、センサーとの接続が完了するまで待機します。
- 5 屋外の上空の開けた場所で静止して、GPS の受信を完了します。
- 6  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
アクティビティのデータはタイマー計測中のみ記録されます。
- 7 ランニングを開始します。
- 8  を押してラップを取得します。(任意)
- 9 上または下にスワイプしてトレーニングページをスクロールします。
- 10 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

トラックランを開始する

トラックランのアクティビティは、標準的な 400m トラック上で行ってください。

トラックランのアクティビティでは、メートル単位の距離やラップスプリットなどの屋外トラックデータを記録することができます。

- 1 屋外のトラックのスタート地点に立ちます。
- 2 ウォッチフェイスページで  を押します。
- 3  > **[ラン]** フォルダ > **[トラックラン]** の順に選択します。
- 4 衛星信号の受信完了を待ちます。
- 5 レーン 1 を走行する場合は、手順 8 に進みます。
- 6 **[レーン番号]** を選択します。
- 7 走行レーンを選択します。
- 8  を押します。
- 9 トラックを周回します。
- 10 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

トラックランアクティビティのヒント

Garmin のトラックデータベースには、全世界 10,000 トラック以上のトラックが収録されています。

- トラックランを開始する前に、衛星信号を受信してください。
- デバイスがトラックを認識しない場合は、トラックの距離を校正するため、4 周走行してください。1 周分の計測には、スタート地点を少し超えて走る必要があります。
- 開始から終了まで同じレーンを走行してください。
注意：トラックランの自動ラップは、デフォルトで 1600m(トラック 4 周)に設定されています。
- レーン 1 以外のレーンを走行するときは、トラックラン設定で走行するレーン番号を正しく設定してください。

バーチャルランを開始する

バーチャルランアクティビティとは、サードパーティ製のバーチャルランニングアプリを使用して、ゲーム感覚でトレーニングができる機能です。デバイスで取得した距離やスピード、心拍数などの情報を、バーチャルランニングアプリに送信します。あらかじめ Zwift™ などのバーチャルランニングアプリのインストールやユーザー登録が必要な場合があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

- 2  > **[ラン]** フォルダ > **[バーチャルラン]** の順に選択します。
- 3 PC やスマートフォンで Zwift などのバーチャルランニングアプリを開きます。
- 4 画面の指示に従ってデバイスをペアリングします。
- 5  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 6 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

トレッドミル距離を校正する

トレッドミルを使用したアクティビティでより正確な距離を記録するためには、トレッドミル上で 2.4km(1.5mi) 以上走行した後に校正を行います。複数のトレッドミルを使用するときは、トレッドミルを変更すること、または一回のランごとに校正することができます。

- 1 トレッドミルアクティビティを開始します。(22 ページ [アクティビティを開始する](#))
- 2 デバイスで計測した走行距離が 2.4km(1.5mi) 以上になるまで、トレッドミル上で走行します。
- 3 アクティビティを終了するには、 を押してアクティビティのタイマーを停止します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・初めて距離の校正を行う場合は **[保存]** を選択します。校正完了のメッセージを確認します。
 - ・初回の校正以降に手で校正を行う場合は、**[校正 & 保存]** >  を選択します。
- 5 トレッドミルに表示されている走行距離を確認して、デバイスにその距離を入力します。

障害物レースアクティビティを記録する

障害物レースアクティビティで、障害物コースレースでの障害物ごとのタイムと障害物間のタイムを記録できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[ラン]** フォルダ > **[障害物レース]** の順に選択します。
- 3  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 4 手で障害物の開始地点と終了地点を記録するには、 を押します。

注意： コースの一周目で障害物の位置を保存するには、障害物トラッキング設定を有効にします。保存された障害物の位置に基づいて、コース周回中に障害物とランニングのインターバルを自動で切り替えます。
- 5 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

ウルトラランアクティビティを記録する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[ラン]** フォルダ > **[ウルトララン]** の順に選択します。
- 3  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 4 ランニングを開始します。
- 5  を押してラップを取得して、休息タイマーを開始します。

ヒント： 自動休息設定をカスタマイズできます。(25 ページ [ウルトラランの自動休息設定](#))
- 6 休息が完了したら、 を押してランニングを再開します。
- 7 画面を上または下に **スワイプ** して、トレーニングページをスクロールします。(任意)
- 8 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

ウルトラランの自動休息設定

ウルトラランアクティビティの自動休息設定をカスタマイズします。

[ステータス]： 自動休息機能をオン / オフします。

[休息開始]：[停止時] のオプションでは、走行を停止したときに自動で休息タイマーを開始します。**[手動のみ]** のオプションでは、 を押したときのみ休息タイマーを開始します。

[休息終了]： 休息タイマーを自動で終了する走行ペースを設定します。

【最小時間】：休息タイマーが自動開始 / 終了する前に最小限必要な時間を設定します。

【ラップキー】：を押したときの挙動を選択します。**【ラップ+休息】**のオプションではラップを記録して休息タイマーを開始します。**【休息のみ】**のオプションでは休息タイマーのみ開始します。

サイクリング

ライドを開始する

バイクアクティビティでは、ワイヤレスセンサーをデバイスとペアリングして利用することができます。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

- 1 ワイヤレスセンサー(心拍計、バイクライト 等)をペアリングします。(任意)
- 2 ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
- 3  > **【バイク】**フォルダの順に選択します。
- 4 サイクリングアクティビティを選択します。
- 5 外部接続のワイヤレスセンサーを使用する場合は、センサーとの接続が完了するまで待機します。
- 6 屋外の上空の開けた場所で静止して、GPS の受信を完了します。
- 7 を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
アクティビティのデータはタイマー計測中のみ記録されます。
- 8 アクティビティを開始します。
- 9 上または下に**スワイプ**してトレーニングページをスクロールします。
- 10 アクティビティを終了するには、を押して**【保存】**を選択します。

屋内トレーナーを使用する

対応する屋内トレーナーを使用するには、あらかじめデバイスとトレーナーを BluetoothR 接続または ANT+ 接続でペアリングする必要があります。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

スマートトレーナーを使用してコースやライド、ワークアウトに沿って負荷のシミュレーションを実行できます。スマートトレーナー使用中は、自動で GPS がオフになります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
- 2  > **【バイク】**フォルダ > **【屋内バイク】**の順に選択します。
- 3 画面を右に**スワイプ**します。
- 4 **【スマートトレーナーオプション】**を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **【フリーライド】** ワークアウトやコースを利用せずにトレーニングします。
 - ・ **【ワークアウト】** 保存済みワークアウトを利用してトレーニングします。(51 ページ [ワークアウト](#))
 - ・ **【コース】** 保存済みコースを利用してトレーニングします。(86 ページ [コース](#))
 - ・ **【パワー】** 目標のパワーを設定します。
 - ・ **【勾配設定】** シミュレーションする勾配を設定します。
 - ・ **【負荷設定】** スマートトレーナーの負荷を設定します。
- 6 を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
コースまたはアクティビティの高度データをもとに、トレーナーが自動で負荷を増減します。

パワーガイド

コースの標高やコース走破にかかる予想タイム、FTP などをもとに自身の能力に合ったパワー戦略を作成することができます。

パワーガイド戦略を成功させるポイントは、まずユーザーの能力に見合った目標運動量を選択することです。目標運動量が高いとパワーターゲットは高く、目標運動量が低いとパワーターゲットは低くなります(27 ページ [パワーガイドを作成する](#))。パワーガイド戦略の目的は、任意の目標タイムの達成ではなく、ユーザーの能力でコースを走破することにあります。目標運動量はライド中に変更できます。

パワーガイドは、ワークアウトやセグメントでは使用できません。作成したパワー戦略は Garmin Connect アプリで表示・編集し、パワーガイド機能対応の Garmin デバイスに転送することができます。

この機能を使用するには、デバイスとパワー計をペアリングして接続する必要があります。(90 ページ [ワイ](#)

ヤレスセンサーをペアリングする)

パワーガイドを作成する

パワーガイドを作成するには、あらかじめデバイスとパワー計をペアリングする必要があります(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))。また、Garmin Connect アカウントにコースが保存されている必要があります。(86 ページ [Garmin Connect でコースを作成する](#))

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 **[トレーニングと計画]** > **[パワーガイド]** > **[パワーガイド戦略の作成]** の順に選択します。
- 3 画面に表示される指示に従ってパワーガイドを作成します。
- 4  を選択します。
- 5 デバイスを選択します。
- 6 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 7 デバイスで任意の屋外バイクアクティビティを選択します。
- 8 下にスクロールして**[トレーニング]** > **[パワーガイド]** の順に選択します。
- 9 任意のパワーガイドを選択します。
- 10  を押して、**[プラン開始]**を選択します。

ヒント：プランの開始前に、地図や高度グラフ、運動量、プランの設定、スプリットを確認できます。

スイミング

注意

本製品でスキューバダイビングなどの潜水を伴うアクティビティは行わないでください。デバイスに防水性能以上の水圧がかかると、デバイスが故障するおそれがあります。その場合の故障には、製品保証が適用されない場合があります。

注意：デバイスに内蔵の光学式心拍計は、スイムアクティビティに対応しています。

デバイスは HRM-Pro シリーズなどの別売のハートレートセンサーにも対応しています。

光学式心拍計とハートレートセンサーのどちらも計測が有効な場合は、ハートレートセンサーで計測したデータが優先されます。

プールスイムを開始する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[スイム]** フォルダ > **[プールスイム]** の順に選択します。
- 3 プールサイズを選択するか、カスタムサイズを入力します。
- 4 スイムアクティビティを開始する前に、アクティビティ設定を確認します。(35 ページ [アクティビティ設定](#))
例えば、スイムアクティビティではタッチ操作のロックがデフォルトで有効に設定されています。
- 5  を押します。
タイマー計測中のみスイムデータが記録されます。
- 6 スイミングを開始します。
デバイスはインターバルとラップを自動で記録します。自動休息機能がデフォルトでオンに設定されています。(28 ページ [スイムアクティビティの自動休息と手動休息](#))
- 7 アクティビティを終了するには、 を押して**[保存]**を選択します。

スイム用語

ラップ：プールの片道。プールを往復した場合 2 ラップとなる。

インターバル：1 ラップ以上の連続したラップを含む区間。**LAP キー**を押して休息モードに移行後、再度 **LAP キー**を押してタイマーを再開すると新たなインターバルとして記録が開始する。

ストローク：デバイスを装着している腕の一回転 = 1 ストローク。

SWOLF：1 ラップのタイム(秒)とストローク数の和。1 ラップを 30 秒、15 ストロークで泳いだ場合、SWOLF スコアは 45 となる。屋外スイムアクティビティの SWOLF スコアは、1 ラップ 25m として計算される。スコアが低

いほど、泳ぎが効率的であることを表す。

クリティカルスイムスピード(CSS)：疲労することなく泳ぎ続けられる理論上の速度。トレーニングのペースの参考にしたり、スイミングレベル向上の目安となる。

ストロークタイプ(泳法)

ストロークタイプ(泳法)の検出は、プールスイムアクティビティのみ有効です。ストロークタイプは1 ラップごとに検出されます。ストロークタイプは、アクティビティの履歴または Garmin Connect アカウントで確認することができます。また、トレーニングページのデータ項目に表示することができます。(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))

Free	クロール
Back	背泳ぎ
Breast	平泳ぎ
Fly	バタフライ
Mixed	ミックス(1 つのインターバルに複数のストロークタイプを検出)
Drill	ドリル記録(28 ページ ドリル記録でトレーニングする)

スイムアクティビティのヒント

- スイムアクティビティを開始する前に、アクティビティ設定を確認します。(35 ページ [アクティビティ設定](#))
例えば、スイムアクティビティではタッチ操作のロックがデフォルトで有効に設定されています。
- 屋外スイムアクティビティでは、を押してインターバルを記録します。
- スイムアクティビティを初めて開始するときは、画面に表示される指示に従ってプールサイズを選択するか、カスタムサイズを入力します。
デバイスは、完了したラップ数をもとに距離を計測します。正確に距離を計測するため、プールサイズは正しく設定してください。次回以降、選択したプールサイズが使用されます。プールサイズは、画面を下にスクロールしてアクティビティ設定から変更できます。
- 正確な結果を表示するには、プールの全長を1 つのストロークタイプで最後まで泳いでください。休息するときは、休息モードに切り替えるか、タイマーを一時停止します。
- プールスイムアクティビティでは、を押して休息タイムを記録します(28 ページ [スイムアクティビティの自動休息と手動休息](#))。デバイスは自動でインターバルとラップを記録します。
- ターンしたときは、最初のストロークを始める前にプールの壁を強く蹴ってグライドすることで、ラップ数のカウントがより正確になります。
- ドリル練習をするときは、アクティビティのタイマーを一時停止するか、ドリル記録機能を使用してください。(28 ページ [ドリル記録でトレーニングする](#))

スイムアクティビティの自動休息と手動休息

自動休息は、プールスイムアクティビティでのみ有効な機能です。デバイスが休息を検知すると、自動で休息ページが表示されます。15 秒以上休息すると、自動で休息インターバルを作成します。再度泳ぎ始めると、自動で新たなスイムインターバルの記録が再開します。

ヒント：自動休息中は、デバイスを装着している腕の動きを最小限にしてください。

休息インターバルへの切り替えを手動でのみ行う場合は、アクティビティ設定で自動休息をオフに設定してください(35 ページ [アクティビティ設定](#))。スイム中に手動で休息インターバルを記録するには、を押します。

休息インターバル中にスイムデータは記録されません。

ヒント：休息が短い場合や、インターバルの切り替えタイミングに精密さを求める場合は、手動で休息インターバルを記録してください。

ドリル記録でトレーニングする

ドリル記録は、プールスイムアクティビティでのみ有効な機能です。練習のためにクロールや背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ以外の泳法で泳いだり、片腕やキックのみで泳いだりする場合に、ドリル記録機能を使用します。

- プールスイムアクティビティ実行中に、トレーニングページを上または下にスクロールして、ドリル記録ページを表示します。
- を押して、ドリル記録を開始します。

3 ドリル記録を終了するには、再度  を押します。

ドリル記録のタイマーが停止します。(スイムアクティビティ自体のタイマーは停止しません。)

4 ドリル記録中に泳いだ距離を選択します。

プールサイズを基にしたドリル距離の選択肢から距離を選択します。

5 次のオプションを選択します。

- 続けて別のドリル記録を開始するには、再度  を押します。
- 通常のスイムアクティビティに戻る場合は、上または下にスクロールしてドリル記録ページから他のトレーニングページにスクロールします。

ドリルを完了すると、休息に移行します。

6 次のオプションを選択します。

- アクティビティを再開するには、 を押します。
- アクティビティを終了するには、 を押します。

マルチスポーツ

トライアスロンやデュアスロン、スイムランなどのマルチスポーツ競技を行う場合は、マルチスポーツアクティビティを選択します。マルチスポーツアクティビティでは、アクティビティ全体のタイムと距離の確認やトランジションへの切り替えを簡単なキー操作で行うことができます。例えば、バイクからランに切り替えて、バイクとランの合計タイムをマルチスポーツアクティビティとして確認できます。

デバイスにあらかじめ設定されているスタンダードなトライアスロンを使用するか、マルチスポーツアクティビティをカスタマイズすることができます。

トライアスロントレーニング

トライアスロンアクティビティを使用して、トランジションと各スポーツの区間をすばやく切り替えて、区間ごとのタイムを計測してアクティビティに保存することができます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  > **[マルチスポーツ]** > **[トライアスロン]** の順に選択します。

3  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

注意：初めてトライアスロンアクティビティを開始するとき、**[自動スポーツ変更]**を有効にすることができます。有効にすると、デバイスがスポーツの切り替わりを検出して次の種目またはトランジションに自動で移行します。
(35 ページ [アクティビティ設定](#))

4 必要に応じて、各トランジションの開始時と終了時に  を長押しします。

トランジション機能は初期設定で有効になっており、トランジションのタイムはアクティビティのタイムとは別に記録されます。トランジション機能は、トライアスロンアクティビティの設定で有効または無効にできます。

トランジション機能が無効になっている場合は、 を長押ししてスポーツを切り替えます。

5 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

混合セッションアクティビティを記録する

複数のアクティビティのスポーツを続けて行う場合に、混合セッションアクティビティとして一つのアクティビティデータにまとめて記録することができます。スポーツごとにアクティビティデータを分けて記録する必要はありません。

注意：一部のアクティビティは、混合セッションでは使用できません。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  > **[マルチスポーツ]** > **[混合セッション]** の順に選択します。

3 アクティビティを選択します。

4  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

5 アクティビティを完了するときは、 を押してタイマーを停止します。

6 **[次のアクティビティ]** を選択します。

- 7 次のアクティビティを選択します。
- 8 必要に応じて、手順 4～7 を繰り返します。
タイマー計測中は、画面を右にスワイプして前のアクティビティに戻ることができます。
- 9  を押してタイマーを停止します。
- 10 **[保存]** >  の順に選択します。
- 11 次のオプションを選択します。
 - ・画面をスクロールして、アクティビティのセクションごとのタイムや混合セッションアクティビティ全体でのパフォーマンス測定結果を確認します。
 - ・画面を左にスワイプして、セクションごとのアクティビティデータなどの追加オプションを確認したり、アクティビティデータを削除します。

マルチスポーツアクティビティを新規追加する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[編集]** > **[追加]** > **[マルチスポーツ]** の順に選択します。
- 3 任意のマルチスポーツアクティビティタイプを選択するか、**[カスタム]** を選択して任意の名前を入力します。
重複するアクティビティ名には、「トライアスロン(2)」などのように番号が振られます。
- 4 2 つ以上のアクティビティを選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・必要に応じて、トランジションのオン / オフなどのアクティビティ設定をカスタマイズします。
 - ・カスタムアクティビティを保存するには、**[完了]** を選択します。

ジム

屋内でのトラック走や、トレッドミルやフィットネスバイクを使用したトレーニングを行う場合には、屋内アクティビティを選択します。屋内アクティビティでは GPS がオフになります。(35 ページ [アクティビティ設定](#))

屋内ランニングアクティビティでの距離やスピードは、デバイスに内蔵の加速度計で計測されます。加速度計は自己校正します。屋外で GPS を利用したランまたはウォークのアクティビティを数回行くと、加速度計の計測データ精度が向上します。

ヒント：デバイスを装着した手でトレッドミルの手すりをつかむなどして固定した状態で走った場合、加速度計によるデータ計測の精度が低くなります。

屋内バイクアクティビティでは、距離とスピードは別売のスピードセンサー / ケイデンスセンサーを使用しないと計測できません。

筋力トレーニングアクティビティを記録する

筋力トレーニングアクティビティのセットを記録することができます。セットには、一種類の動作の繰り返し回数(レップ)を記録できます。Garmin Connect で筋力トレーニングのワークアウトを検索してデバイスに送信できます。

ヒント：筋トレワークアウト中に  を押すと、オプションメニューを表示できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[ジム]** > **[筋トレ]** の順に選択します。
初めて筋力トレーニングアクティビティを開始するときは、デバイスを装着している手首を選択します。
- 3 初めて筋力トレーニングアクティビティを記録する場合は、**[ワークアウト]** > **[ワークアウトを参照]** の順に選択し、画面に表示される指示に従います。(52 ページ [Garmin Connect からワークアウトをデバイスに転送する](#))
- 4 ワークアウトを選択します。
ヒント：ワークアウトを利用しない場合は、**[フリー]** >  を選択して手順 7 に進みます。
- 5 画面を下にスクロールして、ワークアウトの詳細を確認します。
- 6 **[ワークアウト開始]** を選択します。
[その他] を選択するとワークアウトオプションの詳細を確認できます。
- 7  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 8 最初のセットを開始します。

デバイスが回数(レップ数)をカウントします。回数は、4 回完了以降にデバイスに表示されます。回数カウント機能をオフにするには、アクティビティ設定を編集してください(35 ページ [アクティビティ設定](#))。また、デバイスでワークアウトの動画を確認できます。(一部ワークアウトのみ対応)

ヒント：同じセット内で検出可能な動作は、一種類のみです。動作を変える場合は、次のセットに切り替えてください。

9 画面を上または下にスクロールして、トレーニングページを切り替えます。

10  を押してセットを終了します。

セットの合計回数が表示されます。

11 必要な場合は、回数とウェイトを編集します。ウェイトを編集するには、 を選択します。**[完了]** を選択して編集を終了します。

12 休息タイマーが表示され、次のセット開始までのカウントダウンが表示されます。

ヒント：カウントダウンの途中で  を押すと、次のセットをすぐに開始できます。

13 同様の手順を繰り返して、セットを記録します。

14 アクティビティを終了するには、 を押して **[ワークアウトを停止]** を選択します。

筋力トレーニングアクティビティのポイント

- パフォーマンス中は、デバイスを見ないでください。
デバイスの操作は、パフォーマンスの区切りや休息中に行ってください。
- パフォーマンス中は、フォームに集中してください。
- ボディウエイトまたはフリーウエイトのトレーニングを行ってください。
- 動作する幅が広く、かつ均一なフォームを意識してパフォーマンスを行ってください。
デバイスを装着している腕がパフォーマンスの開始地点に戻ると、1 回としてカウントします。
注意：脚の運動はカウントされません。
- 自動セットのオプションをオンにして、セットの開始と終了を自動検出できます。
- 筋力トレーニングアクティビティを Garmin Connect アカウントに保存してください。
Garmin Connect アカウントのツールを使用して、アクティビティの詳細を確認して編集できます。

HIIT アクティビティを記録する

HIIT(高強度インターバルトレーニング)のアクティビティを記録します。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  > **[ジム]** > **[HIIT]** の順に選択します。

3 必要に応じて、**[HIIT タイプ]** を選択し、いずれかのオプションを選択します。

- [フリー]** セットとラウンドを設定しないフリーの HIIT アクティビティを実行します。
- [HIIT タイマー]** > **[AMRAP]** AMRAP(できるだけ多くのラウンド)の HIIT アクティビティを実行します。セットのタイムを設定します。
- [HIIT タイマー]** > **[EMOM]** EMOM(エブリミニットオンザミニット)の HIIT アクティビティを実行します。1 分間のセットの実行回数を設定して、ラウンドの繰り返し回数を設定します。
- [HIIT タイマー]** > **[タバタ]** 20 秒間の高強度のインターバルと 10 秒間の休息のセットを交互に繰り返す HIIT アクティビティを実行します。セットの実行回数を設定して、ラウンドの繰り返し回数を設定します。
- [HIIT タイマー]** > **[カスタム]** セットのワークタイムと休息タイム、セットの実行回数、ラウンドの繰り返し回数をカスタマイズして HIIT アクティビティを実行します。
- [ワークアウト]** デバイ스에保存済みの HIIT ワークアウトを実行します。

4 必要な場合、画面に表示される指示に従って操作します。

5  を押して、最初のラウンドを開始します。

画面にはカウントダウンタイマーと現在の心拍数が表示されます。

6  を押すと、手動で次のラウンドまたは休息に移行できます。

7 アクティビティを終了するには、 を押してアクティビティのタイマーを停止します。

8 **[保存]** を選択します。

モビリティアクティビティを記録する

モビリティアクティビティを運動と休息のインターバルを指定の時間で切り替えながら記録したり、Garmin Connect からモビリティのワークアウトをダウンロードできます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[ジム]** > **[モビリティ]** の順に選択します。
- 3 下にスクロールして **[トレーニング]** を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ 運動と休息のインターバルの長さを変更するには、**[インターバル]** を選択します。
 - ・ Garmin Connect からワークアウトをダウンロードして開始するには、**[ワークアウトライブラリ]** > **[ワークアウトを参照]** に順に選択し、画面に表示される指示に従って操作します。
- 5  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
デバイスがインターバルの切り替わりをガイドします。
- 6 スクロールしてその他のトレーニングページを確認します。

屋外アクティビティ

ボルダリングアクティビティを記録する

ボルダリングアクティビティを記録します。ルートには、クライミングウォールの登攀データが記録されます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[アウトドア]** > **[ボルダリング]** の順に選択します。
- 3 グレードを選択します。
ヒント： 選択したグレードは、次に設定を変更するまで保持されます。ボルダリングのアクティビティ設定からグレードを変更することができます。
- 4 ルートの難易度を選択します。
- 5  を押してタイマーを開始します。
- 6 最初のルートを登ります。
- 7  を押してルートを終了します。
- 8 次のオプションを選択します。
 - ・ **[達成]** 登攀に成功した場合に選択します。
 - ・ **[未達成]** 登攀に失敗した場合に選択します。
 - ・ **[削除]** 記録したルートを削除します。
- 9 休息を終了して次のルートを開始するには、 を押します。
- 10 同様の手順を繰り返して、ルートを記録します。
- 11  を押してタイマーを停止します。
- 12 **[保存]** を選択します。

Expedition を開始する

長期間に渡ってアクティビティを記録する場合に、Expedition アクティビティを使うことで、バッテリー稼働時間を長くすることができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[アウトドア]** > **[Expedition]** の順に選択します。
- 3  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
デバイスは低電力モードになり、GPS の位置情報により軌跡を 1 時間に 1 回記録します。バッテリーの消費を抑えるために、スマートフォン接続を含むすべてのセンサーやアクセサリとの接続が無効になります。

軌跡ポイントを手動で記録する

Expedition 実行中は、設定した記録間隔で軌跡ポイントが自動的に記録されます。また、いつでも軌跡ポイントを手動で記録することができます。

1 Expedition 実行中に、 を押します。

2 **[ポイント追加]** を選択します。

軌跡ポイントを確認する

1 Expedition 実行中に、 を押します。

2  を押します。

3 **[ポイント表示]** を選択します。

4 リストから軌跡ポイントを選択します。

ウィンタースポーツ

スキーの滑走を確認する

スキーまたはスノーボードの滑走を自動ラン機能で記録することができます。自動ラン機能はデフォルトでオンに設定されています。滑走を開始すると自動で新しい滑走を記録します。

1 スキーやスノーボードのアクティビティを開始します。

2 画面を右に**スワイプ**します。

3 **[滑走状況]** を選択します。

4 画面を上**にスワイプ**して、前回の滑走 / 現在の滑走 / 全体ページを確認します。

タイムと距離、最高速度、平均速度、総下降量を確認できます。

その他のアクティビティ

ブレスワークアクティビティを記録する

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  > **[その他]** フォルダ > **[ブレスワーク]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[コヒーレンス]** 心を穏やかな状態に整えます。
- ・ **[リラックスと集中]** 体の緊張をほぐし、集中力を高めます。
- ・ **[リラックスと集中(短)]** より短い時間で体の緊張をほぐし、集中力を高めます。
- ・ **[478呼吸法]** ストレスレベルを下げて睡眠の準備をします。

4 必要な場合は、**[ワークアウト開始]** を選択します。

5  を押してアクティビティを開始します。

6 画面に表示される指示に従ってブレスワークアクティビティを実行します。

7 ブレスワークの現在のステップをスキップするには、 を押します。

8 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。平均呼吸数と心拍数が表示されます。

9 画面を左に**スワイプ**します。

10 **[すべてのデータ]** を選択します。

平均心拍数、最大心拍数、平均呼吸数、ストレスレベルの変化が表示されます。

瞑想アクティビティを記録する

ガイド付きのセッションやセッションをカスタマイズして瞑想アクティビティを記録できます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  > **[その他]** フォルダ > **[瞑想]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[フリー]** セッションを設定せずに瞑想を記録します。
- ・ **[セッション]** 音声ガイド付きのセッションを開始します。
- ・ **[カスタム]** 音声ガイド付きのセッションを作成します。

4 必要な場合は、 を押して画面に表示される指示に従います。

- 5  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
カウントダウンタイマーまたは瞑想のフレーズが表示されます。
- 6 次のオプションを選択します。
- ・  を選択して、外部スピーカーで瞑想の音声を再生します。スピーカー音量を調整できます。
 - ・ デバイスにイヤホンと接続して瞑想の音声を再生することもできます。(106 ページ [Bluetooth イヤホンと接続する](#))
- 注意：瞑想アクティビティ中は通知はオフになります。
- 7 アクティビティを終了するには、 を押して **[保存]** を選択します。

アクティビティ & アプリ設定のカスタマイズ

アクティビティ & アプリのリストの並べ替え、トレーニングページ、データ項目などの設定をカスタマイズできます。

アプリのリストをカスタマイズする

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[編集]** を選択します。
- 3 **[追加]** を選択し、アプリ一覧に追加するアプリを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ アプリを並べ替えるには、任意のアプリを選択し、画面を上または下にスクロールして移動させ、 を押して決定します。
 - ・ アプリをリストから削除するには、任意のアプリを選択して、 を選択します。
- 5 **[完了]** を選択します。

アクティビティのお気に入りリストをカスタマイズする

よく利用するアクティビティをお気に入り設定して、素早くアクセスすることができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択します。
すでにお気に入り設定したアクティビティがある場合は、リストの上部に表示されます。
- 3 **[編集]** を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ アクティビティを並べ替えるには、任意のアクティビティを選択し、画面を上または下にスクロールして移動させ、 を押して決定します。
 - ・ アクティビティのお気に入り設定を解除するには、任意のアクティビティを選択して、 を選択します。
 - ・ アクティビティをお気に入りに追加するには、**[追加]** を選択して、アクティビティを選択します。

お気に入りのアクティビティをピン留めする

お気に入りのアクティビティをピン留めすると、アクティビティとアプリのリストの最上部に表示されます。最大で3つのアクティビティをピン留めできます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[編集]** の順に選択します。
- 3 お気に入りのリストでピン留めするアクティビティまでスクロールします。(34 ページ [アクティビティのお気に入りリストをカスタマイズする](#))
- 4 お気に入りのアクティビティの横に表示されている  を選択します。

次にアクティビティとアプリのリストを開いたときに、ピン留めしたアクティビティがリストの最上部に表示されます。

トレーニングページをカスタマイズする

トレーニングページの表示 / 非表示、レイアウトとデータ項目をカスタマイズします。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。
- 3 画面を下にスクロールし、アクティビティ設定を選択します。

- 4 **【トレーニングページ】**を選択します。
- 5 カスタマイズするページまでスクロールします。
- 6 任意のデータ項目を**タップ**します。
- 7 画面を上または下に**スワイプ**して、データ項目のカテゴリーを選択します。
- 8 画面を上または下に**スワイプ**して、表示するデータ項目を選択します。
ヒント：データ項目については、[130 ページ データ項目](#)をご参照ください。アクティビティタイプにより表示可能なデータ項目が異なります。
- 9 画面を左に**スワイプ**します。
- 10 次のオプションを選択します。
 - ・ **【レイアウト】** 分割数とレイアウトを選択します。
 - ・ **【並べ替え】** ページの表示位置を並べ替えます。
 - ・ **【削除】** ページを削除(非表示)します。
- 11 必要に応じて、**【追加】**を選択してトレーニングページを追加します。
カスタムトレーニングページまたは既定のトレーニングページを追加できます。

カスタムアクティビティを作成する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **【編集】** > **【追加】** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・  既存のアクティビティをコピーしてカスタムアクティビティを作成します。
 - ・ **【その他】** > **【その他】** カスタムアクティビティを新規作成します。
- 4 必要に応じてアクティビティタイプを選択します。
- 5 アクティビティ名を選択するか、任意のアクティビティ名を入力します。
重複するアクティビティ名には、「バイク(2)」などのように番号が振られます。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・ 必要に応じてアクティビティの設定をカスタマイズします。トレーニングページや自動オプションなどの設定を変更できます。
 - ・ カスタムアクティビティを保存するには、**【完了】**を選択します。

アクティビティ設定

アクティビティの設定をカスタマイズします。トレーニングページやアラートの設定、トレーニング機能などを設定することができます。アクティビティタイプにより、設定可能なオプションが異なります。一部のアクティビティタイプの設定オプションについては、別の記載をご確認ください。

ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**し、 > 任意のアクティビティ > **【(アクティビティ名)設定】** の順に選択します。

【沿面距離】：標高差を考慮した斜面に対する距離を計測します。

【沿面速度】：標高差を考慮した斜面に対する速度を計測します。

【アクセントカラー】：アクティビティアイコンのアクセントカラーを選択します。

【アクティビティ追加】：マルチスポーツアクティビティのアクティビティを追加します。

【アラート】：トレーニングまたはナビゲーションのアラートを設定します。(37 ページ [アクティビティのアラート](#))

【オーディオ出力】：オーディオアラートの音声を出力するデバイスを設定します。(38 ページ [アクティビティ実行中にオーディオアラートを再生する](#))

【自動クライム】：内蔵の高度計による高度変化の自動検出をオンにします。(39 ページ [自動クライムをオンにする](#))

【自動ラップ】：自動ラップを設定します。**【距離】**のオプションでは、設定した距離に到達するごとにラップを取得します。**【位置】**のオプションでは、 を押した地点を通過するごとにラップを取得します。**【自動選択】**のオプションでは、認定マラソンなどの計測ポイントがあるコースではマイルまたはキロメートルごとのコースポイントで、それ以外の場合は**【距離】**モードで指定した距離でラップアラートが通知されます。ラップ取得時に表示されるラップアラートページをカスタマイズできます。自動ラップは、アクティビティ中の異なる区間でのパフォーマンスを比較するのに便利な機能です。

- 【自動ポーズ】：停止時または一定の速度以下になったとき、記録を停止します。信号などの停止しなければならない場所を含むコースでトレーニングをするときに便利な機能です。
- 【自動休息】：プールスイムで休息を自動検出して休息インターバルに移行します(28 ページ [スイムアクティビティの自動休息と手動休息](#))。この設定は、ウルトラランアクティビティでも有効にできます(25 ページ [ウルトラランの自動休息設定](#))。
- 【自動ラン】：内蔵の加速度計によるスキーまたはスノーボードの滑走の自動検出を有効にします。(33 ページ [スキーの滑走を確認する](#))
- 【自動スクロール】：アクティビティのタイマー計測中に、トレーニングページを自動でスクロールします。
- 【自動セット】：筋力トレーニングアクティビティで動きのセットを自動で開始 / 終了します。
- 【自動スポーツ変更】：マルチスポーツアクティビティで次の種目への移行を自動検出します。
- 【自動スタート】：動き始めたときに自動でアクティビティを開始します。(モトクロスアクティビティなど)
- 【心拍転送モード】：アクティビティ開始時に心拍転送モードをオンにします。(78 ページ [心拍転送モード](#))
- 【ClimbPro】：コースナビゲーション中に ClimbPro ページを表示します。(39 ページ [ClimbPro を使用する](#))
- 【トレーニングページ】：トレーニングページのカスタマイズと新規ページの追加を行います。(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))
- 【ウェイト編集】：筋力トレーニングアクティビティまたはカーディオでウェイトの入力を有効にします。
- 【終了アラート】：瞑想アクティビティの終了 2 分前または 5 分前にお知らせするアラートを設定します。
- 【フラッシュライトストロボ】：アクティビティ中の LED フラッシュライトのストロボモードと点滅速度、カラーを設定します。
- 【グレード】：クライミングアクティビティのグレードを選択します。
- 【ジャンプモード】：ジャンプロープ(なわとび)アクティビティのモードを回数指定、時間指定、フリーから選択します。
- 【レーン番号】：トラックランの走行レーンを設定します。
- 【ラップ】：自動ラップ、ラップキー、ラップアラートを設定します。
- 【ラップアラート】：ラップ取得時に表示されるラップアラートページをカスタマイズします。
- 【ラップキー】： 押下でアクティビティ中にラップを取得または休息インターバルに移行します。また、マルチスポーツアクティビティ中の  のデフォルト動作を設定できます。
- 【キーロック】：マルチスポーツアクティビティ実行中、キーの誤操作を防ぐためにキーをロックします。いずれかのキーを長押しすることで、ロックを解除することができます。
- 【地図】：アクティビティで使用する地図に関する設定を行います。(81 ページ [地図設定](#))
- 【地図レイヤー】：地図ページに表示する地図データを設定します。(83 ページ [地図データを表示 / 非表示する](#))
- 【メトロノーム】：一定のリズムで鳴動するメトロノームを設定します。メトロノームのbpm、ビートアラート(拍数)、音 / バイブを選択します。
- 【障害物トラッキング】：コースの一周目で障害物の位置を保存し、コース周回中に障害物とランニングのインターバルを自動で切り替えます。(25 ページ [障害物レースアクティビティを記録する](#))
- 【パフォーマンスコンディション】：アクティビティ中のパフォーマンスコンディション測定のアラートをオン / オフを設定します。(60 ページ [パフォーマンスコンディション](#))
- 【バックウェイト】：荷物の重量を設定します。
- 【プールサイズ】：プールスイムアクティビティのプールサイズを選択します。
- 【パワー平均化】：ペダルを漕いでいないときの 0W のパワーの値を平均に含めるかどうかを設定します。
- 【パワーモード】：アクティビティのデフォルトのパワーモードを選択します。
- 【パワーセーブ】：タイマーを計測していないとき、トレーニングページからウォッチフェイスページにタイムアウトする時間を設定します。【標準】のオプションでは 5 分、【延長】のオプションでは 25 分でタイムアウトします。【延長】を選択するとバッテリーの消費が早まります。
- 【日没後の記録】：Expedition 実行中、日没後に軌跡ポイントを記録します。
- 【温度を記録】：アクティビティ中のデバイスの周囲温度または接続中のワイヤレス温度センサーの温度の記録のオン / オフを設定します。
- 【VO2 Max 記録】：通常はパフォーマンス測定を行わないトレイルランなどのアクティビティで、VO2 Max の記録を有効にします。
- 【記録間隔】：Expedition 実行中の軌跡ポイントの記録間隔を設定します。デフォルトの設定では、軌跡ポイントは

1 時間に 1 回、日没まで記録します。

[名前を変更]：アクティビティ名を編集します。

[回数カウント]：筋力トレーニングアクティビティの回数のカウントのオン / オフを設定します。**[ワークアウトのみ]**を選択すると、ワークアウト実行中のみ回数カウントがオンになります。

[リピート]：マルチスポーツアクティビティで、手動でタイマーを停止するまでトレーニングを繰り返します。

[設定リセット]：アクティビティ設定を初期化します。

[ルーティング]：ルート探索に関する設定を行います。(38 ページ [ルーティング設定](#))

[ルートデータ]：屋内クライミングアクティビティのルートデータの記録を有効にします。

[ランニングパワー]：ランニングパワー計測のステータスと設定を変更します。(92 ページ [ランニングパワー設定](#))

[滑走]：ラップキー、ラップアラートの設定をカスタマイズします。自動ランのオプションのオン / オフを設定します。

[GPS]：GPS の受信モードを設定します。(39 ページ [GPS 設定を変更する](#))

[セグメントアラート]：セグメント接近時にアラートでお知らせします。(40 ページ [セグメント](#))

[自己評価]：アクティビティの自己評価の有効 / 無効を設定します。(23 ページ [アクティビティを自己評価する](#))

[ストローク検出]：プールスイムのストロークタイプ自動検出をオン / オフに設定します。

[タッチロック]：画面の上端から下方向に**スワイプ**してタッチスクリーンのロックを解除する機能を有効にします。

[トラック検出]：ランニングトラックの自動検出を有効にします。

[トランジション]：マルチスポーツアクティビティのトランジションを有効にします。

[単位]：アクティビティで使用する単位を選択します。

[振動アラート]：ブレスワークアクティビティ実行中に、呼吸法に合わせたタイミングを音やバイブレーションでお知らせします。

[ワークアウト動画]：筋トレ、カーディオ、ヨガ、ピラティスのワークアウトで、姿勢やポーズを示すアニメーションを有効に設定します。ワークアウト動画は、プリインストールのワークアウトまたは Garmin Connect アカウントからダウンロードしたワークアウトで利用できます。

アクティビティのアラート

アクティビティごとにアラートを設定できます。アラートを設定することで、目的地へのナビゲーションや、目標に向かってトレーニングするときに役立ちます。アクティビティにより利用可能なアラートが異なります。アラートには、イベントアラート、範囲アラート、繰り返しアラートの 3 つの異なるタイプがあります。

イベントアラート：イベントアラートは、1 回のみアラートします。イベントとは、特定の値を指します。例えば、ある特定の高度に達したときにアラートするように設定できます。

範囲アラート：範囲アラートは、特定の範囲または値を上回ったとき、または下回ったときにアラートします。例えば、心拍数が 60bpm 以下になったとき、または 210bpm 以上になったときにアラートするように設定できます。

繰り返しアラート：繰り返しアラートは、特定の値または間隔を記録するごとにアラートします。例えば、30 分経過ごとにアラートするように設定できます。

アラート名	タイプ	説明
ケイデンス / ピッチ	範囲	ケイデンス / ピッチの上限値と下限値を設定できます。
カロリー	イベント / 繰り返し	カロリーの値を設定できます。
カスタム	イベント / 繰り返し	既定のメッセージまたはカスタムメッセージを選択して、アラートタイプを設定できます。
距離	イベント / 繰り返し	距離の間隔を設定できます。
高度	範囲	高度の上限値と下限値を設定できます。
心拍	範囲	心拍の上限値と下限値を設定するか、心拍ゾーンを選択できます。(102 ページ 心拍ゾーンについて) (103 ページ 心拍ゾーン参考表)
ペース	範囲	ペースの上限値と下限値を設定できます。
ペース(スイム)	繰り返し	目標スイムペースを設定できます。
パワー	範囲	パワーの上限値と下限値を設定できます。
近接	イベント	保存済みポイントを選択して半径を設定できます。

アラート名	タイプ	説明
ラン / ウォーク	繰り返し	ランとウォークを交互に繰り返します。それぞれのタイムを設定できます。
ランニングパワー	イベント / 範囲	パワーの上限値と下限値を設定できます。
スピード	範囲	スピードの上限値と下限値を設定できます。
ストロークレート	範囲	1 分間あたりのストロークの上限値と下限値を設定できます。
タイム	イベント / 繰り返し	タイムの間隔を設定できます。
トラックタイマー	繰り返し	秒単位のトラックタイムの間隔を設定できます。

アラートを設定する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。
注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。
- 3 画面を下にスクロールし、アクティビティ設定を選択します。
- 4 **【アラート】**を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **【追加】**を選択して新しいアラートを設定します。
 - ・ アラート名を選択して既存のアラートを編集します。
- 6 必要に応じて、アラートタイプを選択します。
- 7 ゾーンまたは上限値、下限値、任意の値を選択します。
- 8 必要に応じて、アラートをオンにします。

イベントアラートと繰り返しアラートは、アラートの設定値に達したときにメッセージが表示されます。範囲アラートは、設定した範囲(上限値および下限値)を上回ったときまたは下回ったときにメッセージが表示されます。

アクティビティ実行中にオーディオアラートを再生する

アクティビティ中のラップや心拍数のアラート音声を再生できます。オーディオアラートを再生中は、デバイスまたはスマートフォンのその他のオーディオの音量が一時的に小さくなります。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】 > 【集中モード】 > 【アクティビティ】 > 【オーディオアラート】**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ デバイスのスピーカーでオーディオアラートを再生するには、**【オーディオ出力】 > 【ウォッチ】**の順に選択します。
 - ・ 接続中のスマートフォンまたは Bluetooth® イヤホンでオーディオアラートを再生するには、**【オーディオ出力】 > 【接続済みデバイス】**の順に選択します。
 - ・ **【転換点アラート】** ナビゲーションの経路情報に基づいて転換点のアラートを再生します。
 - ・ **【ラップアラート】** ラップに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフを設定します。
 - ・ **【ペース / スピードアラート】** ペース / スピードに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフ とアラートタイプ、アラート頻度を設定します。
 - ・ **【心拍アラート】** 心拍数に関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフ とアラートタイプ、アラート頻度を設定します。
 - ・ **【パワーアラート】** パワーに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフ とアラートタイプ、アラート頻度を設定します。
 - ・ **【タイマーイベント】** タイマーの開始 / 停止、自動ポーズ機能などのタイマーに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフを設定します。
 - ・ **【ワークアウトアラート】** ワークアウトに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフを設定します。
 - ・ **【アクティビティアラート】** アクティビティに関するアラートを再生します。ステータスのオン / オフを設定します。
(37 ページ [アクティビティのアラート](#))
 - ・ **【サイクリングセーフティアラート】** Varia センサー(レーダー、バイクライト)のサイクリングセーフティアラートを受信して再生します。(89 ページ [ワイヤレスセンサー](#))

ルーティング設定

アクティビティ中のナビゲーションのルート探索設定を行います。

注意：設定可能な項目は、アクティビティにより異なる場合があります。

ウォッチフェイスページで  を押して、 > 任意のアクティビティ > [(アクティビティ名)設定] > [ルーティング] の順に選択します。

[Popularity Routing] : Garmin Connect の最も人気のランとライドに基づいてルート进行計算します。

[コース] : コースのナビゲーション方法を設定します。**[コース]** のオプションを選択すると、コースから外れた場合でも元のコースを優先します。**[地図使用]** のオプションを選択すると、コースから外れた場合、ルーティング可能な地図をもとにルートを再計算します。

[ルート探索方法] : ルート探索で優先して短縮するオプションを選択します。**[時間優先]**、**[距離優先]**、**[標高差優先]** から選択します。

[回避] : ルート探索時に回避する道路を選択します。

[タイプ] : 直行ルートのナビゲーション中のガイドページの表示タイプを選択します。

ClimbPro を使用する

ClimbPro 機能でコースのクライム区間を把握することで、パフォーマンスやペースを管理するのに役立ちます。コースの開始前または実行中に、勾配や距離、高度上昇量を確認することができます。サイクリングのクライムカテゴリは、距離と勾配を基に色分けされて表示されます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

3 画面を下にスクロールし、アクティビティ設定を選択します。

4 **[ClimbPro]** > **[ステータス]** > **[ナビゲーション中]** の順に選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **[データ項目]** 登坂中に表示されるページ上のデータ項目を変更します。
- ・ **[アラート]** クライム区間の開始時または任意の距離に近づいたときにアラートします。
- ・ **[下降]** ランニングアクティビティで、下降時のオン/オフを設定します。
- ・ **[クライム検知]** バイクアクティビティで検知するクライムの大きさを **[すべてのクライム]**、**[勾配(中～大)]**、**[勾配(大)のみ]** から選択します。

6 コースのクライム区間と詳細を確認します。

7 保存済みコースのナビゲーションを開始します。(84 ページ [目的地へナビゲーションする](#))

自動クライムをオンにする

自動クライム機能で、高度変化の自動検出をオンにします。この機能はハイキングやラン、バイクなどのアクティビティで利用できます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

3 画面を下にスクロールし、アクティビティ設定を選択します。

4 **[自動クライム]** > **[ステータス]** の順に選択します。

5 **[ナビゲーション中以外]** または **[常時]** を選択します。

6 次のオプションを選択します。

- ・ **[平坦時表示画面]** 平坦移動時に表示するトレーニングページを選択します。
- ・ **[登坂時表示画面]** 登坂移動時に表示するトレーニングページを選択します。
- ・ **[昇降速度]** モード切り替えの昇降速度 (m/h) の閾値を選択します。
- ・ **[切り替え時間]** モード切り替えの登坂継続時間の閾値を選択します。

注意：**[現在の画面]** のオプションを選択すると、モードが切り替わる直前に見ていたページが表示されます。

GPS 設定を変更する

アクティビティごとに使用する測位精度やバッテリー消費を調整するため、GNSS 衛星設定を変更できます。各衛星モードでは、SatIQ 技術により、必要な精度とバッテリー稼働時間に応じて最適な衛星システムが自動的に選択されます。

GNSS 衛星システムの詳細については、garmin.com/aboutGPS を参照してください。

ウォッチフェイスページで  を押して、 > 任意のアクティビティ > [(アクティビティ名)設定] > **[GPS]** の順に選択します。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

【オフ】：アクティビティの GNSS 衛星システムを無効にします。

【システム設定を使用】：アクティビティ集中モードの GNSS 衛星を使用します。（[101 ページ デフォルトの集中モードをカスタマイズする](#)）

【高精度】：バッテリー稼働時間を短縮する代わりに、最高の測位精度を優先します。この設定は、短時間のアクティビティにおいて、厳しい環境下での測位性能を向上させます。

【標準】：平均的な測位精度と平均的なバッテリー稼働時間のバランスを取ります。この設定は、バッテリー稼働時間を優先しながら、最適な測位精度を提供します。

【拡張バッテリー】：平均以上のバッテリー稼働時間と平均以下の測位精度のバランスを取ります。この設定は、測位精度を維持しながら、できるだけ長いバッテリー稼働時間を提供します。

【バッテリー最長】：測位精度を低下させる代わりに、最長のバッテリー稼働時間を優先します。この設定では、長時間のアクティビティ向けに、軌跡ポイントとセンサーデータの記録頻度を低くします。

セグメント

Garmin Connect アカウントからデバイスにダウンロードしたランニングまたはサイクリングのセグメントを利用できます。過去の自分の記録や Garmin Connect のほかのユーザーの記録とレースできます。

注意：Garmin Connect アカウントからコースをダウンロードすると、コースに含まれるセグメントもダウンロードされます。

Strava™ ライブセグメント

Strava セグメントをデバイスにダウンロードできます。Strava セグメントでユーザーの過去のライドや友人、プロのライダーと競争できます。

Strava メンバーシップにサインアップするには、Garmin Connect アカウントのセグメントウィジェットにアクセスします。詳しくは www.strava.com をご参照ください。

この操作マニュアルに記載される内容は、Garmin Connect のセグメントと Strava セグメントの両方に適用されます。

セグメントでレースする

セグメントとは、仮想のレースコースです。過去の自分の記録や Garmin Connect のほかのユーザーの記録とレースできます。アクティビティを Garmin Connect アカウントにアップロードして、セグメントの区間を確認できます。

注意：Garmin Connect アカウントと Strava アカウントをリンクしている場合、アクティビティデータは自動で Strava アカウントにもアップロードされ、セグメントの区間を確認できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 アクティビティを選択します。
- 3 ランまたはバイクのアクティビティを開始します。
セグメントに接近すると、メッセージが表示され、レースを開始できます。
- 4 セグメントのレースを開始します。

セグメントが終了するとメッセージが表示されます。

表示

ウォッチフェイス、ウィジェット一覧、コントロールメニューなどの表示に関する設定を行います。

ウォッチフェイス設定

レイアウトやカラー、データを選択してウォッチフェイスページの表示をカスタマイズできます。Connect IQ ストアからカスタムウォッチフェイスをダウンロードすることもできます。

ウォッチフェイスをカスタマイズする

ウォッチフェイスの表示をカスタマイズします。Connect IQ ウォッチフェイスを設定することもできます (99 ページ [Connect IQ コンテンツをダウンロードする](#))。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[ウォッチフェイス]** を選択します。
- 3 画面をスクロールしてウォッチフェイスオプションのプレビューを表示します。
- 4 その他のウォッチフェイスを選択するには、**[追加]** を選択します。
- 5 ウォッチフェイスを選択し、画面を左に**スワイプ**します。
- 6 次のオプションを選択します。

注意：ウォッチフェイスにより表示されるオプションが異なります。

- ・ **[適用]** ウォッチフェイスを適用します。
- ・ **[アクセントカラー]** 文字盤のデザインのアクセントカラーを選択します。
- ・ **[背景カラー]** 文字盤の背景色を選択します。
- ・ **[データ]** 文字盤に表示するデータを選択します。
- ・ **[データカラー]** 文字盤に表示するデータのカラーを選択します。
- ・ **[スタイル]** ウォッチフェイスの表示スタイルを変更します。
- ・ **[削除]** ウォッチフェイスを削除します。

ウィジェット

デバイスには、数種類のウィジェットがプリインストールされています。ウィジェットとは、必要な情報が一目で確認できる機能です (43 ページ [ウィジェットを確認する](#))。一部のウィジェットのデータを表示するには、ペアリング済みスマートフォンとの Bluetooth 接続が必要です。

一部のウィジェットは、デフォルトで非表示に設定されています。表示 / 非表示にするウィジェットは手動で設定することができます (43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))。一部のウィジェットは、ヘルスやランニングパフォーマンスなどの関連するグループを開くと表示されます。

ヒント：Connect IQ ストアからウィジェットをダウンロードすることもできます。 (99 ページ [Connect IQ 機能](#))

名前	説明
ABC	高度計、気圧計、コンパスの情報をまとめて表示します。
Alt. タイムゾーン	タイムゾーンを追加して、各タイムゾーンの現在時刻を表示します。 (111 ページ Alt. タイムゾーンを追加する)
高度適応	生活高度が 800m 以上のとき、過去 7 日間の高度、平均血中酸素レベル、平均呼吸数、平均安静時心拍数のグラフを表示します。
高度計	気圧高度計の高度データを表示します。
バッテリー	推定バッテリー稼働時間、最近のバッテリー使用状況、およびアクティビティや機能ごとのバッテリー消費の内訳を表示します。
気圧計	高度に基づく校正気圧データを表示します。
Body Battery	現在の Body Battery レベルと、過去数時間分の推移のグラフを表示します。 (43 ページ Body Battery)
カレンダー	スマートフォンのカレンダーに登録されたスケジュールを表示します。
カロリー	一日の消費カロリーを表示します。
カメラコントロール	デバイスにペアリングされた Varia カメラをリモート操作します。 (92 ページ Varia デバイスのカメラ機能を使用する)
チャレンジ	Garmin Connect で参加中のチャレンジのリーダーボードランキングを表示します。
コンパス	電子コンパスを表示します。
カウントダウン	カウントダウンイベントを表示します。

名前	説明
サイクリング能力	有酸素持久力、有酸素能力、および無酸素能力の3つのカテゴリーにわたるパフォーマンスの測定値を表示します。
サイクリングパフォーマンス	サイクリング V02 Max や FTP などのサイクリングパフォーマンスに関連する指標を表示します。
持久力スコア	記録済みのすべてのアクティビティに基づくユーザーの総持久力を表すスコアとグラフ、メッセージを表示します。
上昇階数	一日の上昇階数と上昇階数ゴールを表示します。
Garmin コーチ	Garmin Connect アカウントで設定した Garmin コーチのトレーニングプランを表示します。プランは、現在のフィットネスレベル、コーチングやスケジュール、レース日程に合わせて調整されます。
ゴルフ	前回のラウンドで記録したスコアとラウンド概要を表示します。
ゴルフパフォーマンス	ショットの統計情報を表示します。統計データを表示するには、5 ラウンド分のスコアデータとクラブのパフォーマンス履歴が必要です。
ヘルススナップショット	ヘルススナップショットのセッションを開始して、2 分間の安静時のヘルスデータを測定します。心肺機能を総合的に把握するのに役立ちます。平均心拍数、ストレスレベル、呼吸数などが測定されます。 ヘルススナップショットのセッションで記録したヘルスデータの概要を表示します。 (16 ページ ヘルススナップショット)
ヘルスステータス	呼吸数や皮膚温などの健康に関連する指標を表示します。 ヒント： 指標を選択して、それぞれのデータ履歴、ベースライン、インサイトを確認できます。 (44 ページ ヘルスステータス)
心拍	一分間あたりの現在の心拍数 (bpm) と、平均安静時心拍数 (RHR) のグラフを表示します。
ヒルスコア	記録済みのすべてのランニングアクティビティに基づくユーザーのヒルクライムパフォーマンスを表すスコアとグラフ、要因、メッセージを表示します。
履歴	アクティビティの履歴をグラフで表示します。 (70 ページ 履歴を確認する)
HRV ステータス	7 日間の睡眠中の平均心拍変動を表示します。 (59 ページ HRV ステータス)
週間運動量	一週間に実施した中強度以上の運動量をスコア化して表示します。また、週間運動量ゴールとその達成率を表示します。
inReach リモート	デバイスにペアリングされた inReach デバイスでメッセージを送信します。 (92 ページ inReach リモートを使用する)
時差ぼけアドバイザー	旅行中の体内時計と目的地のタイムゾーンに適応するためのガイダンスを表示します。 (45 ページ 時差ぼけアドバイザーを使用する)
前回アクティビティ	前回保存したアクティビティデータの概要を表示します。
前回のゴルフ 前回のバイク 前回のラン 前回のスイム	特定のスポーツのアクティビティデータから、前回の概要と履歴を表示します。
ライト	デバイスにペアリング済みの Varia ライトをリモートコントロールします。
Messenger	Garmin Messenger アプリのメッセージのスレッドを表示します。ウォッチからメッセージに返信することができます。 (99 ページ Garmin Messenger アプリ)
月の満ち欠け	GPS の位置情報をもとに、現在地の月の出 / 月の入時刻、月の満ち欠けの状態を表示します。
音楽	スマートフォンまたはデバイスに保存された音楽の再生をコントロールできます。
お昼寝	お昼寝の合計時間と Body Battery レベルの回復量を表示します。お昼寝タイマーとアラームを設定できます。
通知	電話着信やメッセージ、アプリなどの通知をデバイスに表示します。(スマートフォンの通知設定に依存します。) (94 ページ 通知機能を有効にする)
プライマリレース	Garmin Connect のカレンダーでプライマリレースに指定したレースイベントを表示します。
血中酸素トラッキング	血中酸素レベルの測定を開始します。 (79 ページ ウィジェットで血中酸素レベルを確認する)
レースカレンダー	Garmin Connect のカレンダーに設定した今後のレースイベントを表示します。
リカバリー	リカバリータイムを表示します。(最大 4 日間)

名前	説明
呼吸数	一分間あたりの呼吸数と7日間の平均呼吸数を表示します。また、ブレスワークアクティビティを開始することができます。
ランニングエコノミー	ランニングエコノミーのデータを表示します。
ランニングパフォーマンス	ランニング V02 Max や乳酸閾値などのランニングパフォーマンスに関連する指標を表示します。
ランニング耐久値	ランニング耐久値のデータを表示します。
睡眠コーチ	睡眠とアクティビティ履歴、体内リズム、HRV ステータス、お昼寝に基づく推奨睡眠時間を表示します。 注意： 睡眠に関する分析情報を確認したり、睡眠モードの有効化、アラームの設定、および睡眠設定の更新を行えます。
睡眠スコア	昨晚の睡眠時間、睡眠スコア、睡眠段階を表示します。昨晚の呼吸変動を表示します。 (50 ページ 睡眠トラッキング)
スポーツスコア	大学スポーツまたはプロスポーツチームのスコアやライブデータを表示します。
ステップ	一日のステップ数とステップゴール、過去数日分のデータを表示します。
株価	株価のリストを表示します。(45 ページ 株価ウィジェットに銘柄を追加する)
ストレス	現在のストレスレベルと推移グラフを表示します。また、ブレスワークアクティビティを開始することができます。
日出 & 日没	日の出、日の入り、トワイライト時刻などを表示します。
温度	内蔵の温度センサーの温度データを表示します。
潮汐	潮汐情報を表示します。
トレーニングレディネス	トレーニングの準備がどの程度できているかを示すスコアとメッセージを表示します。
トレーニングステータス	ユーザーのフィットネスにトレーニングが与える影響を示す現在のトレーニングステータスとトレーニング負荷を表示します。
天気	現在の気温や天気予報を表示します。
体重の追跡	最近の体重の傾向と履歴を表示します。体重は手動で入力できます。Garmin Connect アカウントに Index 体重計をペアリングしている場合、ウィジェットに体重データが表示されます。
女性の健康	現在の生理周期または妊娠週数を表示します。身体症状などを記録できます。

ウィジェットを確認する

- ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプします。
ウィジェットリストをスクロールできます。
- 各ウィジェットの画面をタップすると、ウィジェットが全画面で表示されます。
- 画面を左にもスワイプすると、表示中のウィジェットに関連するオプションが表示されます。

ウィジェット一覧をカスタマイズする

- 1 ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプします。
ウィジェット一覧をスクロールします。
- 2 **【編集】**を選択します。
- 3 ウィジェットを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ウィジェットを一覧から非表示にするには、を選択します。
 - ウィジェットを並べ替えるには、ウィジェットを選択して画面内の任意の位置までドラッグします。
- 5 表示するウィジェットを追加するには、**【追加】**を選択します。

Body Battery

Body Battery は、デバイスで心拍変動、ストレスレベル、睡眠の質、およびアクティビティデータを基に決定される値です。車の燃料計のように、身体に蓄えられた利用可能なエネルギーを示します。Body Battery レベルは 5 ～ 100 の数値で表示され、5 ～ 25 はとても低い、26 ～ 50 は低い、51 ～ 75 は普通、76 ～ 100 は高いことを意味します。Garmin Connect アカウントにデバイスを同期すると、より詳細な情報を確認できます。(44 ページ [Body Battery レベルを改善させるには](#))・

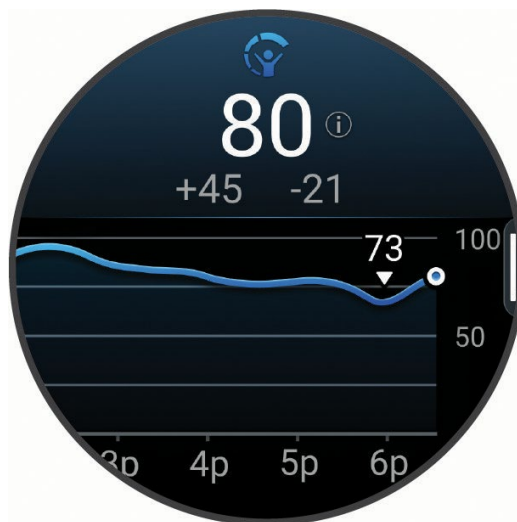
Body Battery ウィジェットを確認する

現在の Body Battery レベルを確認できます。

- 1 画面を上にはスワイプして Body Battery ウィジェットを表示します。

注意：必要な場合は、ウィジェットをウィジェット一覧に追加してください。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))

- 2 ウィジェットを選択すると、最近の Body Battery データのグラフが表示されます。



① をタップすると詳細情報を確認できます。画面を左にはスワイプすると関連するオプションが表示されます。

- 3 画面を上にはスワイプすると、Body Battery とストレスレベルのグラフが表示されます。
- 4 画面を上にはスワイプすると、Body Battery に影響した要因の一覧を確認できます。各要因を選択すると詳細を確認できます。

Body Battery レベルを改善させるには

- より正確な値を得るためには、就寝中もデバイスを装着してください。
- 質の良い睡眠をとると、Body Battery レベルが増加します。
- 激しいアクティビティ、高いストレスは Body Battery レベルを低下させる原因となります。
- 食物の摂取やカフェインなどの刺激物の摂取は Body Battery に直接的に影響しません。

ヘルスステータス

ヘルスステータスウィジェットでは、睡眠データに基づいた健康に関するインサイトを提供します。心拍、HRV、呼吸数、皮膚温、睡眠時血中酸素レベルの各指標を確認できます。各指標の履歴、ベースライン、インサイトを取得するには、ウォッチを3週間以上装着してください。

ヒント：指標が青く表示されている場合はベースラインの範囲内です。オレンジの場合はベースラインから外れています。

ストレスウィジェットを使用する

現在のストレスレベルと、ストレスレベルの推移グラフを確認できます。また、ストレス解消に役立つブレスワークアクティビティを開始することができます。

- 1 安静にした状態で、画面をスクロールしてストレスウィジェットを表示します。
ヒント：運動した直後などはストレスレベルを測定できません。数分間安静にしてから測定しなおしてください。
- 2 ウィジェットをタップすると、過去4時間のストレスレベルのグラフが表示されます。
棒グラフの青いバーは休息、黄色のバーはストレス、グレーのバーは静止した状態でなかったためストレスレベルが測定できなかった時間を示します。
- 3 画面を上または下にはスワイプすると、ストレススコアの詳細や過去7日間の一日の平均ストレススコアを確認できます。
- 4 ブレスワークアクティビティを開始するには、画面を左にはスワイプし、✓を選択します。

天気ウィジェットをカスタマイズする

- 1 画面を上にはスワイプして、天気ウィジェットを表示します。

- 2 ウィジェットを選択して現在地の天気情報を表示します。
- 3 画面を左に**スワイプ**します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **【気象オプション】** > **【現在地を更新】** GPS の位置情報に基づく現在地の天気情報に更新します。
ヒント：衛星信号の受信が完了するまで待機してください。
 - ・ **【気象オプション】** > **【温度】** 気温表示で使用する単位を変更します。

天気ウィジェットに場所を追加する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプして、天気ウィジェットを表示します。
- 2 ウィジェットの最初の画面で左に**スワイプ**してオプションを表示します。
- 3 **【場所の追加】**を選択して、任意の地点を検索して追加します。
- 4 必要に応じて手順 2～3 を繰り返します。

時差ぼけアドバイザーを使用する

時差ぼけアドバイザーを使用するには、あらかじめ Garmin Connect アプリに旅行を予定する必要があります。
(45 ページ [Garmin Connect アプリで旅行を計画する](#))

時差ぼけアドバイザーで、体内時計と現地時間の差を確認したり、時差ぼけを軽減するためのガイダンスを参照することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を上または下にスワイプし、時差ぼけアドバイザーウィジェットを表示します。
- 2 ウィジェットを選択して旅行や現在の時差ぼけの状態の詳細を確認します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ 現在の時差ぼけの程度に関連するメッセージを確認するには、**i** を**タップ**します。
 - ・ 時差ぼけの症状の軽減におすすめの活動スケジュールを確認するには、画面を上にも**スワイプ**します。

Garmin Connect アプリで旅行を計画する

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 **【トレーニングと計画】** > **【時差ぼけアドバイザー】** > **【トリップの詳細を追加】** の順に選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

株価ウィジェットに銘柄を追加する

株価ウィジェットを表示するには、株価ウィジェットをウィジェット一覧に追加する必要があります。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプして、株価ウィジェットを表示します。
- 2 株価ウィジェットを選択します。
- 3 **【編集】** > **【追加】** の順に選択します。
- 4 追加する会社名または株式表示記号を入力して **✓** を選択します。検索結果が表示されます。
- 5 追加する銘柄を選択します。
- 6 株式を選択して詳細を確認します。

ヒント：株価をウィジェット一覧に表示するには、 を押して **【お気に入りに設定】** を選択します。

コントロールメニュー

コントロールメニューからデバイスの機能やオプションにすばやくアクセスできます。コントロールメニューのオプションは、追加 / 並べ替え / 削除することができます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

任意の画面で  を長押しします。



アイコン	名前	説明
	ABC	ABC(高度計・気圧計・コンパス)アプリを開きます。
	機内モード	機内モードをオン / オフします。オンにすると、デバイスのすべてのワイヤレス通信が無効になります。
	アラーム	アラームアプリを開きます。(110 ページ アラームを設定する)
	Alt. タイムゾーン	選択したタイムゾーンの時刻を表示します。(111 ページ Alt. タイムゾーンを追加する)
	高度計	高度グラフを表示します。
	援助要請	援助要請を送信します。(108 ページ 援助要請を送信する)
	気圧計	校正気圧グラフを表示します。
	バッテリー節約	バッテリー節約をオン / オフします。(45 ページ コントロールメニュー)
	輝度	ディスプレイの輝度を調節します。(76 ページ ディスプレイと輝度の設定)
	心拍転送モード	心拍転送モードを開始します。(78 ページ 心拍転送モード)
	電卓	電卓を使用します。チップ計算機の機能も使用できます。
	カレンダー	スマートフォンのカレンダーにスケジュールされたイベントを表示します。
	カメラコントロール	Varia ヘッドライトカメラの写真の撮影やクリップの保存をコントロールします。(92 ページ Varia デバイスのカメラ機能を使用する)
	アラーム&タイマー	アラーム&タイマーメニューを開きます。(110 ページ アラーム&タイマー)
	カラーシフト	暗所での使用向けにディスプレイを赤色 / 緑色 / オレンジで表現するモードをオン / オフします。
	コンパス	コンパスページを表示します。
	ディスプレイ	アラート、ジェスチャーでのディスプレイ点灯をオフにし、ディスプレイ設定の【常に表示】のステータスをオフにします。(76 ページ ディスプレイと輝度の設定)
	サイレントモード	サイレントモードをオン / オフします。システム設定のサイレントモード設定で、サイレントモードでの常に表示のオプション、スマート通知、アラート、ジェスチャー時の挙動をカスタマイズできます。映画鑑賞中などに便利な機能です。

アイコン	名前	説明
	スマートフォン探索	Bluetooth 通信範囲内にあるペアリング済みのスマートフォンで音を鳴らします。Bluetooth 信号強度はデバイスの画面に表示され、スマートフォンに近づくにつれて信号強度が強くなります。 GPS を利用したアクティビティ中に紛失したスマートフォンの位置にナビゲーションします。(95 ページ GPS アクティビティ中に紛失したスマートフォンを探す)
	フラッシュライト	スクリーンフラッシュライト、ストロボ、遭難パターンの点灯・点滅をオンにします。(49 ページ コントロールメニューからフラッシュライトを使用する)
	集中モード	現在の集中モードを変更します。(101 ページ 集中モード)
	Garmin シェア	Garmin シェアアプリを開きます。(96 ページ Garmin シェア)
	履歴	アクティビティの履歴、自己ベスト、合計を表示します。
	デバイスロック	誤操作を防ぐためにキーとタッチスクリーンを無効にします。
	Messenger	Messenger アプリを開きます。(17 ページ Messenger アプリを使用する)
	音楽	デバイスまたはスマートフォンに保存された音楽の再生をコントロールします。
	通知	電話着信やメッセージ、アプリなどの通知をデバイスに表示します。(スマートフォンの通知設定に依存します。)(94 ページ 通知機能を有効にする)
	スマートフォン	ペアリング済みスマートフォンとの Bluetooth 接続を有効 / 無効にします。
	音声アシスタント	スマートフォンの音声アシスタントを使用します。(94 ページ 音声アシスタントを使用する)
	電源オフ	デバイスの電源をオフにします。
	血中酸素トラッキング	血中酸素レベルの測定を開始します。(79 ページ ウィジェットで血中酸素レベルを確認する)
	基準点	基準点ナビゲーションを開始します。(88 ページ 基準点を設定する)
	ポイント登録	現在地をポイント登録します。
	設定	設定のメニューページを開きます。
	消音モード	消音モードをオンにして、すべてのサウンドをオフにします。
	睡眠モード	睡眠モードをオン / オフします。お昼寝タイマーを設定したり、手動でお昼寝を記録します。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを使用します。
	ストロボ	LED フラッシュライトストロボを点灯します。点滅パターンを変更したり、ストロボモードをカスタマイズできます。(48 ページ フラッシュライトストロボをカスタマイズする)
	日出 & 日没	日の出、日の入り、トワイライト時刻を表示します。
	同期	ペアリング済みスマートフォンと同期します。
	時刻同期	ペアリング済みスマートフォンまたは GPS で時刻を同期します。
	タイマー	タイマーを使用します。
	タッチロック	タッチロックをオン / オフします。タッチロックを解除するには、画面上部から下方向に スワイプ します。
	音声アシスタント	音声アシスタントにアクセスします。(94 ページ 音声アシスタントを使用する)
	音声コマンド	音声コマンドを起動します。(18 ページ 音声コマンドを使用する)

アイコン	名前	説明
	音声メモ	音声メモアプリを開きます。
	音量	音量コントロールを開きます。
	ウォレット	Garmin Pay ウォレットを開いて支払いに使用します。(20 ページ Garmin Pay)
	水を排出	デバイスを水中で使用後にスピーカー穴に入り込んだ水分の排出を補助します。 注意： スピーカーからサウンドが再生されます。
	天気	現在の天気予報と気象条件を表示します。
	Wi-Fi	Wi-Fi 接続をオン / オフします。

コントロールメニューをカスタマイズする

コントロールメニューのオプションの追加、削除、並べ替えを行います。(45 ページ [コントロールメニュー](#))

- 1  を長押しします。
コントロールメニューが表示されます。
- 2 画面を下に**スワイプ**します。
- 3 **【編集】**を選択します。
- 4 任意のショートカットを選択します。
 - ・表示位置を並べ替えるには、ショートカットを画面内の任意の位置までドラッグし、 を選択します。
 - ・コントロールメニューから削除する場合は、 を選択します。
- 5 必要な場合は、**【追加】**を選択して、ショートカットをコントロールメニューに追加します。

LED フラッシュライトを使用する

⚠警告

デバイスの LED フラッシュライトは、様々なパターンで点滅します。てんかんの方や光の点滅や強い光に敏感な方は、ご使用にあたってかかりつけの医師にご相談ください。

フラッシュライトはバッテリーを多く消費します。バッテリーを節約するにはフラッシュライトの輝度を下げてください。"

- 1 任意の画面で  を長押しします。
- 2 タッチスクリーンを**タップ**してフラッシュライトを調整します。

フラッシュライトストロボをカスタマイズする

フラッシュライトストロボはバッテリーを多く消費します。"

- 1  を長押しします。
- 2  を選択します。
注意：コントロールメニューはカスタマイズできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))
- 3  を押してフラッシュライトストロボを点灯します。(任意)
- 4 **タップ**してストロボモードを切り替えて、**【カスタム】**を選択します。
- 5  を押してストロボのカスタム設定を確認します。
- 6 **タップ**して設定オプションを変更します。
注意：遅い点滅に設定することで、バッテリー消費への影響を少なくすることができます。
- 7  を押します。

注意：表示中の画面に関わらず、 を長押しするとフラッシュライトをオフにできます。

コントロールメニューからフラッシュライトを使用する

⚠警告

デバイスの LED フラッシュライトは、様々なパターンで点滅します。てんかんの方や光の点滅や強い光に敏感な方は、ご使用にあたってかかりつけの医師にご相談ください。

フラッシュライトはバッテリーを多く消費します。バッテリーを節約するにはフラッシュライトの輝度を下げてください。

- 1  を長押しして、コントロールメニューを表示します。
- 2  を選択します。
- 3 必要な場合は、 を押してフラッシュライトを点灯します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・画面を**タップ**してフラッシュライトの輝度とカラーを調節します。
 - ・フラッシュライトの点滅パターンを変更するには、画面を左に**スワイプ**して**【ストロボ】**を選択します。モードを選択して  で点灯します。
 - ・緊急連絡先を画面に表示してフラッシュライトを SOS の点滅パターンに変更するには、画面を左に**スワイプ**して**【遭難パターン】**を選択します。  で点灯します。

⚠注意

フラッシュライトの遭難パターンモードは、デバイスがユーザーに代わって緊急連絡先または救急サービスに連絡するものではありません。緊急連絡先を表示するには、ペアリング済みのスマートフォンで Garmin Connect アプリに緊急連絡先を登録する必要があります。

サイレントモードを使用する

スマート通知やアラート時のバイブレーションとディスプレイ点灯を無効にします(アラームを除く)。就寝時や映画鑑賞の際に便利な機能です。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))

注意：サイレントモード中でも、タッチスクリーンやキーの操作、ジェスチャーによりディスプレイが点灯します。また、デバイスが衝撃を感知するとディスプレイが点灯する場合があります。

- ・サイレントモードのオン・オフを手動で切り替えるには、 を長押しし、 を**タップ**します。
- ・睡眠時間中のスマート通知を自動でオフにするには、 を押し、**【設定】>【集中モード】>【睡眠】>【スマート通知】>【オフ】**の順に選択します。

トレーニング

ライフログ

ライフログとは、一日のステップ数と移動距離、運動量、消費カロリー（基礎代謝 + 運動消費）、睡眠データを記録する機能です。

一日のステップ数はステップウィジェットで確認できます。表示されるステップ数はリアルタイムで反映されるものではなく、定期的に更新されます。ライフログの取得およびフィットネス指標の精度について、詳しくは Garmin.co.jp/legal/atdisclaimer をご参照ください。

自動ゴール

一日の目標ステップ数は、前日のステップ数などのアクティビティレベルにより自動で設定されます。①のバーは、一日の目標ステップ数までの達成率を示します。



自動ゴール機能を利用せず、毎日一定の目標値にしたい場合は、Garmin Connect アカウントで設定することができます。

睡眠トラッキング

デバイスを装着したまま就寝すると、あらかじめ設定した就寝・起床時刻に基づいて、自動で睡眠時間と睡眠中の動きを記録します。通常就寝・起床時刻は、Garmin Connect アプリまたはデバイスで設定します。睡眠データには、総睡眠時間、睡眠段階、睡眠中の動き、睡眠スコアが記録されます。睡眠コーチ機能では、睡眠やアクティビティの履歴、体内リズム、HRV ステータス、お昼寝に基づいて算出された推奨睡眠時間を確認できます(41 ページ ウィジェット)。お昼寝は睡眠の統計に加算され、リカバリータイムにも影響します。Garmin Connect アカウントで詳細な睡眠データを確認できます。

注意：サイレントモードを使用すると、アラームを除く通知やアラートがオフになります。(49 ページ サイレントモードを使用する)

自動睡眠トラッキングを使用する

- 1 デバイスを装着して就寝します。
- 2 Garmin Connect アカウントに睡眠トラッキングデータをアップロードします(98 ページ [Garmin Connect アプリを利用する](#))。
Garmin Connect アカウントで睡眠データを確認できます。
デバイスでは、昼寝を含む睡眠データを表示できます。(41 ページ [ウィジェット](#))

呼吸変動

警告

Approach S72 デバイスは医療機器ではなく、いかなる医療状態の診断や監視を目的としたものではありません。血中酸素トラッキングについて、詳しくは Garmin.com/ataccuracy をご参照ください。

光学式心拍計を搭載する Approach S72 デバイスの血中酸素トラッキング機能で、睡眠中の呼吸変動を測定できます。呼吸変動に関する情報は、睡眠環境や全体的な健康意識を高めるために提供されます。呼吸変動が時折または頻繁

に見られる場合、それは生活習慣や睡眠環境に起因している可能性があります。

呼吸変動を測定するには、睡眠中の血中酸素トラッキングを有効にする必要があります。(79 ページ [血中酸素トラッキングのモードを設定する](#))

睡眠スコアウィジェットで現在の呼吸変動データを確認できます。

必要な場合は、ウィジェットをウィジェット一覧に追加してください。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))

Garmin Connect アカウントで、呼吸変動データの数日間の傾向などの詳細を確認できます。

Move IQ

Move IQ とは、デバイスを装着している間の活動を分析し、その活動中の動作が一般的なアクティビティの動作パターンと一致した場合に、イベントを自動検出してタイムラインに表示する機能です。Move IQ イベントは、アクティビティの時間とタイプを表示しますが、アクティビティ履歴やニュースフィードには表示されません。

ワークアウト

ワークアウトとは、様々な達成値や維持目標を設定したトレーニングステップを組み合わせて行うトレーニングメニューです。デバイスには筋トレ、カーディオ、ラン、バイク用などのワークアウトがプリインストールされています。Garmin Connect アカウントでワークアウトやトレーニングプランを検索してデバイスに転送することができます。

デバイス：アクティビティ & アプリ一覧のワークアウトアプリで、デバイスに保存済みのすべてのワークアウトを表示できます(34 ページ [アクティビティ & アプリ設定のカスタマイズ](#))。

ワークアウトの履歴を確認することもできます。

Garmin Connect アプリ：ワークアウトを検索したり、トレーニングプランをデバイスに転送することができます。(52 ページ [Garmin Connect からワークアウトをデバイスに転送する](#))

ワークアウトをスケジュールしたり、編集することができます。

現在のワークアウトを編集および更新することができます。

ワークアウトを実行する

ワークアウトの各ステップの動作について、詳しく確認できます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

ヒント：スケジュール済みまたは今日のおすすめワークアウトがある場合は、下にスクロールして[ワークアウト]を選択します。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

3 下にスクロールします。

4 [トレーニング]を選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ [クイックワークアウト] 強度と時間を選択して、デバイスが提案するおすすめワークアウトを開始します。
- ・ [目標とインターバル]/[インターバル] インターバルトレーニングを開始します。(52 ページ [インターバルワークアウトを実行する](#))
- ・ [目標とインターバル]/[ターゲット] トレーニング目標を設定したワークアウトを開始します。(53 ページ [ターゲットトレーニング](#))
- ・ [ワークアウトライブラリ] 保存済みワークアウトを開始します。(52 ページ [Garmin Connect からワークアウトをデバイスに転送する](#))
注意：デバイスにワークアウトを保存するには、Garmin Connect アカウントからワークアウトをダウンロードして同期する必要があります。
- ・ [トレーニングカレンダー] Garmin Connect のトレーニングカレンダーでスケジュールされたワークアウトを開始します。(57 ページ [トレーニングカレンダー](#))

注意：アクティビティタイプにより利用可能なオプションが異なります。

6 ワークアウトを選択します。

注意：アクティビティに対応するワークアウトのみリストに表示されます。

7 必要な場合は、[ワークアウト開始]を選択します。

8  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

ワークアウトを開始すると、現在のワークアウトデータが表示されます。また、各ステップの注意や目標が表示されます。(任意)

今日のおすすめワークアウトを実行する

おすすめワークアウトを表示するには、あらかじめそのアクティビティの VO2 Max を測定する必要があります。
(58 ページ [VO2 Max\(最大酸素摂取量\)](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【ラン】** のカテゴリーから任意のアクティビティを選択します。
 - ・ **【バイク】** のカテゴリーから任意のアクティビティを選択します。
- 4 画面を下にスクロールし、**【今日のおすすめワークアウト】** を選択します。
その他のトレーニングプランを実行している場合や、休息日に設定されている日にはおすすめワークアウトは表示されません。
- 5 下にスクロールして、ステップや予想されるメリットなどのワークアウトの詳細を確認します。
- 6 上にスクロールして戻り、次のオプションを選択します。
 - ・ **【ワークアウト開始】** ワークアウトを開始します。
 - ・ **【その他】 > 【閉じる】** ワークアウトをスキップします。
 - ・ **【その他】 > 【その他の提案】** 今後予定されているおすすめワークアウトを確認します。
 - ・ **【その他】 > 【設定】 > 【ワークアウト確認】** おすすめワークアウトの通知を無効にします。
ヒント：**【ワークアウト確認】** のオプションは、後で再び有効にできます。アクティビティ画面で **【トレーニング】 > 【ワークアウトライブラリ】 > 【今日のおすすめワークアウト】** > 任意のワークアウトを選択 > **【その他】 > 【設定】 > 【ワークアウト確認】** の順に選択します。
 - ・ **【その他】 > 【設定】 > 【トレーニング日】 / 【長いワークアウトの日】** トレーニング日を設定します。
 - ・ **【その他】 > 【設定】 > 【目標タイプ】** トレーニングの目標タイプを設定します。
 - ・ **【その他】 > 【設定】 > 【トレーニングを一時停止】** トレーニングステータス機能を一時停止します。

おすすめワークアウトは、ユーザーのトレーニングの習慣やリカバリータイム、VO2 Max の値により自動更新されます。

Garmin Connect からワークアウトをデバイスに転送する

ワークアウトをデバイスに転送するには、Garmin Connect に Garmin Connect アカウントでサインインしてください。
(97 ページ [Garmin Connect](#))

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ Garmin Connect アプリを開き、**・・・(詳細)** を選択します。
 - ・ connect.garmin.com にアクセスします。
- 2 **【トレーニングと計画】 > 【ワークアウト】** の順に選択します。
- 3 ワークアウトを検索するか、ワークアウトを新規作成して保存します。
- 4  または **【デバイスへの送信】** を選択します。
- 5 画面に表示される指示に従って操作します。

インターバルワークアウト

距離またはタイムベースのインターバルワークアウトを作成できます。任意の距離を走るときは、インターバルをオープンに設定します。作成したインターバルワークアウトは、次に新しいインターバルワークアウトを作成するまで保存されます。

ヒント：すべてのインターバルワークアウトにはクールダウンステップが含まれています。

インターバルワークアウトを実行する

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。
- 3 下にスクロールします。
- 4 **【トレーニング】** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **【インターバル】** を選択します。
 - ・ **【目標とインターバル】 > 【インターバル】** の順に選択します。

6 次のオプションを選択します。

- ・ **【オープン】**  でトレーニングと休息のインターバルを手動で切り替えるワークアウトを実行します。
- ・ **【リピート】** > **【ワークアウト開始】** トレーニングと休息の距離またはタイムの達成値を設定するワークアウトを実行します。

7 ワークアウトの最初にウォームアップを含める場合は、 を選択します。

8  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

9 ウォームアップがある場合、 を押して最初のインターバルを開始します。

10 画面に表示される指示に従って操作します。

11  を押すと、現在のトレーニングステップまたは休息ステップから次のステップに移行します。(任意)
すべてのインターバルを完了すると、メッセージが表示されます。

インターバルワークアウトを作成する

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

3 下にスクロールします。

4 **【トレーニング】**を選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【インターバル】**を選択します。
- ・ **【目標とインターバル】** > **【インターバル】**の順に選択します。

6 **【リピート】**を選択します。

7 下にスクロールします。

8 **【その他】** > **【編集】**の順に選択します。

9 次のいずれかまたは複数のオプションを選択します。

- ・ **【トレーニングステップ】** インターバルの達成値とタイプを設定します。
- ・ **【休息】** 休息インターバルの達成値とタイプを設定します。
- ・ **【リピート】** 繰り返し回数を設定します。
- ・ **【ウォームアップ】** ウォームアップのオン/オフを設定します。

10 画面を右にスワイプしてアクティビティの開始画面に戻ります。

作成したインターバルワークアウトは、次に編集するまで保存されます。

インターバルワークアウトを停止する

- ・  を押していつでも現在のインターバルまたは休息を停止して次のインターバルまたは休息に切り替えることができます。
- ・ すべてのインターバルと休息を終えた後に  を押すと、インターバルワークアウトを終了できます。(クールダウンを含む場合、クールダウンを開始します。)
- ・  を押していつでもアクティビティのタイマーを停止できます。インターバルを後から再開したり、中断することができます。

ターゲットトレーニング

ターゲットトレーニングとは、距離やタイム、スピードまたはペースなどの達成目標を設定して、バーチャルパートナー機能と連携してトレーニングする機能です。アクティビティ実行中は、目標達成にどのくらい近づいているかを知らせるリアルタイムのフィードバックが提供されます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

3 下にスクロールします。

4 **【トレーニング】**を選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【ターゲット】**を選択します。

- ・ **【目標とインターバル】** を選択します。

注意：アクティビティタイプにより利用可能なオプションが異なります。

6 次のオプションを選択します。

- ・ **【距離とタイム】** 距離とタイムの目標を選択します。
- ・ **【距離とペース】** または **【距離とスピード】** 距離とペースまたはスピードの目標を選択します。
- ・ **【距離のみ】** プリセットの距離を選択するかカスタム入力します。
- ・ **【カロリー】** カロリーの目標を選択します。

7 を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

PacePro トレーニング

レース中にペース表を用いることで、レースでの目標を達成しやすくなります。PacePro 機能で、距離と目標ペースまたは目標タイムに基づくペース表を作成できます。既存のコースを基にペース表を作成すると、コースの標高の変化に基づいて最適化されたペース表が作成されます。

Garmin Connect アプリで PacePro プランを作成できます。コースを走行する前に、スプリットと高度のグラフをプレビューできます。

Garmin Connect から PacePro プランをダウンロードする

PacePro プランをデバイスにダウンロードするには、Garmin Connect に Garmin Connect アカウントでサインインしてください。(97 ページ [Garmin Connect](#))

1 次のオプションを選択します。

- ・ Garmin Connect アプリを開き、**・・・(詳細)** を選択します。
- ・ connect.garmin.com にアクセスします。

2 **【トレーニングと計画】** > **【PacePro のペース戦略】** の順に選択します。

3 画面に表示される指示に従って操作し、PacePro プランを作成して保存します。

4 または **【デバイスへの送信】** を選択します。

デバイスで PacePro プランを作成する

デバイスで PacePro プランを作成するには、あらかじめコースを作成する必要があります。(86 ページ [Garmin Connect でコースを作成する](#))

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 を選択し、任意の屋外ランニングアクティビティを選択します。

3 下にスクロールして **【トレーニング】** > **【PacePro プラン】** > **【新規作成】** の順に選択します。

4 コースを選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【目標ペース】** 目標ペースを設定します。
- ・ **【目標タイム】** 目標タイムを設定します。

下にスクロールしてペース表を表示し、スプリットを確認します。

6 を押します。

7 次のオプションを選択します。

- ・ **【プラン開始】** PacePro プランを開始します。
- ・ **【地図】** コースを地図上で確認します。
- ・ **【削除】** プランを削除します。

PacePro プランを開始する

PacePro プランを開始するには、あらかじめプランを Garmin Connect アカウントからダウンロードする必要があります。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 を選択し、任意の屋外ランニングアクティビティを選択します。

3 下にスクロールします。

4 **【トレーニング】** > **【PacePro プラン】** の順に選択します。

5 プランを選択します。

ヒント：画面を下にスクロールするとペース表とスプリットを確認できます。

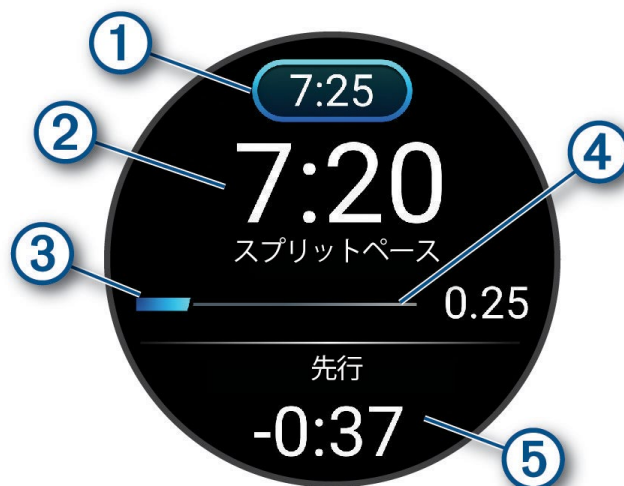
6  を押します。

ヒント：PacePro プランを開始する前に、**【地図】**からプレビューを確認できます。

7 **【プラン開始】**を選択して PacePro プランを開始します。

8 コースのナビゲーションを実行する場合は、 を選択します。

9  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。



①	目標のペース(ラップ区間内)
②	現在のペース(ラップ区間内)
③	ラップ区間の通過距離
④	ラップ区間の残り距離
⑤	目標ペースに対する先行 / 遅延タイム

レース

過去のアクティビティの記録や Garmin Connect からダウンロードしたコースと競争することができます。この機能は、バーチャルパートナー機能と連携します。過去の記録と比べて、現在どのくらい先行 / 遅延しているかを確認することができます。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。

3 下にスクロールします。

4 **【トレーニング】** > **【自分とレース】**の順に選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【履歴】** アクティビティの記録とレースします。任意のアクティビティを選択します。
- ・ **【コース】** ダウンロード済みコースとレースします。任意のコースを選択して **【開始】**を選択します。

6  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。

7 アクティビティを終了するには、 を押して **【保存】**を選択します。

レースカレンダーとプライマリレース

Garmin Connect のカレンダーにレースイベントを追加すると、デバイスのプライマリレースウィジェットでイベントを確認できます(41 ページ [ウィジェット](#))。イベント日は 365 日以内で設定します。イベント日までのカウントダウンと、予想タイム(ランニングイベントのみ)、天気情報が表示されます。



注意：過去の日付の天気情報はすぐに確認できます。現地の天気予報データは、イベントの約 14 日前から確認できます。

2 つ以上のレースイベントを追加した場合は、いずれかをプライマリレースに選択する必要があります。

イベントに利用可能なコースデータがある場合は、コースの高度データとマップを確認したり、PacePro プランを追加できます。(54 ページ [PacePro トレーニング](#))

レースに向けてトレーニングする

ランニングまたはサイクリングのレースに向けてトレーニングするときに役立つおすすめのワークアウトを提案します。おすすめワークアウトを表示するには、VO2 Max の計測が必要です。(58 ページ [VO2 Max \(最大酸素摂取量\)](#))

- 1 Garmin Connect アプリで・・・を選択します。
- 2 **[トレーニングと計画]** > **[レースとイベント]** > **[イベントを検索]** の順に選択します。
- 3 周辺エリアのイベントを検索します。
[イベントを作成] を選択して、イベントを作成することもできます。
- 4 イベントを選択して、**[カレンダーに追加]** を選択します。
- 5 デバイスを Garmin Connect アカウントに同期します。
- 6 デバイスでプライマリレースウィジェットを表示して、イベントまでのカウントダウンを確認します。
- 7 ウォッチフェイスページから、 を押してランニングまたはサイクリングのアクティビティを選択します。
注意：おすすめワークアウトを表示するには、心拍計(バイクアクティビティの場合は心拍計とパワー計)を使用して最低一回の屋外ランまたはバイクアクティビティを実行する必要があります。

クリティカルスイムスピードテストを実行する

タイムトライアルのテストを実行して、クリティカルスイムスピード(CSS)値を測定します。CSS とは、あなたが疲労することなく泳ぎ続けられる理論上の速度(100m あたりのペース)です。トレーニングのペースの参考にしたリ、スイミングレベル向上の目安となります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  > **[スイム]** > **[プールスイム]** の順に選択します。
- 3 下にスクロールします。
- 4 **[トレーニング]** > **[ワークアウトライブラリ]** > **[クリティカルスイムスピード]** > **[クリティカルスイムスピード計測開始]** の順に選択します。
- 5 下にスクロールして、ワークアウトのステップを確認します。(任意)
- 6  を選択します。
- 7  を押して、アクティビティのタイマーを開始します。
- 8 画面に表示される指示に従って操作します。

バーチャルパートナー

バーチャルパートナーは、設定したペースで走る仮想のパートナーとともにトレーニングを行う機能です。

注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。
- 3 画面を下にスクロールし、アクティビティ設定を選択します。
- 4 **[トレーニングページ] > [追加] > [バーチャルパートナー]** の順に選択します。
- 5 ペースまたはスピードを入力します。

注意：トレーニングページの表示順を変更できます。

- 6 アクティビティを開始します。(22 ページ [アクティビティを開始する](#))
- 7 トレーニングページをスクロールし、バーチャルパートナーページで先行 / 遅延状況を確認します。

トレーニングカレンダー

デバイスのトレーニングカレンダーに Garmin Connect アカунトのトレーニングカレンダーまたは設定したスケジュールを同期できます。Garmin Connect のカレンダーにワークアウトを追加すると、デバイスにも送信できます。スケジュール済みのすべてのワークアウトは、デバイスのカレンダーウィジェットに表示されます。カレンダーで日付を選択すると、ワークアウトを確認して実行することができます。トレーニングカレンダーのワークアウトは実行の有無にかかわらずデバイスに保存され、実行予定日が過ぎても削除されることはありません。Garmin Connect アカウントから新しいトレーニングカレンダーを転送するとデータが上書きされます。

Garmin コーチのプラン

Garmin Connect アカウントには、トレーニングの目標に合わせたさまざまなトレーニングプランや Garmin コーチによるプランが用意されています。例えば 5km のレースの完走を目指したいとき、いくつかの質問に答えるだけで適したプランを見つけることができます。プランは、ユーザーの現在のレベル、コーチとスケジュールの設定、レース日に合わせて調整されます。プランを開始すると、デバイスに Garmin コーチウィジェットが表示されます。

自己評価をオンにする

アクティビティを保存したとき、アクティビティの強度とどのくらい大変だったかを自己評価することができます。Garmin Golf アカウントで自己評価の情報を確認することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 アクティビティを選択します。
注意：この機能は一部のアクティビティタイプのみ対応しています。
- 3 **[設定] > [自己評価]** の順に選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **[ワークアウトのみ]** ワークアウト完了時のみ自己評価を行います。
 - ・ **[常時]** アクティビティ完了時に自己評価を行います。

パフォーマンス測定機能

デバイスには、自身のパフォーマンスやフィットネスレベルの把握、記録に役立つ各種パフォーマンス測定機能が搭載されています。パフォーマンス測定機能を利用するには、光学式心拍計または別売のハートレートセンサーを使用して数回のトレーニングを行う必要があります。サイクリングパフォーマンスの測定には、心拍計に加え、対応するパワー計が必要です。

これらの推定値は Garmin Human Performance Lab により提供・サポートされています。詳しくは、Garmin.com/performance-data/running をご参照ください

注意：初めのうちは測定値が不正確な場合があります。アクティビティを複数回行うことで精度が向上します。

FTP(機能的作業閾値パワー)：FTP の測定には、初期設定時のユーザープロフィールの情報が使用されます。
(61 ページ [FTP](#))

HRV ステータス：光学式心拍計で計測した睡眠中の心拍データを分析して、個人の長期的な平均心拍変動(HRV)に基づく HRV ステータスを表示します。(59 ページ [HRV ステータス](#))

乳酸閾値(LT)：乳酸閾値とは、筋肉が急激に疲労し始めるポイントを指します。心拍数とペースのデータを基に、乳酸閾値を測定します。(61 ページ [乳酸閾値](#))

予想タイム：V02 Max とトレーニング履歴を基にレースの予想タイムを算出します。(59 ページ [予想タイム](#))

確認する)

パフォーマンスコンディション：アクティビティの開始から 6 ～ 20 分後にリアルタイムのコンディションを評価します。パフォーマンスコンディションはトレーニングページのデータ項目に設定してアクティビティ実行中に確認できます。ユーザーの平均的なフィットネスレベルと比較した現在のコンディションを表す数値が表示されます。(60 ページ [パフォーマンスコンディション](#))

パワーカーブ：継続的なパワー出力を時系列で表示します。前月、3 か月、12 か月のパワーカーブを表示することができます。(62 ページ [パワーカーブ](#))

ランニングエコノミー：ランニング中のエネルギー効率を測定します。(60 ページ [ランニングエコノミー](#))

スタミナ：VO2 Max と心拍データをもとに、リアルタイムのスタミナの推定値を表示します。

アクティビティ中のデータ項目でスタミナの残量を確認できます。(61 ページ [リアルタイムスタミナを確認する](#))

VO2 Max：VO2 Max(最大酸素摂取量)とは、人が体内に取り込むことのできる酸素の一分間あたりの最大量です。単位は ml/kg/ 分で、一分間で体重 1 キログラムあたり何ミリリットルの酸素を摂取できるかを表します。(58 ページ [VO2 Max\(最大酸素摂取量\)](#))

VO2 Max(最大酸素摂取量)

VO2 Max(最大酸素摂取量)とは、人が体内に取り込むことのできる酸素の一分間あたりの最大量です。単位は ml/kg/ 分で、一分間で体重 1 キログラムあたり何ミリリットルの酸素を摂取できるかを表します。つまり VO2 Max は運動能力の指標であり、自身のフィットネスレベルを向上させるために増やす必要があります。デバイスで VO2 Max の推定値を表示するには、対応する心拍計が必要です。このデバイスでは、ランニング、サイクリング、屋内ローイングそれぞれについて個別に VO2 Max の推定値が算出されます。正確な VO2 Max の推定値を取得するには、屋外で GNSS を使用して数分間ランニングするか、対応するパワー計を使用して適度な強度でサイクリングまたはローイングを行う必要があります。

デバイスでは、VO2 Max は数値とレベル別に分類されたカラーゲージで表示されます。Garmin Connect アカウントでは、フィットネス年齢などの VO2 Max に関連するより詳細なデータを確認することができます。

 パープル	優れている
 ブルー	非常に良い
 グリーン	良い
 オレンジ	普通
 レッド	悪い

VO2 Max のデータは、Garmin Human Performance Lab により提供されています。VO2 Max の分析は、The Cooper Institute® の許可を得て提供されています。詳しくは、付録(126 ページ [VO2 Max レベル分類表](#))または www.CooperInstitute.org をご参照ください。

ランニング VO2 Max を測定する

ランニング VO2 Max を測定するには、光学式心拍計または別売のハートレートセンサーが必要です。ハートレートセンサーを使用する場合は、センサーを体に装着して、デバイスとペアリングしてください。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

精度向上のため、ユーザープロフィール(102 ページ [ユーザープロフィールを設定する](#))と最大心拍数(102 ページ [心拍ゾーンを設定する](#))を正しく設定してください。初めて測定した VO2 Max は不正確な場合があります。デバイスにユーザーのランニングパフォーマンスを学習させるには、ランニングアクティビティを複数回実行する必要があります。ウルトラランまたはトレイルランでのランニングを VO2 Max 測定から除外したい場合は、それぞれのアクティビティ設定で VO2 Max の記録を無効にすることができます。(35 ページ [アクティビティ設定](#))

- 1 ランニングアクティビティを開始します。
- 2 最大心拍数の 70%以上の心拍数に達する強度で屋外を走ります。
- 3 15 分以上記録して、**[保存]**を選択します。
- 4 上または下に**スワイプ**してパフォーマンス測定結果を確認します。

サイクリング VO2 Max を測定する

サイクリング VO2 Max を測定するには、パワー計と光学式心拍計または別売のハートレートセンサーが必要です。また、別売のパワー計をデバイスにペアリングして接続する必要があります(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))。ハートレートセンサーを使用する場合は、センサーを体に装着して、デバイスとペアリングします。

測定開始前にユーザープロフィール(102 ページ ユーザープロフィールを設定する)と最大心拍数(102 ページ 心拍ゾーンを設定する)を正しく設定してください。

初めて測定した VO2 Max は不正確な場合があります。デバイスにユーザーのサイクリングパフォーマンスを学習させるには、サイクリングアクティビティを複数回実行する必要があります。

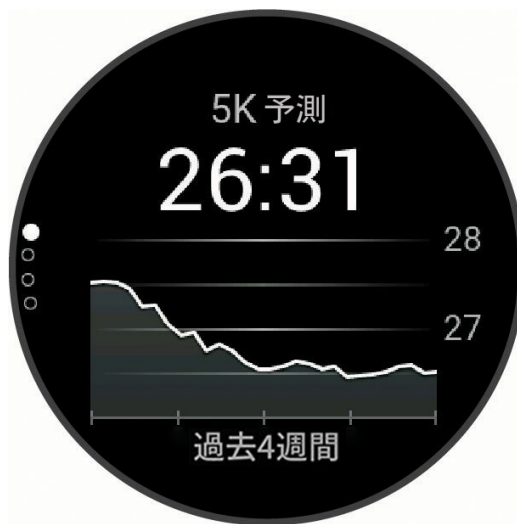
- 1 サイクリングアクティビティを開始します。
- 2 最大心拍数の 70% 以上に達する高い強度を維持しながらライドします。
- 3 15 分以上記録して、**[保存]**を選択します。
- 4 上または下に**スワイプ**してパフォーマンス測定結果を確認します。

予想タイムを確認する

精度向上のため、ユーザープロフィール(102 ページ ユーザープロフィールを設定する)と最大心拍数(102 ページ 心拍ゾーンを設定する)を正しく設定してください。

VO2 Max とトレーニングの履歴を基に算出したレースの予想タイムを確認することができます(58 ページ VO2 Max(最大酸素摂取量))。数週間分のトレーニングデータを分析することで、予想精度が向上します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を上へスワイプして、ランニングパフォーマンスウィジェットを表示します。
- 2 ランニングパフォーマンスウィジェットを選択します。
- 3 スクロールして予想タイムを確認します。
- 4 予想タイムを選択して詳細を確認します。



- 5 スクロールして距離別の予想タイムを確認します。

注意：初めのうちは予想の精度が低いことがあります。デバイスにユーザーのランニングパフォーマンスを学習させるには、ランニングアクティビティを複数回実行する必要があります。

HRV ステータス

睡眠中の光学式心拍計の測定値を分析して心拍変動(HRV)を表示します。トレーニングや身体活動、睡眠、栄養、健康習慣などのすべてが HRV に影響します。HRV の値は、性別や年齢、フィットネスレベルにより大きく異なります。HRV ステータスのバランスが良いと、トレーニングとリカバリーのバランスが良く、心臓血管の健康状態が優れていて、ストレスからの回復力があるなど、健康状態が良い兆候であることを示します。HRV ステータスのバランスが悪いと、疲労や十分な回復の必要性、高いストレスなどの兆候を示します。最良の結果を得るには、睡眠中にもデバイスを装着してください。デバイスに 3 週間分の安定した睡眠データが蓄積されることで、HRV ステータスが表示されます。



カラーゾーン	ステータス	説明
グリーン	バランス	7 日間の平均 HRV があなたのベースラインの範囲内です。
オレンジ	アンバランス	7 日間の平均 HRV があなたのベースラインの範囲を上回っているか、下回っています。
レッド	低	7 日間の平均 HRV があなたのベースラインの範囲を大きく下回っています。
なし	悪い ステータスなし	あなたの HRV の値は、あなたの年齢の標準の範囲を平均的に大きく下回っています。 ステータスなしが表示される場合は、7 日間の平均値を算出するためのデータが不足していることを示します。

デバイスを Garmin Connect アカウントに同期すると、現在の HRV ステータスや傾向、学習のためのフィードバックを確認することができます。

パフォーマンスコンディション

ランニングやサイクリングなどのアクティビティ中のペースや心拍数、心拍変動をリアルタイムで分析して、現在のパフォーマンスをユーザーの平均的なフィットネスレベルと比較して評価します。この値は、ユーザーの V02 Max のベースラインからの偏差のパーセンテージと近似します。

パフォーマンスコンディションの数値の範囲は、-20 ~ +20 です。アクティビティを開始してから 6 ~ 20 分後に数値が表示されます。例えば、数値が +5 のとき、あなたの体は休息が取れてリフレッシュし、ランやライドに適した状態であることを示します。パフォーマンスコンディションをトレーニングページのデータ項目に設定することで、アクティビティ実行中に数値をモニターすることができます。パフォーマンスコンディションは、疲労のレベルのインジケータにもなり、長距離のランやライドの終盤でコンディションを把握するのに役立ちます。

注意：ユーザーのランニング・サイクリングの能力の学習に必要な V02 Max の測定には、心拍計を使用して複数回のランまたはライドを実行する必要があります。(58 ページ [VO2 Max\(最大酸素摂取量\)](#))

パフォーマンスコンディションを確認する

この機能を利用するには、光学式心拍計または別売のハートレートセンサーが必要です。

- 1 トレーニングページに **【パフォーマンスコンディション】** のデータ項目を表示します。(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))
- 2 ランまたはバイクのアクティビティを開始します。
開始 6 ~ 20 分後にパフォーマンスコンディションの数値が表示されます。
- 3 トレーニングページのデータ項目上で数値を確認します。

ランニングエコノミー

ランニングエコノミーでランニング中のエネルギー効率を測定できます。V02 Max(最大酸素摂取量)は、激しい運動中に体が利用できる酸素の最大量を測定するのに対し、ランニングエコノミーはそのエネルギーをどれだけ効率的にランニングパフォーマンスに変換できるかを示します。ランニングエコノミーは、体重 1 キログラムあたり 1 キロメートルを走るのに消費される酸素の量 (ml/kg/km) で表されます。数値が低いほど、使用されたエネルギーが少ないことを意味します。

要件：HRM 600(別売)などのステップスピードロスを計測に対応するアクセサリーを使用して、屋外でランまたはトラックランのアクティビティを複数回記録する必要があります。

必要なデータ：ランニングエコノミーは、ユーザープロフィールの情報、ランニング履歴、心拍数、スピード、ランニングダイナミクスおよび地面に足が着いたときにどれだけ減速するかを示すステップスピードロスのデータが必要です(90 ページ [ランニングダイナミクス](#))。測定精度向上のため、ユーザーの身長と体重は正しく設定してください。(102 ページ [ユーザープロフィールを設定する](#))

測定結果について：ランニングエコノミーは、有酸素運動のパフォーマンスに関連する指標です。トラックや平坦な地形で 30 分以上の軽いランニングを行うことで、この指標に関する最も多くの洞察を得ることができます。屋内ランやトレイルランは、ランニングエコノミーの測定には使用されません。詳しくは、[Garmin.com/performance-data/running](https://garmin.com/performance-data/running) または付録をご参照ください。

ランニングエコノミーを確認する

- ウォッチフェイスページで下にスクロールして、ランニングパフォーマンスウィジェットを表示します。
注意：必要な場合は、ウィジェットをウィジェット一覧に追加してください。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))
- Garmin Connect アプリで・・・> **[パフォーマンス統計]** > **[ランニングエコノミー]** の順に選択します。
ホーム画面にデータを表示することもできます。

FTP

FTP(機能的作業閾値パワー)を測定するには、デバイスにパワー計をペアリングし(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))、あらかじめ VO2 Max を測定する必要があります。(58 ページ [サイクリング VO2 Max を測定する](#))

FTP の測定には、ユーザープロフィールの情報と VO2 Max の測定値が使用されます。パワーを計測しながら一定の高い強度のアクティビティを実行すると、FTP が自動検出されます。

最適な結果を得るには、心拍計も使用してください。

- ウォッチフェイスページで画面を上にはスワイプして、パフォーマンスウィジェットを表示します。
- ウィジェットを選択してパフォーマンスデータを確認します。
- 画面をスクロールして FTP を表示します。

FTP は、パワー出力の測定値(単位は w/kg)とカラーゲージで表示されます。

 パープル	優れている
 ブルー	非常に良い
 グリーン	良い
 オレンジ	普通
 レッド	一般(未訓練)

詳しくは、付録の 128 ページ [FTP レベル分類表](#)をご参照ください。

乳酸閾値

乳酸閾値とは、乳酸が血液中に蓄積し始める運動強度のことを言います。ランニングでは、この強度レベルはペースや心拍数、パワーで推定されます。ランナーが乳酸閾値を上回る強度でトレーニングを行うと、急激に疲労し始め、運動を維持できなくなります。経験豊富なランナーの乳酸閾値は、おおよそ最大心拍数の 90% 程度の心拍数での運動強度で、ペースにすると 10km またはハーフマラソンを走行するペースに相当します。一方、平均的なランナーの乳酸閾値は、最大心拍数の 90% を大きく下回る強度となります。

乳酸閾値を知ることで、どのくらいハードなトレーニングが自分に適しているかがわかったり、レースでペースアップするタイミングの参考となったりします。乳酸閾値心拍数は、ユーザープロフィールに手動で入力することもできます。(102 ページ [心拍ゾーンを設定する](#))

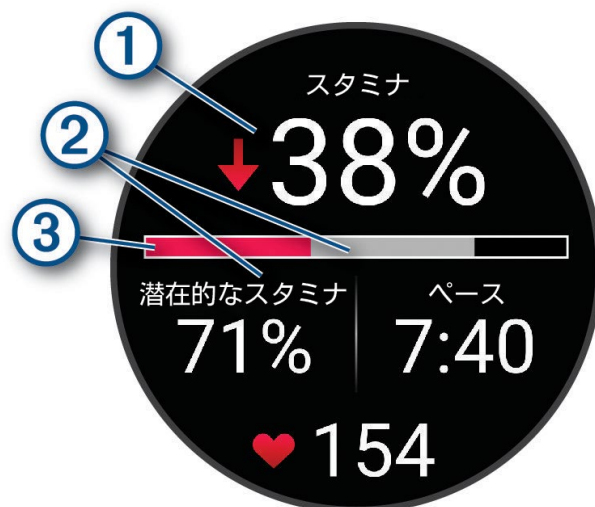
自動検出のオプションをオンにすると、アクティビティ中に乳酸閾値を自動で検出します。

リアルタイムスタミナを確認する

VO2 Max と心拍データに基づくアクティビティ中のリアルタイムスタミナを確認できます。(58 ページ [VO2 Max\(最大酸素摂取量\)](#))

- ウォッチフェイスページで画面を左にはスワイプします。

- 2  を選択します。
- 3 ランまたはバイクのアクティビティを選択します。
- 4 下にスクロールします。
- 5 アクティビティ設定を選択します。
- 6 **[トレーニングページ] > [追加] > [スタミナ]** の順に選択します。
 注意：トレーニングページの表示順や、プライマリスタミナの残量の表示方法を変更できます。
- 7 アクティビティを開始します。(22 ページ [アクティビティを開始する](#))
- 8 トレーニングページをスクロールします。



①	プライマリスタミナ：スタミナの残量をパーセンテージ / 距離 / 時間で表示
②	潜在的なスタミナ
③	現在のスタミナ  赤：スタミナが消耗しています。  オレンジ：スタミナが安定しています。  緑：スタミナが回復しています。

パワーカーブ

パワーカーブを確認するには、過去 90 日間以内でペアリング済みのパワー計を使用して最低 1 時間以上のトレーニングを行っている必要があります。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

Garmin Connect アカウントでワークアウトを作成できます。パワーカーブとは、継続的なパワー出力を時系列で表示したものです。前月、3 か月、12 か月のパワーカーブを表示することができます。

- 1 Garmin Connect アプリで  (詳細) を選択します。
- 2 **[パフォーマンス統計] > [パワーカーブ]** の順に選択します。

トレーニングステータス

これらの指標は、ユーザーのトレーニングを追跡して理解するのに役立ちます。トレーニングステータスやその他の項目の測定には光学式心拍計または別売のハートレートセンサーを使用して 2 週間トレーニングを行う必要があります。サイクリングパフォーマンスの測定には、心拍計に加え、対応するパワー計が必要です。初めは測定結果が不正確な場合があります。デバイスにユーザーのパフォーマンスを学習させるには、アクティビティを複数回実行する必要があります。

これらの推定値は Garmin Human Performance Lab により提供・サポートされています。詳しくは、[Garmin.com/performance-data/running](https://garmin.com/performance-data/running) をご参照ください



トレーニングステータス：VO2 Max と短期的負荷、HRV ステータスの長期間のデータを基に、トレーニングが自身のパフォーマンスにもたらす効果を示します。

VO2 Max：VO2 Max(最大酸素摂取量)とは、人が体内に取り込むことのできる酸素の一分間あたりの最大量です。単位は ml/kg/ 分で、一分間で体重 1 キログラムあたり何ミリリットルの酸素を摂取できるかを表します(58 ページ VO2 Max(最大酸素摂取量))。高地または高温な環境下では、標高や気温の影響を考慮して VO2 Max の測定値を補正して表示します。(68 ページ パフォーマンスの高度適応と暑熱適応)

HRV：過去 7 日間の HRV ステータスを表示します。(59 ページ HRV ステータス)

短期的負荷：運動の時間や強度などの最近の運動負荷を加重合計したスコアを表示します。(64 ページ 短期的負荷)

負荷バランス：アクティビティの強度と構成を基に、トレーニング負荷を分析してカテゴリーに分類します。カテゴリーごとの総負荷とバランスを確認できます。過去 4 週間のトレーニング負荷を蓄積して表示します。(64 ページ 負荷バランス)

リカバリータイム：身体が完全に回復するのに必要な予想時間を表示します。(66 ページ リカバリータイム)

トレーニングステータスのレベル

トレーニングステータスは、トレーニングが自身のパフォーマンスにもたらす効果を示します。トレーニングステータスは、VO2 Max と短期的負荷、HRV ステータスの長期間のデータに基づきます。トレーニングステータスを参考にすることで、トレーニングの計画やフィットネスレベルの向上に役立てられます。

ステータスなし：利用可能なトレーニングデータがありません。トレーニングステータスを表示するには、2 週間で複数のランニングまたはサイクリング VO2 Max の測定結果を含むアクティビティを記録する必要があります。

ディトレーニング：一週間またはそれ以上、通常よりトレーニングを行っていません。フィットネスレベルに影響を及ぼし始めています。トレーニング負荷を増やして改善を試みてください。

リカバリー：ハードトレーニングで消耗した身体の回復に適したトレーニング負荷です。十分な回復を感じたら、負荷の高いトレーニングを再開しましょう。

キープ：現在のフィットネスレベルを維持するのに適したトレーニング負荷です。今よりもワークアウトのバリエーションやトレーニングのボリュームを増やすことで、フィットネスレベルの向上が期待できます。

プロダクティブ：フィットネスレベルとパフォーマンスが良い方向に推移しています。フィットネスレベルを維持するためにトレーニングに休息期間を取り入れることも重要です。

ピーキング：これまでのトレーニングでの疲労も上手く回復ができた、理想的なレースコンディションです。このコンディションは長く続かないため、その際はトレーニングプランを改めて計画し、実行しましょう。

オーバーリーチ：トレーニング負荷が高すぎるため、フィットネスレベルの向上には逆効果です。十分な休息が必要です。適度に軽い運動を行いながら、時間をかけて身体を休めてください。

アンプロダクティブ：トレーニング負荷は適切なレベルですが、フィットネスレベルが低下しています。休息や栄養状態、ストレスなどの健康面に低下の要因があるかもしれません。

疲れている：リカバリーとトレーニング負荷のバランスが悪い状態です。ハードなトレーニングを行った後や、レースの後に通常起こり得る状態です。身体の回復を助けるため、全体的な健康状態に注意してください。

トレーニングステータスを表示するには

トレーニングステータスは、1 週間に最低 1 回分の VO2 Max の測定値を含むユーザーのフィットネスレベルのデータを基に評価されます(58 ページ [VO2 Max\(最大酸素摂取量\)](#))。屋内ランニングアクティビティでは、VO2 Max は測定できません。ウルトラランまたはトレイルランでのランニングを VO2 Max 測定から除外したい場合は、それぞれのアクティビティ設定で VO2 Max の記録を無効にすることができます。(35 ページ [アクティビティ設定](#))

トレーニングステータスを利用するには、次のことをお試しください。

- トレーニングステータスを表示するには、週に 1 回以上の頻度で、光学式心拍計(またはハートレートセンサー)とパワー計(サイクリングアクティビティのみ)を使用して、最大心拍数の 70%以上の心拍数を数分間維持する強度のトレーニングを行います。
デバイスを 1～2 週間使用すると、トレーニングステータスが表示されます。
- デバイスにユーザーのパフォーマンスを学習させるため、優先トレーニングデバイスにすべてのアクティビティを記録してください。(98 ページ [アクティビティとパフォーマンスの測定結果を同期する](#))
- デバイスは、睡眠中を含めて昼夜を通して装着し、継続的に最新の HRV ステータスを測定してください。有効な HRV ステータスを保持することで、VO2 Max を含むアクティビティが少ない場合でもトレーニングステータスを表示することができます。

短期的負荷

短期的負荷は、過去数日間の EPOC(運動後過剰酸素消費量)の加重合計値で表されます。ゲージは、現在の負荷の高さと、最適な負荷の範囲を示します。最適な負荷の範囲は、ユーザーのフィットネスレベルとトレーニング履歴に基づきます。トレーニングの時間や強度が変わると、最適な負荷の範囲も変動します。

負荷バランス

トレーニングの効果とパフォーマンスを向上させるためには、低強度有酸素運動と高強度有酸素運動、無酸素運動の 3 つのカテゴリの運動をバランスよく行う必要があります。負荷バランスでは、現在までのカテゴリごとのトレーニング量と目標を確認できます。負荷バランスを表示するには、まずあなたのトレーニング負荷が低いか、最適か、高いかを判断するために最低 7 日間のトレーニングを行う必要があります。さらに 4 週間トレーニングを続けることで、トレーニング負荷の推定精度が向上し、バランスよくトレーニングを行うための指標として役立ちます。

目標未達成：あなたの 4 週間のトレーニング負荷は、すべてのカテゴリで目標を下回っています。

低強度有酸素 不足：低強度の有酸素運動を増やして、激しい運動とのバランスをとってください。

高強度有酸素 不足：乳酸閾値と VO2 Max の向上のため、徐々に高強度の有酸素運動を増やしてください。

無酸素不足：スピードと無酸素性キャパシティの向上のため、もう少し高強度の無酸素運動を徐々に増やしてください。

良いバランス：あなたのトレーニング負荷はバランスのとれた良い状態で、トレーニングを続けることでフィットネス全体に良い効果が得られます。

低強度有酸素：あなたのトレーニング負荷は主に低強度の有酸素運動です。これらのトレーニングは、より強度の高い運動を実行するための強固な基盤となります。

高強度有酸素：あなたのトレーニング負荷は主に高強度の有酸素運動です。これらのトレーニングは、乳酸閾値や VO2 Max、持久力の向上に役立ちます。

無酸素：あなたのトレーニング負荷は主に激しい無酸素運動です。トレーニングの効果を急速に得られますが、低強度の有酸素運動もバランスよく実行する必要があります。

目標超過：あなたの 4 週間のトレーニング負荷は、最適な範囲を超過しています。

負荷比

負荷比とは、ユーザーの短期的なトレーニング負荷と長期的なトレーニング負荷の比率です。トレーニング負荷の推移を追跡するのに役立ちます。

ステータス	値	説明
ステータスなし	なし	2 週間トレーニングを記録すると負荷比が表示されます。
低	0.8 未満	長期的負荷に比べて短期的負荷が低いです。
最適 	0.8 ～ 1.4	短期的負荷と長期的負荷のバランスがとれています。最適な範囲は、ユーザーのフィットネスレベルとトレーニング履歴により異なります。
高	1.5 ～ 1.9	長期的負荷に比べて短期的負荷が高いです。

ステータス	値	説明
とても高い	2.0 以上	長期的負荷に比べて短期的負荷がとても高いです。

トレーニング効果について

トレーニング効果(TE)とは、ユーザーの有酸素運動能力と無酸素運動能力にトレーニングがもたらす効果を数値で示すものです。トレーニング効果はアクティビティ中に蓄積されます。アクティビティが進むにつれて、トレーニング効果の数値は増えていきます。トレーニング効果は、ユーザープロフィールと心拍数、アクティビティの継続時間や強度、アクティビティタイプ、運動中に蓄積した EPOC 値を基に算出されます。7 種類のトレーニング効果のラベルは、アクティビティがもたらす主な効果を示します。各ラベルの色は、負荷バランスに対応しています(64 ページ [負荷バランス](#))。各フィードバックフレーズ(例:VO2 Max の更なる向上)の詳細は、Garmin Connect アカウントで確認できます。

有酸素トレーニング効果(有酸素 TE)は、心拍数を基に運動の累積強度が有酸素運動能力にどのくらい影響を与えるかを測定し、そのトレーニングがフィットネスレベルの維持または向上に効果があるかどうかを示します。運動中に蓄積した EPOC(運動後過剰酸素消費量)はユーザーのフィットネスレベルとトレーニング習慣を考慮した値の範囲に割り当てられます。中強度の一定したペースで行う運動や、180 秒以上継続して運動するインターバルを含むワークアウトは、有酸素性エネルギー代謝を促し、有酸素運動能力に高い向上効果をもたらします。

無酸素トレーニング効果(無酸素 TE)は、心拍数とスピード(またはパワー)から、極めて高い強度の運動でパフォーマンスを発揮する能力の向上に効果があるかどうかを示します。EPOC に対する無酸素運動の影響とアクティビティタイプに基づく値を得られます。10 秒から 120 秒までの短いインターバルを高強度で繰り返し行うワークアウトは、無酸素性キャパシティの向上にかなり高い効果をもたらし、無酸素トレーニング効果の改善につながります。

トレーニングページのデータ項目に有酸素トレーニング効果と無酸素トレーニング効果を追加することで、アクティビティ中に数値をモニターすることができます。

トレーニング効果	有酸素向上効果	無酸素向上効果
0.0 ~ 0.9	効果なし	効果なし
1.0 ~ 1.9	効果 小	効果 小
2.0 ~ 2.9	有酸素フィットネスの維持	無酸素フィットネスの維持
3.0 ~ 3.9	有酸素フィットネスの向上	無酸素フィットネスの向上
4.0 ~ 4.9	有酸素フィットネスの更なる向上	無酸素フィットネスの更なる向上
5.0	過度なトレーニングで十分な休息なしではリスクあり	過度なトレーニングで十分な休息なしではリスクあり

トレーニング効果は、Garmin Human Performance Lab によって提供およびサポートされています。詳細については、[Garmin.com/performance-data](https://garmin.com/performance-data) を参照してください。

持久カスコー

持久カスコーとは、デバイスに記録された心拍データを含むすべてのアクティビティに基づくユーザーの総持久力を表す指標です。持久カスコーを改善するためのアドバイスや、持久カスコーにもっとも影響したスポーツを確認できます。

カラーゾーン	説明
 ピンク	エリート
 パープル	優れている
 ブルー	エキスパート
 グリーン	高度な経験者
 イエロー	経験者
 オレンジ	中級者
 レッド	レクリエーション

詳しくは [127 ページ 持久カスコー分類表](#) をご参照ください。

ヒルスコア

ヒルスコアとは、過去 2 か月間のトレーニングの履歴と VO2 Max の測定値に基づく現在の上り坂の走力を表す指標です。デバイスは、屋外ランまたはウォーク、ハイキングアクティビティの実行中に 2%以上の勾配の上り坂の区間を検出します。ヒル持久力、ヒル強度、ヒルスコアの推移を確認できます。

カラーゾーン	スコア	説明
 ピンク	95 ~ 100	エリート
 パープル	85 ~ 94	エキスパート
 ブルー	70 ~ 84	熟練
 グリーン	50 ~ 69	経験者
 オレンジ	25 ~ 49	チャレンジャー
 レッド	1 ~ 24	レクリエーション

トレーニングレディネス

トレーニングの準備がどの程度できているかを示すスコアとメッセージを表示します。スコアは次のデータを基に一日を通して常にアップデートされます。

- 昨晚の睡眠スコア
- リカバリータイム
- HRV ステータス
- 短期的負荷
- 過去 3 日間の睡眠履歴
- 過去 3 日間ストレス履歴

カラーゾーン	スコア	説明
 パープル	95 ~ 100	最適 最高の状態です。
 ブルー	75 ~ 94	高 難題に取り組む準備ができています。
 グリーン	50 ~ 74	中程度 準備ができています。
 オレンジ	25 ~ 49	低 少しペースを落としましょう。
 レッド	1 ~ 24	悪い 回復しましょう。

Garmin Connect アカウントで、トレーニングレディネススコアの履歴を確認できます。

リカバリータイム

リカバリータイムとは、トレーニング後の身体が十分に回復して、次のトレーニングを行うのに最適な状態になるまでの時間を表示する機能です。

リカバリータイムの測定には VO2 Max の測定値を使用するため、初めは測定精度が低くなることがあります。デバイスにユーザーのパフォーマンスを学習させるには、アクティビティを複数回実行する必要があります。

リカバリータイムは、アクティビティ完了後、すぐに確認することができます。次のトレーニングを行うのに最適な状態になるまでの時間をカウントダウンして表示します。リカバリータイムは、睡眠やストレス、休息、身体活動の変化に基づいて一日を通してアップデートされます。

リカバリー心拍

光学式心拍計またはペアリング済みのハートレートセンサー(別売)を装着してアクティビティを行うと、アクティビティ終了後にリカバリー心拍を確認することができます。リカバリー心拍とは、タイマー停止時の心拍数から、

タイマー停止から 2 分後の心拍数を引いた心拍数です。例えば、ランニングを終了してタイマーを停止したときの心拍数が 140bpm で、2 分間安静にするかクールダウンした後の心拍数が 90 bpm のとき、リカバリー心拍数は 50 bpm となります。その差が大きいほど心肺機能が高く健康的であると言われています。

ヒント：リカバリー心拍を計測中は、なるべく動かないでください。

注意：リカバリー心拍は、ヨガなどの負荷の少ないアクティビティでは計算されません。

パフォーマンスの高度適応と暑熱適応

高地で測定された VO2 Max は低地で測定された値より低くなるといったように、標高または気温などの環境要因はユーザーのパフォーマンスに影響を及ぼします。デバイスは、生活高度が 800m を超える場合と、気温が 22°C より高い環境下でトレーニングした場合に、標高や気温の影響を考慮して VO2 Max の測定値とトレーニングステータスの測定結果を補正します。トレーニングステータスウィジェットで暑熱適応と高度適応の推移を追跡できます。

注意：暑熱適応は、接続中のスマートフォンで取得した気象データに基づいて、気温が 22°C より高い環境で GPS がオンのアクティビティを実行したときに機能します。

ランニング耐久値

ランニング耐久値は、パフォーマンス向上とけがのリスクとのバランスを取りながら、走行距離を伸ばすのをサポートする機能です。デバイスのランニング耐久値ウィジェットで、今日の短期的衝撃負荷、現在のトレーニング週の推定走行距離、ランニング耐久値と衝撃負荷の数週間分の傾向グラフを確認できます。

衝撃負荷(km または mi)：衝撃負荷(km または mi)とは、平坦な道のりをイージーペースで 1km(または 1mi)走行する際に身体にかかる力学的負荷の量を基準として、どのくらいの距離に相当するかを示す指標です。衝撃負荷は、ランニングの強度やランニングダイナミクスデータ、上り坂または下り坂を走っているかなどの要因を基に推定されます。例えば、上り坂を含む道のりをきついペースで 5 マイル走行した際に衝撃負荷が 8 マイルとなった場合、実際に体にかかった負荷は平坦な道のりをイージーペースで 8 マイル走行したときと同等であることを意味します。同様に、3 マイルを楽なペースでゆっくり走行した際には、衝撃負荷が 2.5 マイルとなることもあります。

短期的衝撃負荷：短期的衝撃負荷は、一日にどのくらい走る力が残っているかを示すインジケーターで、週ごとのランニング耐久値から評価されます。衝撃負荷はランニングを記録する度に短期的衝撃負荷に加算され、負荷の影響は時間の経過とともに減少します。

週間衝撃負荷：トレーニング週ごとのランニングの衝撃負荷を単純合計した値です。トレーニング週は、Garmin Connect アカウントで設定することができます。現在のトレーニング週を通じて、どのように値が加算されているかを確認できます。衝撃負荷とランニング耐久値の週間履歴を表示します。

耐久値：ランニング履歴に基づく短期的負荷の最大値を示します。直近および長期的なランニング履歴に基づく科学的な解釈に基づいて、各トレーニング週の開始時にユーザー向けにパーソナライズされた値に更新されます。詳しくは、Garmin.co.jp/minisite/garmin-technology/running/ をご参照ください。

測定結果について：ハードで速いペースのランニングは、イージージョギングに比べて地面反力が大きくなり、身体への負担や消耗も大きくなります。ウォーキングは、衝撃をランニングの約半分に抑えることができるため、ランニングにウォーキング区間を取り入れることで負担を軽減できます。ランニングアクティビティの履歴では、実際の走行距離と衝撃負荷を並べて表示したグラフを確認できます。ランニングを健康的に続けるには、身体の声に耳を傾けながらデータを活用することが重要です。

履歴

タイム、距離、カロリー、平均ペースまたはスピード、ラップデータ、センサー情報などを含むデータを履歴から確認することができます。

注意：デバイスの空きメモリーがいっぱいになると、古いデータから順に上書きされます。

履歴を確認する

履歴には、アクティビティのデータや自己ベスト、合計が記録されています。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
 - ・ ウォッチフェイスページで  を押します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面を上**にスワイプ**します。
- 2 **[履歴]**を選択します。

最近のアクティビティのグラフが表示されます。
- 3 画面を左に**スワイプ**してオプションを表示します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **[グラフ設定]** グラフの集計期間を変更します。
 - ・ **[自己ベスト]** アクティビティタイプごとの自己ベストを確認します。(70 ページ [自己ベスト](#))
 - ・ **[合計]** 週合計または月合計を確認します。(71 ページ [データの合計を確認する](#))
- 5  を押してグラフ画面に戻ります。
- 6 下にスクロールしてアクティビティ履歴を表示します。
- 7 アクティビティを選択します。
- 8 画面を左に**スワイプ**してオプションを表示します。

マルチスポーツアクティビティの履歴

マルチスポーツの距離、タイム、カロリー、センサーデータを含む履歴を確認します。各スポーツのセグメントとトランジションは別々に保存されるため、アクティビティ間の比較や、トランジションの遷移の確認が容易に行えます。トランジションにも距離、タイム、平均スピード、カロリーのデータが含まれます。

自己ベスト

アクティビティを終了したときに、アクティビティ中に達成した新記録が表示されます。自己ベストの項目は、特定の距離の最速タイムと、筋力トレーニングの特定の運動の最大ウエイト、ラン、バイク、スイムの最長距離です。
ヒント：バイクアクティビティの自己ベスト項目は、距離別の項目の他に最大上昇量と最大パワーを記録することができます。

自己ベストを確認する

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
 - ・ ウォッチフェイスページで  を押します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面を上**にスワイプ**します。
- 2 **[履歴]**を選択します。
- 3 画面を左に**スワイプ**してオプションを表示します。
- 4 **[自己ベスト]**を選択します。
- 5 アクティビティタイプを選択します。
- 6 自己ベスト項目を選択します。
- 7 **[確認]**を選択します。

自己ベストを前回の記録に変更する

自己ベストを一つ前の記録に戻すことができます。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。

- ・ ウォッチフェイスページで  を押します。
- ・ ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプします。

2 **【履歴】**を選択します。

3 画面を左にもスワイプしてオプションを表示します。

4 **【自己ベスト】**を選択します。

5 アクティビティタイプを選択します。

6 自己ベスト項目を選択します。

7 **【前回】** >  の順に選択します。

ヒント：自己ベストデータを変更または削除しても、履歴データ自体が変更または削除されることはありません。

自己ベストを削除する

1 次のオプションを選択します。

- ・ ウォッチフェイスページで画面を左にもスワイプします。
- ・ ウォッチフェイスページで  を押します。
- ・ ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプします。

2 **【履歴】**を選択します。

3 画面を左にもスワイプしてオプションを表示します。

4 **【自己ベスト】**を選択します。

5 アクティビティタイプを選択します。

6 次のオプションを選択します。

- ・ 自己ベスト項目のうち 1 件のみ削除する場合は、削除する項目を選択し、**【削除】** >  の順に選択します。
- ・ すべての自己ベスト項目を削除する場合は、**【全削除】** >  の順に選択します。（選択したアクティビティタイプの記録のみ削除されます。）

ヒント：自己ベストデータを変更または削除しても、履歴データ自体が変更または削除されることはありません。

データの合計を確認する

距離とタイムの合計を確認できます。

1 次のオプションを選択します。

- ・ ウォッチフェイスページで画面を左にもスワイプします。
- ・ ウォッチフェイスページで  を押します。
- ・ ウォッチフェイスページで画面を上にもスワイプします。

2 **【履歴】**を選択します。

3 画面を左にもスワイプしてオプションを表示します。

4 **【合計】**を選択します。

5 アクティビティを選択します。

6 週別または月別のオプションを選択して合計を確認します。

通知とアラートの設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[通知とアラート]**の順に選択します。

[スマート通知]：スマート通知のオン/オフおよび詳細を設定します。(94 ページ [通知機能を有効にする](#))

[健康&ウェルネス]：健康&ウェルネスアラートを設定します。(72 ページ [健康&ウェルネスアラート](#))

[レポート設定]：レポートのオン/オフ、レポートのデータとテーマをカスタマイズします。**[モーニングレポート]**のオプションを選択して、モーニングレポートに表示されるメッセージを編集・作成します(73 ページ [モーニングレポートをカスタマイズする](#))。**[イブニングレポート]**のオプションを選択して、イブニングレポートのスケジュールを設定します(73 ページ [イブニングレポートをカスタマイズする](#))。**[テーマを選択]**のオプションを選択して、レポートの背景テーマをカスタマイズします。

[システムアラート]：時刻アラート(73 ページ [日の入まで/日の出まで/1時間ごとアラートを設定する](#))、ストームアラート(73 ページ [ストームアラートを設定する](#))、スマートフォン接続アラート(73 ページ [スマートフォン接続アラートをオン/オフにする](#))を設定します。

[通知センター]：通知センターの有効/無効を設定します。(94 ページ [通知を確認する](#))

健康&ウェルネスアラート

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[通知とアラート]>[健康&ウェルネス]**の順に選択します。

[一日の概要]：就寝の数時間前に、一日の Body Battery の概要を表示します。ストレスやアクティビティが Body Battery に与えた影響を確認できます。(43 ページ [Body Battery](#))

[ストレスアラート]：ストレスにより Body Battery を消費したときにアラートします。

[休息アラート]：休息をとったあとに Body Battery への影響をお知らせします。

[異常心拍アラート]：異常心拍アラートを設定します。(72 ページ [異常心拍アラートを設定する](#))

[時差ぼけアドバイザー]：仮眠や日光浴などの時差ぼけアドバイザーのアラートのオン/オフを設定します。(45 ページ [時差ぼけアドバイザーを使用する](#))

[Move アラート]：Move アラートのオン/オフを設定します。(72 ページ [Move アラートをカスタマイズする](#))

[ゴールアラート]：ステップ数、上昇階数、週間運動量のゴールアラートのオン/オフを設定します。

異常心拍アラートを設定する

⚠注意

この機能は、10 分間以上活動していない状態が続いた後に、一分間あたりの心拍数がユーザーの設定した値を超えたとき、またはそれを下回ったときのみにアラートする機能です。ただし、ユーザーが Garmin Connect アプリで設定した睡眠時間中に心拍数が設定した値を下回った場合はアラートしません。この機能は、ユーザーの心臓の潜在的な疾患を知らせるものではなく、またその他の疾病や病状の治療や診断を目的としたものではありません。心臓に関わる症状については、ご自身で医療機関等にご相談ください。

異常心拍アラートの閾値を設定します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[通知とアラート]>[健康&ウェルネス]>[異常心拍アラート]**の順に選択します。
- 3 **[上限]**または**[下限]**を選択します。
- 4 アラートの閾値を設定します。

設定した閾値を上回ったとき、または下回ったときにデバイスにメッセージが表示され、バイブレーションします。

Move アラート

長時間座ったままでは、代謝に好ましくない変化をもたらすおそれがあります。Move アラートは、一定時間体を動かしていないときにアラートする機能です。一時間身体を動かさずにいると、メッセージが表示されます。デバイスのアラート音またはバイブレーションがオンの場合は、音またはバイブレーションも鳴動します。

Move アラートをカスタマイズする

- 1  を押します。
- 2 **[設定]>[通知とアラート]>[健康&ウェルネス]>[Move アラート]>[オン]**の順に選択します。

モーニングレポート

毎朝、設定した起床時刻に合わせてモーニングレポートが表示されます。画面をスクロールすると、その日の天気や睡眠、HRV ステータスなどをまとめて確認できます。(73 ページ [モーニングレポートをカスタマイズする](#))

モーニングレポートをカスタマイズする

注意：これらの設定は、Garmin Connect アカウントでもカスタマイズできます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[通知とアラート]** > **[レポート設定]** > **[モーニングレポート]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[レポートを表示]** モーニングレポートをオン / オフします。
 - ・ **[レポート編集]** モーニングレポートに表示するデータを編集 / 並べ替えます。
 - ・ **[毎日のメッセージをカスタマイズする]** > **[メッセージの編集]** モーニングレポートに表示するカスタムメッセージを作成します。

イブニングレポート

就寝時間前にイブニングレポートを表示します。レポートをスクロールすると、Body Battery の詳細、明日のワークアウトと天気、睡眠コーチの推奨睡眠時間などを確認できます。(73 ページ [イブニングレポートをカスタマイズする](#))

イブニングレポートをカスタマイズする

注意：これらの設定は、Garmin Connect アカウントでもカスタマイズできます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[通知とアラート]** > **[レポート設定]** > **[イブニングレポート]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[レポートを表示]** イブニングレポートをオン / オフします。
 - ・ **[レポート編集]** イブニングレポートに表示するデータを編集 / 並べ替えます。
 - ・ **[睡眠の提案]** イブニングレポートに表示される睡眠の提案のオン / オフを切り替えます。
 - ・ **[レポートをスケジュール]** 就寝時刻のどのくらい前にレポートを表示するかを設定します。

日の入まで / 日の出まで / 1 時間ごとアラートを設定する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[通知とアラート]** > **[システムアラート]** > **[時刻]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[日の入まで]** > **[ステータス]** > **[オン]** に設定し、**[時間]** を選択して日の入時刻の前にアラートする任意の時間を設定します。
 - ・ **[日の出まで]** > **[ステータス]** > **[オン]** に設定し、**[時間]** を選択して日の出時刻の前にアラートする任意の時間を設定します。
 - ・ **[毎時アラート]** > **[オン]** に設定して、毎正時にアラートします。

ストームアラートを設定する

⚠ 警告

このアラートはあくまで情報を提供するための機能であり、天候の変化を追跡するための主要な情報源として使用することを意図していません。特に過酷な天候下では、気象予報や気象条件を確認して、周囲の状況に注意し安全な判断を行うことはユーザー自身の責任です。この警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[通知とアラート]** > **[システムアラート]** > **[気圧計]** > **[ストームアラート]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[ステータス]** アラートのオン / オフを設定します。
 - ・ **[レート]** ストームアラートが作動する気圧の変化量を変更します。

スマートフォン接続アラートをオン / オフにする

デバイスとペアリング済みのスマートフォンとの Bluetooth 接続 / 切断時に、アラートでお知らせします。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]** > **[通知とアラート]** > **[システムアラート]** > **[スマートフォン]** の順に選択します。

音 / バイブの設定

ウォッチフェイスページで  を押し、**【設定】**>**【音 / バイブ】**の順に選択します。集中モードで、睡眠中やアクティビティ中などの使用シーンごとに設定をカスタマイズできます。(101 ページ [集中モード](#))

【消音モード】：すべてのサウンドをオフにします。

【アラート音量】：スライダーバーを使用して、アラートの音量を調整します。

【アラート音】：アラートの音のオン / オフを設定します。

【キー音】：キー押下時の音のオン / オフを設定します。

【バイブレーション】：アラート作動時やキー押下時のバイブレーションのオン / オフを設定します。

ディスプレイと輝度の設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[ディスプレイと輝度]**の順に選択します。

[輝度]：ディスプレイの輝度を設定します。

[常に表示]：タイムアウト設定時間経過後も、ディスプレイの輝度と背景を暗くしてウォッチフェイスのデータ(秒や日付などの一部データを除く)を表示します。このオプションをオンにすると、バッテリーの消費が早まります。また、ディスプレイ寿命に影響する場合があります。(122 ページ [AMOLED ディスプレイについて](#))

[文字サイズ]：ディスプレイの表示テキストのサイズを調節します。

[カラーシフト]：暗所での視認性の向上や目の疲れの軽減のためにディスプレイを赤色 / 緑色 / オレンジで表現するモードをオン / オフします。**[モード]>[ブルーライトフィルタ]**を選択するとデバイスから発せられるブルーライトの量を減らすことができます。**[スケジュール]**では適用を開始するタイミング(就寝の2時間前など)を設定します。

[アラートでオン]：通知またはアラート受信時のディスプレイ点灯をオン / オフします。

[ジェスチャーでオン]：腕を上げて時計を見る動作(ジェスチャー)をしたときのディスプレイ点灯をオン / オフします。

[タイムアウト]：ディスプレイの点灯時間を設定します。

[タッチロック]：誤操作を防ぐためにタッチスクリーンをロックします。タッチロックを解除するには、画面の上端から下に**スワイプ**します。

健康&ウェルネス

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[健康&ウェルネス]**の順に選択します。

[光学式心拍計]：光学式心拍計の設定を行います。(78 ページ [光学式心拍計設定](#))

[血中酸素トラッキング]：血中酸素トラッキングのモードを設定します。(79 ページ [血中酸素トラッキングのモードを設定する](#))

[Move IQ]：Move IQ のオン/オフを設定します。Move IQ とは、デバイスを装着している間の動作がアクティビティの一般的な動作パターンと一致したときに、イベントを自動検出して Garmin Connect アカウントのタイムラインに表示する機能です。Move IQ イベントは、活動の期間とアクティビティタイプがタイムラインに表示されますが、アクティビティの一覧やニュースフィードには表示されません。より詳細で正確な記録が必要な場合は、デバイスでタイマーを計測したアクティビティを記録してください。

光学式心拍計

デバイスは内蔵の光学式心拍計または別売のハートレートセンサーで心拍数を計測、記録することができます。心拍データは、心拍ウィジェットやアクティビティ中のトレーニングページで確認します。(43 ページ [ウィジェットを確認する](#))

内蔵の光学式心拍計とハートレートセンサーのどちらも計測が有効な場合は、ハートレートセンサーで計測したデータが優先されます。

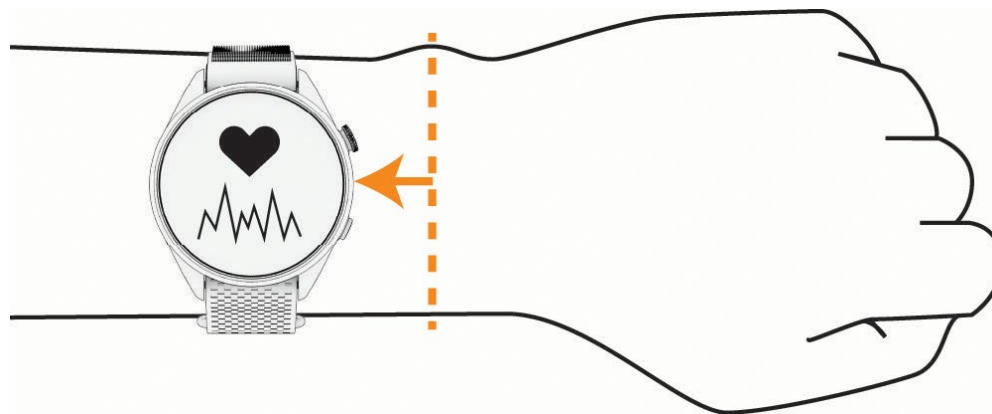
デバイスを装着する

△注意

デバイスを長期間装着すると、特に敏感肌やアレルギーをお持ちの方は、皮膚に炎症やかぶれが生じることがあります。皮膚に炎症やかぶれが生じた場合には、症状が改善するまでデバイスを取り外してください。皮膚の炎症やかぶれを防ぐため、デバイスを常に清潔で乾燥した状態に保ってください。腕に装着する際は、デバイスを手首に締め付けすぎないようにしてください。詳しくは [Garmin.com/fitandcare](https://www.garmin.com/fitandcare) をご参照ください。

- 手の甲側、尺骨の突起にかからない位置に装着します。

注意：運動中に本体がずれないようにぴったりと、きつすぎない程度にバンドを調整します。血中酸素レベルを測定するときは、動かないでください。



ヒント：デバイスの裏面に光学式センサーが搭載されています。

- 光学式心拍計について、詳しくは [77 ページ 心拍データが不規則な値を示す場合の対処法](#)をご参照ください。
- 血中酸素レベルの測定について、詳しくは [80 ページ 血中酸素レベルが不規則な値を示す場合](#)をご参照ください。
- 測定精度について、詳しくは [Garmin.com/ataccuracy](https://www.garmin.com/ataccuracy) をご参照ください。
- デバイスの装着とお手入れについて、詳しくは [Garmin.com/fitandcare](https://www.garmin.com/fitandcare) をご参照ください。

心拍データが不規則な値を示す場合の対処法

注意：心拍数データが不安定な場合や表示されない場合は、次のヒントをお試しください。心拍計の詳細については、[Garmin.com/hearttrate](https://www.garmin.com/hearttrate) を参照してください。

- デバイス装着面の皮膚の汚れや汗などの水分を、よく拭き取ってください。
- デバイス装着面の皮膚に日焼け止めクリームやローション、虫よけスプレー等を塗布しないでください。
- 光学式心拍計のセンサー部分を傷つけないでください。

- デバイスは、手の甲側の尺骨の突起にかからない位置に、バンドがきつすぎない程度にしっかりと装着してください。
- アクティビティ開始前に 5 ～ 10 分程度のウォームアップを行ってください。
ヒント：気温の低い環境でアクティビティを行う場合は、屋内でウォームアップを行ってください。
- アクティビティの後には、デバイスを真水ですすいでよく乾かしてください。デバイスに汗が付着したまま放置しないでください。

光学式心拍計設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】>【健康&ウェルネス】>【光学式心拍計】**の順に選択します。

【ステータス】：光学式心拍計の自動(オン)/ オフを設定します。デフォルトの設定では**【自動】**に設定されています。ハートレートセンサーなどの外部心拍センサーが接続されているときは、外部心拍センサーのデータが優先されます。

注意：光学式心拍計をオフに設定すると、血中酸素トラッキングはウィジェットからの手動計測のみ有効になります。

【ソース切り替え】：心拍データのソースを光学式心拍計または接続中のハートレートセンサー(別売)のいずれかの精度の良い方に自動的に切り替えます。詳しくは www.garmin.com/dynamicsourceswitching/ をご参照ください。

【心拍転送モード】：ペアリング済みのデバイスに心拍データの転送を開始します。(78 ページ [心拍転送モード](#))

心拍転送モード

デバイスで計測した心拍データをペアリング済みのデバイスに送信する場合は、心拍転送モードを利用します。心拍転送モードは、バッテリーを多く消費します。

ヒント：アクティビティ設定でアクティビティの開始と同時に心拍転送モードを開始するように設定できます(35 ページ [アクティビティ設定](#))。例えば、サイクリングアクティビティ中に Edge デバイスに心拍データを転送できます。

1 次のオプションを選択します。

-  を押して、**【設定】>【健康&ウェルネス】>【光学式心拍計】>【心拍転送モード】**の順に選択します。
-  を長押しして、コントロールメニューから  を選択します。

注意：コントロールメニューにオプションを追加できます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

2  を押します。

心拍データの転送が開始します。

3 デバイスと対応するデバイスをペアリングします。

注意：デバイスによりペアリング方法が異なります。詳しくは各デバイスの操作マニュアルをご参照ください。

4  を押して心拍転送モードを終了します。

血中酸素トラッキング

⚠警告

Garmin デバイスと血中酸素トラッキング機能は、自己診断または医師への相談をはじめとする医学的な使用を意図するものではなく、疾病の治療、診断、予防を目的とした医療機器ではありません。

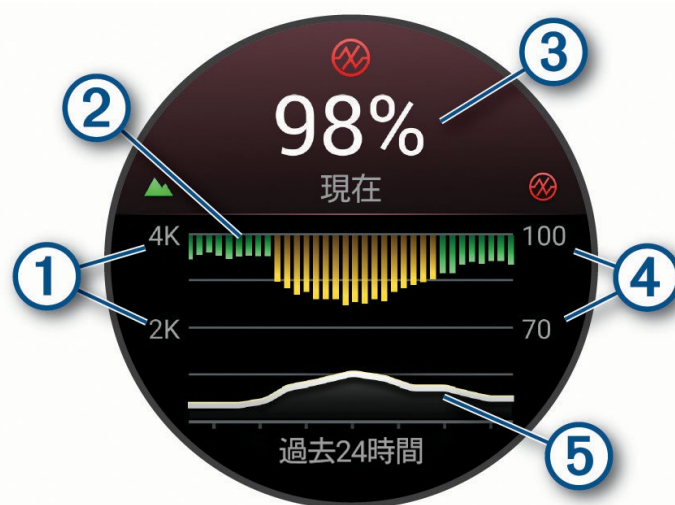
血中酸素トラッキング機能に使用される LED センサーは、赤色光や赤外光を発します。光感受性てんかんの方や光線過敏症の方がご使用になる場合はご注意ください。

血中酸素トラッキング機能で、血液中に取り込まれた酸素のレベルを測定することができます。高地での活動に参加する場合、血中酸素レベルは身体の順応状態の参考となり、高度の変化に伴う血中酸素レベルの増減を追跡するのに役立ちます。また、普段の生活のなかで身体的パフォーマンスに関する洞察を得ることができ、個人の健康の長期的な傾向を追跡するのに役立ちます。

血中酸素ウィジェットを表示して、いつでもオンデマンドで血中酸素レベルの測定を開始することができます。(79 ページ [ウィジェットで血中酸素レベルを確認する](#))

血中酸素トラッキングの終日モードをオンにして、一日を通して血中酸素レベルをモニターすることができます。終日モードをオンにすると、ユーザーが安静にしているときにデバイスが自動で血中酸素レベルと高度を記録します。これにより、高度の変化に伴う血中酸素レベルの推移がわかります。

デバイスでは、血中酸素レベルはパーセンテージ(%)で表示されます。デバイスのデータを Garmin Connect アカウントに同期すると、Garmin Connect や Garmin Connect アプリで、より詳細なデータを確認することができます。デバイスのトラッキングとフィットネス測定 of 精度について、詳しくは Garmin.com/ja-JP/legal/atdisclaimer/ をご参照ください。



①	高度グラフの目盛り (単位: m または ft)
②	過去 24 時間の平均血中酸素レベルのグラフ (1 時間ごとの平均値)
③	血中酸素レベルの最新の測定値
④	平均血中酸素レベルのグラフの目盛り (単位: %)
⑤	過去 24 時間の高度グラフ

ウィジェットで血中酸素レベルを確認する

血中酸素トラッキングウィジェットを表示して、血中酸素レベルの測定を開始することができます。血中酸素トラッキングウィジェットでは、血中酸素レベルの最新の測定値と、過去 24 時間の平均血中酸素レベルと高度のグラフが表示されます。

注意：初めて血中酸素トラッキングウィジェットを表示したときは、現在地の高度を記録するために、デバイスで GPS を受信する必要があります。上空の開けた屋外で静止して、GPS の受信を完了してください。

1 安静にした状態で、ウォッチフェイスページから画面を上へスワイプします。

2 血中酸素ウィジェットまでスクロールします。

3 血中酸素ウィジェットを選択します。

血中酸素レベルの測定が開始されます。

4 安静にしたまま、測定が完了するまで 30 秒程度待ちます。

注意：測定中は体を大きく動かさないでください。測定結果が得られず、エラーメッセージが表示されます。再試行するときは、数分間体を安静にしてから測定してください。測定精度を高めるには、デバイスを正しく装着して、測定中は腕を心臓の高さまで上げて静止します。

5 血中酸素トラッキングウィジェット表示中に画面を下へスクロールすると、過去 7 日間の血中酸素レベルのグラフが表示されます。

血中酸素トラッキングのモードを設定する

1 ウォッチフェイスページで画面を左へスワイプします。

2 **[設定] > [健康&ウェルネス] > [血中酸素トラッキング]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[終日]** ユーザーが安静にしているときにデバイスが自動で血中酸素レベルを記録します。

注意：終日モードをオンにすると、バッテリーを多く消費します。

- ・ **[睡眠中]** 睡眠中に連続して血中酸素レベルをモニターします。

注意：睡眠中に腕が体の下敷きになっていたり、血流に支障をきたすような姿勢になっていると、測定値が実際の値よりも低く表示されることがあります。

- ・ **[手動]** 血中酸素トラッキングの自動測定をオフにします。

血中酸素レベルが不規則な値を示す場合

血中酸素レベルの測定値が不規則な値を示したり、測定できない場合には、次のことをご確認ください。

- 測定中は、体を動かさないでください。
- デバイスは、手の甲側の尺骨の突起にかからない位置に、バンドがきつすぎない程度にしっかりと装着してください。
- 測定中は、腕を心臓の高さまで上げて静止してください。
- デバイスはシリコンバンドやナイロンバンドで装着してください。
- デバイス装着面の皮膚の汚れや汗などの水分を、よく拭き取ってください。
- デバイス装着面の皮膚に日焼け止めクリームやローション、虫よけスプレー等を塗布しないでください。
- 血中酸素トラッキングの LED センサーを傷つけないでください。
- アクティビティの後には、デバイスを真水ですすいでよく乾かしてください。デバイスに汗が付着したまま放置しないでください。

自動ゴール

一日の目標ステップ数は、前日のステップ数などのアクティビティレベルにより自動で設定されます。

自動ゴール機能を利用せず、毎日一定の目標ステップ数にしたい場合は、Garmin Connect アカウントで設定することができます。

週間運動量

世界保健機関などによると、一週間に 150 分以上のウォーキングなどの運動(ランニングなどの強度が高い運動であれば、一週間に 75 分以上)を行うことが健康増進に効果的とされています。

デバイスを装着中の運動強度をモニタリングして、中強度から高強度の運動量を行った時間を測定します。(高強度の運動を検出するには、心拍データが必要です。)中強度と高強度の運動量は合計して記録されます。高強度の運動を行った場合は、一分間あたり中強度の運動の 2 分間分として運動量に加算されます。

週間運動量を加算するには

デバイスは現在の心拍数と安静時心拍数を比較することで運動量の計測を行っています。心拍データが利用できない場合は、一分間あたりの歩数から中強度の運動量を算出しています。

- 運動量をより正確に計測するには、タイマーを利用したアクティビティを開始してください。
- 正確な安静時心拍数の計測のために、デバイスを就寝中も含め一日中装着してください。

睡眠トラッキング

デバイスを装着したまま就寝すると、あらかじめ設定した就寝・起床時刻に基づいて、自動で睡眠時間と睡眠中の動きを記録します。通常就寝・起床時刻は、Garmin Connect アプリまたはデバイスで設定します。睡眠データには、総睡眠時間、睡眠段階、睡眠中の動き、睡眠スコアが記録されます。睡眠コーチ機能では、睡眠やアクティビティの履歴、体内リズム、HRV ステータス、お昼寝に基づいて算出された推奨睡眠時間を確認できます(41 ページ ウィジェット)。お昼寝は睡眠の統計に加算され、リカバリータイムにも影響します。Garmin Connect アカウントで詳細な睡眠データを確認できます。

注意：サイレントモードを使用すると、アラームを除く通知やアラートがオフになります。(49 ページ サイレントモードを使用する)

自動睡眠トラッキングを使用する

- 1 デバイスを装着して就寝します。
- 2 Garmin Connect アカウントに睡眠トラッキングデータをアップロードします(98 ページ [Garmin Connect アプリを利用する](#))。

Garmin Connect アカウントで睡眠データを確認できます。

デバイスでは、昼寝を含む睡眠データを表示できます。(41 ページ ウィジェット)

地図

デバイスでは、地形の等高線、周辺の POI、スキーマップ、ゴルフコースなど、さまざまな種類の Garmin 地図データを表示できます。地図管理を使用して、追加の地図をダウンロードしたり、地図の保存領域を管理したりできます。対応する地図については Garmin.com/maps をご参照ください。

地図上の  は現在地を示します。ナビゲーション実行中は、地図上にルートが表示されます。

地図を確認する

- 次のいずれかのオプションを選択して地図を開きます。
 - アクティビティを開始せずに地図を開くには、 を押して **[地図]** を選択します。
 - 屋外に出て、GPS が有効なアクティビティを開始します (22 ページ [アクティビティを開始する](#))。トレーニングページをスクロールして、地図ページを表示します。
- 必要の場合は衛星の捕捉を完了します。
- 次のオプションを選択します。
 - タッチスクリーンで操作するには、一度地図ページを **タップ** してから、**タップ** またはドラッグで地図上のマップポインターを操作します。
 - 地図を拡大 / 縮小するには、地図の右端で指を上または下にスライドさせます。
 - 地図を終了するには、**✕** を選択します。

地図上の地点を保存してナビゲーションする

地図上の地点を選択して、ポイントとして保存したり、地点までのナビゲーションを開始できます。

- 地図ページを表示して、次のオプションを選択します。
 - タッチスクリーンで操作するには、一度地図ページを **タップ** してから、**タップ** またはドラッグで地図上のマップポインターを操作します。
 - 地図を拡大 / 縮小するには、地図の右端で指を上または下にスライドさせます。
- 地図上の地点または画面下部に表示されている座標を **タップ** して、任意の地点にマップポインターを合わせます。
- 選択候補が複数ある場合、任意の地点を選択します。
- 次のオプションを選択します。
 - [開始]** 選択した地点へのナビゲーションを開始します。
 - [ポイント登録]** 選択した地点をポイントとして保存します。
 - [確認]** 選択した地点の情報を確認します。

地図上で現在地を追跡する

地図上で現在地を確認したり、アクティビティを開始して現在地を追跡できます。

- ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- [地図]** を選択します。
-  を押します。
- [トラッキング開始]** を選択します。
アクティビティのタイマーが開始します。現在地と軌跡が地図上に表示されます。
- アクティビティのタイマーを停止するには、 を押して **[トラッキング停止]** を選択します。 (22 ページ [アクティビティを終了する](#))

地図設定

地図アプリとアクティビティの地図ページの表示をカスタマイズします。

注意：必要に応じて、アクティビティごとに地図設定をカスタマイズできます。 (35 ページ [アクティビティ設定](#))

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[地図とナビゲーション]** の順に選択します。

[地図管理]：ダウンロード済みの地図データのバージョンを表示します。追加の地図データをダウンロードします。
(82 ページ [地図管理](#))

[ダークモード]：地図を白背景(オフ)または黒背景(オン)で表示します。**[自動]** を選択すると現在の時刻に合わせ

て自動で切り替えます。

【海洋地図の設定】: 海洋データを表示する際に海図表示を有効にします。チャート記号情報の表示方法を選択します。
(82 ページ [マリン地図設定](#))

【ハイコントラスト】: 地図のコントラストが高くなります。

【地図表示】: 地図の表示方向を選択します。**【ノースアップ】**は、常に北を地図画面の上方に表示します。**【トラックアップ】**は、進行方向を常に地図画面の上方に表示します。

【自動ズーム】: 地図の表示を最適な縮尺に自動調整します。オフに設定すると、縮尺は手動でのみ調整できます。

【マップマッチ】: 至近道路に現在地を位置づけます。道路上を移動する場合はオン、登山などの場合はオフに設定します。

【詳細度】: 地図の表示の詳細度を選択します。詳細度を高く設定すると表示される情報量は増えますが、地図の描画に時間がかかります。

マリン地図設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】** > **【地図とナビゲーション】** > **【海洋地図の設定】** の順に選択します。

【マリンチャートモード】: 海洋データを表示する際に海図表示を有効にします。このモードは、地図の要素が異なるカラーで見やすく表示され、紙の海図の作図方法を反映した表示モードです。

【記号設定】: チャート記号情報の表示方法を選択します。

地図管理

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **【設定】** > **【地図とナビゲーション】** > **【地図管理】** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **【Outdoor Maps+】** デバイスの Outdoor Maps+ サブスクリプションを有効化してプレミアム地図をダウンロードします。
(82 ページ [Outdoor Maps+ の地図をダウンロードする](#))
- ・ **【TopoActive 地図】** TopoActive 地図をダウンロードします。(83 ページ [TopoActive 地図をダウンロードする](#))
- ・ **【ゴルフ用地図】** プリインストールされているゴルフコースの情報を確認したり、航空写真をダウンロードできます
(83 ページ [ゴルフマップを管理する](#))。

Outdoor Maps+ の地図をダウンロードする

デバイスに地図をダウンロードするには、Wi-Fi® ネットワークに接続する必要があります。(96 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **【設定】** > **【地図とナビゲーション】** > **【地図管理】** > **【Outdoor Maps+】** の順に選択します。

3 必要な場合は、 を押して **【サブスクリプションを確認】** を選択して、デバイスの Outdoor Maps+ のサブスクリプションを有効化します。

注意: サブスクリプションの購入について、詳しくは [Garmin.com/outdoormaps](https://garmin.com/outdoormaps) をご参照ください。

4 **【地図の追加】** を選択して地域を選択します。地図のエリアがプレビュー表示されます。

5 地図上で次のいずれかまたは複数の操作を行います。

- ・ 地図をドラッグしてエリアをスクロールします。
- ・ タッチスクリーンを二本指でピンチイン/ピンチアウトして、地図をズームイン/ズームアウトします。
- ・  または  を選択して、地図をズームイン/ズームアウトします。

6  を押して、 を選択します。

7  を選択します。

8 次のオプションを選択します。

- ・ **【名前】** 地図の名前を編集します。
- ・ **【レイヤー】** ダウンロードする地図のレイヤーを変更します。
ヒント:  を選択して地図レイヤーの詳細を確認できます。
- ・ **【選択されたエリア】** 地図の地域を変更します。

9  を選択して地図をダウンロードします。

注意: 地図データのダウンロードは、デバイスを充電ケーブルに接続して充電すると開始されます。

TopoActive 地図をダウンロードする

デバイスに地図をダウンロードするには、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。(96 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[地図とナビゲーション]** > **[地図管理]** > **[TopoActive 地図]** > **[地図の追加]** の順に選択します。
- 3 地図を選択します。
- 4  を押して、**[ダウンロード]** を選択します。

注意：地図データのダウンロードは、デバイスを充電ケーブルに接続して充電すると開始されます。

ゴルフマップを管理する

ゴルフマップをダウンロードするには、事前にワイヤレスネットワークへ接続しておく必要があります。(96 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[地図とナビゲーション]** > **[地図管理]** > **[ゴルフ用地図]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ デバイスにプリインストールされているコースの情報を確認するには、**[プリインストールのコース]** を選択します。
 - ・ 特定のコースの航空写真をダウンロードするには、**[航空写真をダウンロードする]** を選択します。

注意：この機能を利用するには、Garmin Golf のサブスクリプションが必要です。(97 ページ [Garmin Golf アプリ](#))

地図を削除する

地図を削除してデバイスの空き容量を増やすことができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[地図とナビゲーション]** > **[地図管理]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[TopoActive 地図]** を選択して、地図を選択 >  を押す > **[削除]** の順に選択します。
 - ・ **[Outdoor Maps+]** を選択して、地図を選択 >  を押す > **[削除]** の順に選択します。

地図データを表示 / 非表示する

アクティビティタイプごとに地図ページに表示する地図データを選択して、最適な地図情報を表示することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[地図]** を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **[地図レイヤー]** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **[アクティビティのテーマ]** アクティビティタイプごとの地図データをカスタマイズします。アクティビティタイプを選択して地図データ設定を変更すると、選択したアクティビティのテーマに保存されます。
 - ・ **[地図タイプ]** 表示するインストール済みの地図を選択します。
 - ・ その他の地図データ設定は、各設定の **[ステータス]** をオンにして設定を有効にします。
ヒント：**[すべてのアクティビティに適用]** のオプションを選択すると、すべてのアクティビティテーマに設定が適用されます。
 - ・ **[さらに地図を取得]** 地図管理を開いて、ダウンロード済みの地図のバージョンを確認したり、追加の地図をダウンロードします。(82 ページ [地図管理](#))

ナビゲーション

目的地へナビゲーションする

目的地までのナビゲーションまたはコースに沿ったナビゲーションを実行します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【地図】**を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **【ナビゲーション】**を選択します。
- 5 カテゴリーを選択します。
- 6 画面の表示に従って目的地を選択します。ナビゲーション情報が表示されます。
- 7  を選択します。
- 8  を押してナビゲーションを開始します。

周辺の POI を検索してナビゲーションする

デバイスにインストール済みの地図データに含まれる POI データを検索してナビゲーションを開始します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【地図】**を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **【ナビゲーション】** > **【周辺を探索】** の順に選択します。
現在地周辺の POI の一覧が表示されます。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ カテゴリーを選択します。必要に応じて、さらにオプションを選択します。
 - ・  を選択してキーボードを開きます。地点の名称を入力します。
- 6 検索結果から POI を選択します。
- 7  を選択します。
- 8 コースナビゲーションに使用するアクティビティを選択します。ナビゲーション情報が表示されます。
- 9  を押してナビゲーションを開始します。

現在のアクティビティのスタート地点へナビゲーションする

現在のアクティビティのスタート地点へ、ルート(または直行)ナビゲーションまたは軌跡に沿って戻るナビゲーションを実行します。GPS を使用しているアクティビティのみ有効です。

- 1 アクティビティ実行中に、 を押します。
- 2 **【スタート地点】**を選択して、次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ 軌跡を辿ってスタート地点に戻るナビゲーションを開始するには、**【TracBack】**を選択します。
 - ・ デバイスにルーティング可能な地図データがない場合、またはルーティング設定のアクティビティが直行の場合は、**【ルート】**を選択すると現在地からアクティビティのスタート地点までの直行のナビゲーションが開始します。
 - ・ 直行以外のルーティング設定の場合は、**【ルート】**を選択すると、ターンバイターン方式のルートでアクティビティのスタート地点に戻るナビゲーションが開始します。



ユーザーの現在地①とルート②が地図上に表示されます。

ナビゲーションを中止する

- 1 アクティビティでナビゲーションを実行中に、画面を右にスワイプします。
- 2 目的地名称が表示されているオプションを選択します。
- 3  を押します。
- 4 **【ナビゲーション中止】**を選択します。

目的地へのナビゲーションが中止されます。ナビゲーションを中止しても、アクティビティのタイマー計測は継続しています。 を押してアクティビティのタイマーに戻れます。

ポイント

ポイントを保存する

現在地をポイントとして保存することができます。保存したポイントは、**【保存済み】**アプリで確認できます。

注意：コントロールメニューにオプションを追加できます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

- 1  を長押しします。
- 2  を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

デュアルグリッド位置を保存する

現在地をポイントとして保存して後からナビゲーションに利用できます。

- 1 ショートカット設定で、デュアルグリッド位置を任意のショートカットに設定します。(116 ページ [ショートカット設定をカスタマイズする](#))
- 2 設定したショートカットキー操作を行います。
- 3 衛星信号の受信完了を待ちます。
- 4  を押してポイントを保存します。
ポイント情報を編集できます。

Garmin Connect アプリでマップ上の地点を共有する

注意

位置情報を他のユーザーに共有する際は、ご自身の判断と責任で行ってください。位置情報の共有相手をよく確認してください。

注意：この機能を利用するには、コース機能に対応する Garmin デバイスと iPhone® デバイスを Bluetooth 接続する必要があります。

Apple® のマップアプリから対応する Garmin デバイスに位置情報およびデータを共有することができます。

- 1 Apple のマップアプリで任意の地点を選択します。
- 2  >  の順に選択します。
- 3 必要な場合は、Garmin Connect アプリで共有先の Garmin デバイスを選択します。
Garmin デバイスに地点が共有されると、Garmin Connect アプリにメッセージが表示されます。(86 ページ [共有された地点へのナビゲーションを開始する](#))

共有された地点へのナビゲーションを開始する

Apple® のマップアプリからデバイスに共有された地点へのナビゲーションを開始します。(85 ページ [Garmin Connect アプリでマップ上の地点を共有する](#))

- 1 デバイスで共有された地点を受信したら、 を選択します。
デバイスに共有された地点の情報が表示されます。
ヒント：共有された地点は【保存済み】アプリに保存されます。
- 2  を選択して、任意のアクティビティを選択します。
- 3 画面に表示される案内に従って目的地に進みます。

アクティビティ中に共有された地点へのナビゲーションを開始する

この機能は GPS を利用した屋外アクティビティ向けの機能です。GPS がオフのアクティビティ実行中に共有された地点は、後から確認できます。

ヒント：共有された地点は【保存済み】アプリに保存されます。

アクティビティ中にデバイスに共有された地点へのナビゲーションを開始することができます。(85 ページ [Garmin Connect アプリでマップ上の地点を共有する](#))

- 1 GPS アクティビティを実行中に地点の共有通知が表示されたら、 を選択して地点へのナビゲーションを開始します。
- 2 画面に表示される案内に従って目的地に進みます。

コース

⚠警告

この機能により、ユーザーは他のユーザーが作成したコースをダウンロードすることができます。Garmin は、第三者が作成したコースの安全性、正確性、信頼性、完全性、または適時性について、いかなる表明も行いません。第三者が作成したコースを使用したり、情報源として信頼する際は、ユーザーの自己責任で行ってください。

Garmin Connect アカウントからデバイスにコースを転送できます。デバイスに保存済みのコースを使ってナビゲーションを実行できます。

決まったルートを経路として作成しておく、通勤時などに利用できます。また、コース走破のタイムと競いながらトレーニングすることができます。

Garmin Connect でコースを作成する

Garmin Connect アプリでコースを作成するには、Garmin Connect アカウントでサインインしてください。(97 ページ [Garmin Connect](#))

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 【トレーニングと計画】>【コース】>【コースを作成】の順に選択します。
- 3 コースのタイプを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。
- 5 【完了】を選択します。
注意：作成したコースはデバイスに転送できます。(86 ページ [コースをデバイスに転送する](#))

コースをデバイスに転送する

Garmin Connect アプリで作成したコースをデバイスに転送できます。(86 ページ [Garmin Connect でコースを作成する](#))

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 【トレーニングと計画】>【コース】の順に選択します。

- 3 コースを選択します。
- 4  を選択します。
- 5 デバイスを選択します。
- 6 画面に表示される指示に従って操作します。

デバイスでコースを作成して実行する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[地図]** を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **[ナビゲーション]** > **[コースの作成]** の順に選択します。
- 5 キーボードで名前を入力します。
- 6 画面に表示される指示に従ってポイントを追加します。
- 7 **[完了]** を選択してコースを保存します。
ナビゲーション情報が表示されます。
- 8  を選択します。

ラウンドトリップコースを作成する

距離と進行方位を指定して、一周でスタート地点に戻るコースを作成します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[地図]** を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **[ナビ]** > **[ラウンドトリップコース]** の順に選択します。
- 5 コースナビゲーションに使用するアクティビティを選択します。
- 6 距離を選択します。
- 7 進行方位を選択します。
最大3つのコースが作成されます。画面を左に**スワイプ**するとコースを切り替えられます。
- 8 コースを選択します。
- 9 **[その他]** を選択します。
- 10 次のオプションを選択します。
 - ・ **[開始]** コースナビゲーションを開始します。
 - ・ **[地図]** 地図上でコースを確認します。
 - ・ **[ターンバイターン]** コースの転換点を確認します。
 - ・ **[高度]** コースの高度グラフを確認します。
 - ・ **[保存]** 作成したコースを保存します。
 - ・ **[クライム確認]** コースのクライム区間を確認します。

サイトナビ

設定した方向に向かうナビゲーションを行います。目視はできても正確な位置や距離が分からない地点に向かいたい場合に役立つ機能です。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[地図]** を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **[ナビ]** > **[サイトナビ]** の順に選択します。
- 5 デバイスの上部を目標物に向けて  を押します。
ナビゲーション情報が表示され、トラッキングが開始されます。

コンパスの方位を固定する

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ウォッチフェイスページで画面をスクロールし、コンパスウィジェットを開きます。

- ・ウォッチフェイスページからウィジェット一覧にスクロールし、ABC ウィジェットを開きます。スクロールしてコンパスを表示します。
- ・ を長押しして、コントロールメニューから **【コンパス】** を選択します。
- ・ を長押ししてコントロールメニューから **【ABC】** を開き、**スワイプ**してコンパスを表示します。

2 画面を左に**スワイプ**してオプションを表示します。

3 **【方位固定】**を選択します。

4 デバイスの 12 時の方向を進行方位に向け、 を押します。

設定した方位と進行方位の方位差が表示されます。

基準点を設定する

基準となる地点を設定して、その地点からの距離と方位の偏差を参照します。

1 次のオプションを選択します。

- ・ を長押しします。

ヒント：アクティビティ実行中でもこの操作を実行できます。

- ・ウォッチフェイスページで  を押します。

2 **【基準点】**を選択します。

3 衛星信号の受信完了を待ちます。

4  を押して、**【ポイント追加】**を選択します。

5 基準点ナビゲーションに使用する任意の地点または任意の方位を選択します。
目的地を示すコンパスの矢印と距離が表示されます。

6 デバイスの 12 時の方向を進行方向に合わせます。
設定した方位と進行方位の方位差が表示されます。

7 基準点を変更するには、 を押して **【ポイントを変更】**を選択します。

ポイント投影

現在地から距離と方位を指定して新規ポイントを登録します。

注意：必要な場合は、**【ポイント投影】**アプリをアクティビティ & アプリの一覧に追加してください。

1 ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。

2 **【ポイント投影】**を選択します。

3 画面を上または下に**スワイプ**して方位を設定します。

4  を押します。

5 画面を上**スワイプ**して距離の単位を選択します。

6 画面を下**スワイプ**して距離を設定します。

7  を押します。

投影したポイントがデフォルト名で保存されます。

ワイヤレス接続

スマートフォンとデバイスをペアリングしたり(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))、デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続することで(96 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))、ワイヤレス連携機能が利用できます。

センサーとアクセサリ

デバイスには複数の内蔵センサーが搭載されています。また、別売のワイヤレスセンサーをペアリングして使用することもできます。

ワイヤレスセンサー

デバイスは別売の ANT+ センサーまたは Bluetooth センサーをペアリングして使用することができます(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))。ペアリングしたセンサーのデータは、トレーニングページのデータ項目に表示することができます(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))。デバイスに標準付属のセンサーは、あらかじめデバイスにペアリングされています。

デバイスに対応するワイヤレスセンサーについて、詳しくは Garmin.co.jp をご参照ください。

センサータイプ	説明
Approach CT10	Approach クラブトラッキングセンサーとペアリングします。ショットの位置情報や飛距離、使用したクラブが自動で記録されます。
e- バイク	ライド中のバッテリーや航続可能距離などの e- バイクのデータを表示できます。
拡張ディスプレイ	デバイスのトレーニングページに対応する Edge デバイスのディスプレイに表示することができます。
心拍	HRM 200 や HRM 600、HRM-Pro シリーズ、HRM-Fit などのハートレートセンサーとペアリングします。一部の心拍計は、心拍計にデータを保存したり、ランニングデータ計測機能を利用できます。(90 ページ ランニングダイナミクス) (91 ページ ランニングパワー)
フットポッド	フットポッドとペアリングします。GPS が受信できない環境でもペースと距離を計測できます。
イヤホン	Bluetooth イヤホンとペアリングします。デバイスに保存した音楽をイヤホンで再生できます。
inReach	inReach 衛星コミュニケーターとペアリングします。inReach リモート機能を利用できます。(92 ページ inReach リモートを使用する)
ライト	Varia スマートバイクライトとペアリングします。Varia ヘッドライトカメラとペアリングして、ライド中にカメラをコントロールできます。(92 ページ Varia デバイスのカメラ機能を使用する)
パワー	Rally、Vector などのペダル型パワー計とペアリングします。パワーデータを計測できます。目標や能力に応じてパワーゾーンをカスタマイズしたり(103 ページ パワーゾーンを設定する)、特定の範囲のパワーゾーンに達したときにお知らせするアラート機能を使用できます。(38 ページ アラートを設定する)
レーダー	Varia リアビューレーダーとペアリングして、後方車両の接近レベルを確認できます。カメラ機能付きの Varia リアビューレーダーとペアリングすると、カメラをリモート操作できます。(92 ページ Varia デバイスのカメラ機能を使用する)
距離計	互換性のあるレーザー距離計とペアリングします。距離計で計測した距離をデバイスに表示できます。
ランニングダイナミクスポッド (RD ポッド)	ランニングダイナミクスポッドとペアリングします。ランニングダイナミクス機能を利用できます。(90 ページ ランニングダイナミクス)
シフトセンサー	電動シフター (Shimano Di2™ 電動シフターを除く)とペアリングします。ライド中のシフティング情報を表示できます。
Shimano Di2	Shimano Di2 電動シフターとペアリングできます。ライド中のシフティング情報を表示できます。
スマートトレーナー	屋内バイクスマートトレーナーとペアリングします。コースやライド、ワークアウトを使用して負荷をシミュレーションできます。(26 ページ 屋内トレーナーを使用する)
スピード / ケイデンス	スピードセンサー、ケイデンスセンサーとペアリングします。スピードとケイデンスを計測できます。タイヤ周長を手動で入力できます。(129 ページ タイヤサイズと周長)
tempe	tempe ワイヤレス温度センサーとペアリングします。センサーが空気にさらされるようにストラップなどで取り付けることで、より正確な気温を計測できます。

ワイヤレスセンサーをペアリングする

初めてワイヤレスセンサーをデバイスで使用するときは、ANT+ 接続または Bluetooth 接続でセンサーをペアリングする必要があります。ペアリングが完了すると、アクティビティを開始するときにセンサーがアクティブで接続範囲内にあれば、デバイスに自動接続されます。センサーの接続タイプについて、詳しくは [Garmin.com/hrm_connection_types](https://garmin.com/hrm_connection_types) をご参照ください。

- 1 センサーを装着するか、センサー本体のボタンを押して起動します。

注意：ペアリング方法については、ワイヤレスセンサーの操作マニュアルをご参照ください。

- 2 デバイスとセンサーの距離を 3m(10ft)以内に近づけます。

注意：ペアリング中は、その他のワイヤレスセンサーから 10m(33ft)以上離れてください。

- 3 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

- 4 **[設定]>[ワイヤレス接続]>[センサー]>[追加]**の順に選択します。

- 5 次のオプションを選択します。

- ・ **[すべて検索]**を選択します。
- ・ センサータイプを選択します。

センサーとデバイスがペアリングされると、センサーのステータスが検索中から接続済みになります。トレーニングページのデータ項目上にセンサーのデータが表示されます。(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))

クラブトラッキングセンサー

このデバイスは Approach クラブトラッキングセンサーに対応しています。クラブトラッキングセンサーをペアリングすると、ショットデータとして位置情報や飛距離、使用したクラブを記録できます。詳しくは、クラブトラッキングセンサーの操作マニュアルをご参照ください。

ハートレートセンサーのランニングペースと距離

HRM 600、HRM-Fit、HRM-Pro シリーズのアクセサリは、ユーザープロフィールとセンサーで検出したストライドごとのモーションを基にランニングペースと距離を算出することができます。ハートレートセンサーを使用することで、トレッドミル上でのランニング時などに、GPS が利用できなくてもペースと距離を計測できます。ANT+ 接続またはセキュリティ保護された Bluetooth 接続でセンサーと接続中に対応する Approach S72 デバイスでランニングペースと距離を表示できます。サードパーティ製のアプリでの表示にも対応しています。

ペースと距離を校正することで、より精度の高いデータが得られます。

自動校正：デフォルトで自動校正がオンに設定されています。ハートレートセンサーをデバイスに接続して屋外ランニングアクティビティを実行すると、毎回自動で校正されます。

注意：自動校正は屋内ラン、トレイルラン、ウルトラランアクティビティでは機能しません。(90 ページ [ランニングペースと距離の記録のヒント](#))

手動校正：ハートレートセンサーを接続してトレッドミルランを実行した後に、**[校正&保存]**を選択して手動で校正することができます。(25 ページ [トレッドミル距離を校正する](#))

ランニングペースと距離の記録のヒント

- Approach S72 デバイスのソフトウェアを更新してください。(116 ページ [システム設定](#))
- HRM 600、HRM-Fit、HRM-Pro シリーズのアクセサリを使用して GPS が有効な屋外ランニングアクティビティを複数回実行してください。屋外でのペースの範囲とトレッドミルでのペースの範囲が一致するか確認してください。
- 砂や雪の上を走行するときは、自動校正をオフに設定してください。
- 対応する ANT+ のフットポッドをデバイスに接続したことがある場合は、センサー設定でフットポッドの接続ステータスをオフに設定するか、接続済みのセンサーの一覧から削除してください。
- トレッドミルランを実行した後、手動で校正してください。(25 ページ [トレッドミル距離を校正する](#))
- 自動校正または手動校正済みの値が誤っている場合は、センサー設定から **[HRM ペース&距離]>[校正データリセット]**を選択してください。

注意：自動校正をオフにして、手動校正を再試行することもできます。(25 ページ [トレッドミル距離を校正する](#))

ランニングダイナミクス

ランニングダイナミクスとは、ランニングフォームに関するデータをリアルタイムで計測する機能です。

Approach S72 デバイスには次の 5 つのランニングフォームの指標を計測可能な加速度計が搭載されています。6 つ

のすべての指標を計測するには、HRM 600 や HRM-Fit、HRM-Pro シリーズのアクセサリまたは胴体部分の動きを検出できるその他のランニングダイナミクス機能対応センサーをペアリングして接続する必要があります。詳しくは、[Garmin.com/performance-data/running](https://garmin.com/performance-data/running) をご参照ください。

指標	センサータイプ	説明
ケイデンス / ピッチ	内蔵センサーまたはランニングダイナミクス対応センサー	一分間あたりの左右合計の歩数 (spm)
歩幅	内蔵センサーまたはランニングダイナミクス対応センサー	一歩あたりの歩幅 (m)
上下動	内蔵センサーまたはランニングダイナミクス対応センサー	一歩あたりの体の上下動の幅 (cm)
上下動比	内蔵センサーまたはランニングダイナミクス対応センサー	歩幅に対する上下動幅の比率 (%)。数値が低いほどランニングフォームがよいとされる。
接地時間 (GCT)	内蔵センサーまたはランニングダイナミクス対応センサー	一歩あたりの地面に足がついている時間 (ms = 1000 分の 1 秒) 注意： 接地時間に関する指標は、歩いているときは表示されません。
GCT バランス	ランニングダイナミクス対応センサーのみ	左右の接地時間の割合 (%)。左右のバランスが均一な状態で 50-50 となり、左右どちらかに偏っている場合は向きを表す矢印 (← / →) とその割合が表示される。
ステップスピードロス	HRM 600 のみ	足が地面に着地したときにどれだけ減速するかを示す指標 (cm/s)。数値が低いほど、再加速のために必要な推進力が少ない。(歩いているときは表示されません。)
ステップスピードロス率	HRM 600 のみ	足が地面に着地したときに、ランニングスピードに対してどれだけ減速するかをパーセンテージで示す指標。この指標は、ランニングスピードが速くなるほどステップスピードロスが大きくなる傾向があることを考慮しています。

ランニングダイナミクスデータが表示されない場合のヒント

ランニングダイナミクス対応のセンサーを使用していて、ランニングダイナミクスデータが表示されない場合には次の方法をお試しください。ランニングダイナミクス対応のセンサーが接続されていないときは、自動的に内蔵のセンサーでランニングダイナミクスデータを計測します。

- HRM 600、HRM-Fit または HRM-Pro シリーズのアクセサリなどのランニングダイナミクス対応のセンサーをお使いかどうかお確かめください。
- 心拍計のペアリングを再度お試しください。
- HRM 600 アクセサリを使用する際は、オープン接続ではなく Bluetooth 接続 (セキュア接続) で接続してください。センサーの接続タイプについて、詳しくは [Garmin.com/hrm_connection_types](https://garmin.com/hrm_connection_types) をご参照ください。
- HRM-Fit または HRM-Pro シリーズのアクセサリを使用する際は、Bluetooth 接続ではなく、ANT+ 接続でペアリングしてください。
- ランニングダイナミクスデータの数値が 0 (ゼロ) を示す場合は、センサーの向きが上下逆さになっていないかお確かめください。

注意： 一部のデータは歩いている場合は表示されません。(90 ページ [ランニングダイナミクス](#))

ランニングパワー

Garmin のランニングパワーは、ランニングダイナミクスデータやユーザーの体重、環境データ、センサーデータを基に計算されます。ランナーが地面にかけられる力の量をワットで表します。心拍数やペースのように、ランナーのエフォートの目安としてランニングパワーを使用できます。ランニングパワーは、心拍数を指標にする場合よりもエフォートのレベルを示すレスポンスが早く、またペースを指標にする場合に考慮されない坂道や風などの環境要因を考慮した計測が可能になります。詳しくは、[Garmin.com/performance-data/running](https://garmin.com/performance-data/running) をご参照ください。

ランニングパワーを計測するには、対応するランニングダイナミクス機能対応のアクセサリを使用するか、デバイスの内蔵センサーを使用する必要があります。トレーニングページをカスタマイズして、アクティビティ中にランニングパワーを表示しながらトレーニングできます(130 ページ [データ項目](#))。設定したパワーゾーンに達したときにアラートでお知らせすることもできます。(37 ページ [アクティビティのアラート](#))

ランニングパワーのパワーゾーンは、バイクでのパワーゾーンと同じようにユーザーの性別、体重、平均的な能力に基づいてゾーンの初期値が決定されるため、個人の能力と一致しない場合があります。Garmin Connect アカウントで個人の能力に合わせてパワーゾーンをカスタマイズできます。(103 ページ [パワーゾーンを設定する](#))

ランニングパワー設定

ウォッチフェイスページで  を押して、 > 任意のランニングアクティビティ > **[(アクティビティ名)設定]** > **[ランニングパワー]** の順に選択します。

[ステータス]: Garmin のランニングパワー計測のオン / オフを設定します。サードパーティのランニングパワーを使用する場合は、オフに設定します。

[ソース]: ランニングパワー計測のデータソースを選択します。**[スマートモード]** のオプションでは、利用可能なランニングダイナミクスアクセサリを自動検出して使用します。ランニングダイナミクスアクセサリが接続されていないときは、光学式心拍計のデータを使用します。

[風を考慮する]: デバイスのスピードと進行方向、気圧データと、利用可能なスマートフォンからの風の情報を考慮してランニングパワーを計測します。ステータスのオン / オフを設定します。

スイムアクティビティ中のハートレートセンサー

HRM 600、HRM-Pro シリーズ、HRM-Swim、HRM-Tri ハートレートセンサーは、スイムアクティビティ中の心拍データを記録して保存することができます。心拍データを表示するには、トレーニングページに心拍のデータ項目を設定します。(34 ページ [トレーニングページをカスタマイズする](#))

注意: ハートレートセンサーが水中にあるときは、デバイスに心拍データは表示されません。

ハートレートセンサーのデータをデバイスで後から確認するには、アクティビティのタイマーを開始する必要があります。休息インターバルで水から出たときに、心拍データがデバイスに送信されます。デバイスは、タイマーを停止してスイムアクティビティを保存するときにハートレートセンサーの心拍データを自動ダウンロードします。ダウンロード中は、ハートレートセンサーを体に装着したまま水から出して、デバイスの 3m 以内に近付けてください。心拍データは、デバイスの履歴または Garmin Connect アカウントで確認できます。

光学式心拍計とハートレートセンサーのどちらも計測が有効な場合は、ハートレートセンサーで計測したデータが優先されます。

Varia デバイスのカメラ機能を使用する

注意

一部の国または地域では、録画・録音・撮影行為について規制または禁止されている場合があります。また、これらの行為に関して必要な説明を行ったうえで、すべての関係者の同意を得ることが必要になる場合があります。ユーザーの責任において、このデバイスを使用する地域で適用されるすべての法律、規制、およびその他の制限事項を確認、遵守してください。

Varia のカメラ機能を使用するには、あらかじめデバイスに Varia をペアリングして接続する必要があります。(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

- 次のオプションを選択します。
 - デバイスのコントロールメニューに **[カメラコントロール]** を追加します。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))
 - デバイスのウィジェット一覧に **[カメラコントロール]** ウィジェットを追加します。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))
- コントロールメニューまたはウィジェット一覧の **[カメラコントロール]** から、次のオプションを選択します。
 -  カメラ設定を表示します。
 -  ライドを録画します。
 -  静止画を保存します。
 -  映像を保護します。

inReach リモート

デバイスで inReach 衛星コミュニケーターのリモート操作を行います。対応する inReach 衛星コミュニケーターは Garmin.co.jp からお求めいただけます。

inReach リモートを使用する

inReach リモート機能を利用するには、あらかじめデバイスと inReach 衛星コミュニケーターをペアリングし(90 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))、inReach ウィジェットをウィジェット一覧に追加する必要があります(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))。

- inReach 衛星コミュニケーターの電源を入れます。

- 2 Approach S72 デバイスを操作します。ウォッチフェイスページで画面を下に**スワイプ**して inReach ウィジェットを表示します。
- 3  を押して inReach 衛星コミュニケーターを検索します。
- 4  を押して inReach 衛星コミュニケーターをペアリングします。
- 5  を押し、次のオプションを選択します。
 - SOS メッセージを送信するには、**[SOS 開始]** を選択します。
注意：SOS の機能は実際の緊急時のみご利用ください。
 - メッセージを送信するには **[メッセージ]** > **[新しいメッセージ]** の順に選択します。送信先を選択し、メッセージを入力またはクイックテキストメッセージを選択します。
 - チェックインメッセージを送信するには **[チェックインを送信]** を選択し、リストからメッセージを選択します。
 - アクティビティ実行中の距離、時間を確認するには **[トラッキング]** を選択します。

スマートフォン接続機能

スマートフォンの Garmin Golf アプリでデバイスをペアリングして、スマートフォン接続機能を利用できます。
 (93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

- Garmin Connect アプリの機能 (97 ページ [Garmin Connect](#))
- Connect IQ アプリなどのアプリ機能 (97 ページ [スマートフォンと PC のアプリケーション](#))
- 41 ページ [ウィジェット](#)
- 45 ページ [コントロールメニュー](#)
- 107 ページ [セーフティ&トラッキング機能](#)
- 94 ページ [通知機能を有効にする](#)

スマートフォンとペアリングする

デバイスの機能を最大限に活用するには、スマートフォンとデバイスをペアリングする必要があります。ペアリングには、Garmin Golf アプリを使用します。スマートフォンの Bluetooth 接続設定からペアリングすることはできません。

- 1 次のオプションを選択します。
 - 初期設定でスマートフォンとのペアリングを求めるメッセージが表示されたら、 を選択します。
 - 初期設定がすでに完了している場合は、ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[ペアリング]** の順に選択します。
 - 新しいスマートフォンとペアリングしたい場合は、ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** > **[ペアリング]** の順に選択します。
- 2 デバイスの画面の二次元コードをスマートフォンでスキャンして、画面の指示に従ってペアリングとセットアップを完了します。

電話アプリから電話をかける

注意：この機能はペアリング済みスマートフォンとの Bluetooth 接続が有効な場合のみ利用できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[電話]** を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - 電話番号を直接入力して電話をかける： を選択して表示されるダイヤルキーで電話番号を入力し、 を選択して発信します。
 - 登録した連絡先に電話をかける： を選択して表示される連絡先一覧から相手の名前を選択し、電話番号を選択して発信します。(107 ページ [連絡先を追加する](#))
 - 発信 / 着信履歴を確認する：画面を上へ**スワイプ**します。
注意：デバイスで発信または受信した電話が履歴として表示されます。スマートフォンの発信 / 着信履歴とは同期されません。
- 4 通話の接続を待ちます。
- 5 上に**スワイプ**して通話オプションを表示します。
- 6 次のオプションを選択します。

- デバイスのマイクをミュートするには、を選択します。
- デバイスのスピーカー音量を調整するには、を選択します。
- 通話をデバイスから接続済みのスマートフォンに転送するには、を選択します。

7 を選択して通話を終了します。

音声アシスタントを使用する

音声アシスタント機能を使用するには、デバイスとスマートフォンをペアリングして Bluetooth 接続する必要があります(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))。音声アシスタント機能について、詳しくは Garmin.com/VoiceFunctionality をご参照ください。

デバイスに内蔵のスピーカーとマイクで、スマートフォンの音声アシスタントを使用できます。音声アシスタントの設定方法については Garmin.com/voicefunctionality/tips をご参照ください。

1 次のオプションを選択します。

- ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプし、**【音声アシスタント】**を選択します。

- を長押しして**【音声アシスタント】**を選択します。

注意：コントロールメニューはカスタマイズできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

- 「ヘイ、アシスタント」と発話します。

注意：システム設定から「ヘイ、アシスタント」の起動ワードを有効にすることができます。(119 ページ [起動ワードを有効にする](#))

スマートフォンの音声アシスタントに接続されると、が表示されます。

2 「電話をかける」、「メッセージを送信」などの音声コマンドを発話します。

注意：音声アシスタントの応答は音声のみです。

通知機能を有効にする

ペアリング済みスマートフォンの通知のデバイスでの表示方法やサウンドに関する設定をカスタマイズします。

注意：睡眠中やアクティビティ実行中の通知に関する設定は、集中モードで設定します。(101 ページ [集中モード](#))

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **【設定】**>**【ワイヤレス接続】**>**【スマートフォン】**>**【通知】**の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- **【ステータス】** スマートフォンの通知をデバイスに表示します。オン/オフを設定します。
- **【着信】** 電話の着信通知を有効にします。ステータスとアラートのオプションを選択します。
- **【テキスト】** テキストメッセージの通知を有効にします。ステータスとアラートのオプションを選択します。
- **【アプリ】** スマートフォンアプリの通知を有効にします。ステータスとアラートのオプションを選択します。
- アプリの通知権限を表示するには、**【アプリ】**を選択し、スクロールしてアプリ一覧を表示します。

注意：スマートフォンでは、デバイスに表示するアプリ通知を管理できます。

iOS® スマートフォンの場合、スマートフォンとデバイスの両方でアプリの通知を受信すると、そのアプリがデバイスの接続済みアプリ一覧に表示されます。Garmin Connect アプリで・・・>**【設定】**>**【接続されているアプリ】**の順に選択し、アプリを選択して共有するデータを設定できます。**【接続解除】**を選択すると、デバイスとアプリの接続を解除できます。

Android™ スマートフォンの場合、Garmin Connect アプリで・・・>**【設定】**>**【通知】**>**【アプリ通知】**の順に選択し、通知を有効にするアプリを選択できます。ウォッチの**【ブロックされたアプリ】**一覧には、ウォッチに通知を送信しないアプリが表示されます。

- **【プライバシー】** 通知の内容を表示する前に必要な動作を選択します。
- **【タイムアウト】** 通知の表示時間を選択します。
- **【署名】** テキストメッセージ返信の署名を選択します。

注意：この機能は対応する Android スマートフォンのみで利用できます。

通知を確認する

デバイスでスマートフォンの通知を確認します。

1 次のオプションを選択します。

- ウォッチフェイスページで画面を下にスワイプして、通知センターを開きます。
 - ウォッチフェイスページで上にスワイプして通知ウィジェットを表示します。
- ヒント：**ウィジェット上で通知を左にスワイプすると、通知を消去することができます。

- ・ ウォッチフェイスページで  を押して、通知アプリを開きます。
- ・  を長押しして、コントロールメニューから **[通知]** を選択します。

2 通知を選択します。

3  を押してオプションを表示します。

4 通知一覧の一番上までスクロールして **[すべて閉じる]** を選択すると、すべての通知を消去できます。

電話の着信通知に応答 / 拒否する

デバイスとペアリング済みのスマートフォンに電話の着信があると、発信元の電話番号や電話帳に登録されている発信者名がデバイスに表示されます。

- ・ 着信に応答するには、 を選択します。
- ・ 着信を拒否するには、 を選択します。
- ・ 着信を拒否してテキストメッセージを送信する場合は、 を選択して、定型文一覧から送信するメッセージを選択します。

注意：テキストメッセージ返信機能を利用するには、デバイスと対応する Android スマートフォンを Bluetooth 接続する必要があります。

テキストメッセージに返信する

注意：この機能を利用するには対応する Android スマートフォンとペアリングする必要があります。

テキストメッセージの受信通知から、定型文のメッセージを選択して返信することができます。返信用の定型文は、Garmin Connect アプリで編集可能です。

注意：この機能は、お使いのスマートフォンを使用してテキストメッセージを送信します。ご利用のキャリアと電話プランの通常のテキストメッセージに対する制限と料金が適用される場合があります。テキストメッセージの料金または制限の詳細については、ご利用の携帯電話会社までお問い合わせください。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を下にスワイプして、通知センターを開きます。
- 2 テキストメッセージの通知を選択します。
- 3  を押します。
- 4 **[返信]** を選択します。
- 5 定型文一覧からメッセージを選択します。

選択したメッセージがスマートフォンで SMS テキストメッセージとして送信されます。

スマートフォンの Bluetooth 接続をオフにする

コントロールメニューからスマートフォンとの Bluetooth 接続をオン / オフすることができます。

注意：コントロールメニューはカスタマイズできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

- 1  を長押しして、コントロールメニューを表示します。
- 2  を選択します。

スマートフォンの Bluetooth 設定については、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

スマートフォン探索アラートをオン / オフにする

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** > **[スマートフォン探索アラート]** の順に選択します。

GPS アクティビティ中に紛失したスマートフォンを探す

デバイスは、GPS アクティビティ中にペアリング済みスマートフォンと接続が切れると、GPS の位置情報を自動で保存します。この機能を使用して、アクティビティ中に紛失したスマートフォンを探すことができます。詳しくは、[Garmin.com/findmyphonewithgps](https://garmin.com/findmyphonewithgps) をご参照ください。

- 1 GPS を利用してアクティビティを開始します。
- 2 最後に記録した場所へのナビゲーションを確認する画面が表示されたら、 を選択します。
- 3 地図上の地点までナビゲーションを実行します。(81 ページ [地図上の地点を保存してナビゲーションする](#))

- 4 画面を上にもスワイプすると、コンパスが目的の地点を指し示します。(任意)
- 5 デバイスがスマートフォンの Bluetooth 接続圏内に入ると、画面に Bluetooth 接続の信号強度が表示されます。スマートフォンに近付くと、信号強度が強くなります。

Wi-Fi 接続機能

自動アップロード: デバイスでアクティビティを保存後、データを自動で Garmin Connect アカウントにアップロード(同期)します。

音楽のダウンロード: 音楽プロバイダから音楽データをダウンロードします。

コースデータのアップデート: ゴルフコースのデータをワイヤレスでデバイスにダウンロードしてインストールできます。

地図のダウンロード: 地図をダウンロードしてインストールできます。

ソフトウェア更新: 利用可能な更新ソフトウェアをワイヤレスでデバイスにダウンロードしてインストールできます。

ワークアウトとトレーニングプランの転送: Garmin Connect アカウントで選択したワークアウトデータまたはトレーニングプランデータをワイヤレス受信します。

Wi-Fi ネットワークに接続する

デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続するには、あらかじめ Garmin Express または Garmin Connect アプリにデバイスを追加してセットアップを完了する必要があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定] > [ワイヤレス接続] > [Wi-Fi] > [マイネットワーク] > [ネットワークを検索]** の順に選択します。近くの Wi-Fi ネットワークの一覧が表示されます。
- 3 接続するネットワーク名を選択します。
- 4 必要な場合は、ネットワークのパスワードを入力します。

デバイスがネットワークに接続され、接続済みのネットワーク名がマイネットワークの一覧に表示されます。デバイスがネットワークの接続圏内に入ると、自動で再接続します。

Garmin シェア

注意

情報を他のユーザーに共有する際は、ご自身の判断と責任で行ってください。情報の共有相手をよく確認してください。

Garmin シェア機能で、デバイスのデータをほかの対応する Garmin デバイスに Bluetooth 接続でワイヤレスに共有することができます。スマートフォン接続や Wi-Fi 接続なしで、Garmin シェアが有効な対応するデバイス間で、直接ポイントやコース、ワークアウトを安全に転送できます。

Garmin シェアでデータを共有する

この機能を利用するには、デバイスの Bluetooth 接続がオンで、デバイス同士が 3m 以内にある必要があります。Garmin シェアで、ほかのデバイスとデータを共有することに同意を求められた場合、同意する必要があります。ほかの対応する Garmin デバイスと接続中にデータを送受信することができます(97 ページ [Garmin シェアでデータを受信する](#))。異なるデバイス間でもデータを転送することができます。例えば、Garmin ウォッチに Edge デバイスのコースデータを転送できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[Garmin シェア] > [共有]** の順に選択します。
- 3 カテゴリーを選択して、一つ以上のアイテムを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ **[共有]** を選択します。
 - ・ **[さらに追加]** を選択して追加するアイテムを選択し、**[共有]** を選択します。
- 5 送信先のデバイスが検索されるのを待ちます。
- 6 デバイスを選択します。
- 7 送信デバイスと受信デバイスで 6 桁のコードが一致することを確認して、**✓** を選択します。
- 8 データの転送完了を待ちます。
- 9 別のデバイスに同じアイテムを再共有するには、**[再度共有する]** を選択します。(任意)
- 10 **[完了]** を選択します。

Garmin シェアでデータを受信する

この機能を利用するには、デバイスの Bluetooth 接続がオンで、デバイス同士が 3m 以内にある必要があります。Garmin シェアで、ほかのデバイスとデータを共有することに同意を求められた場合、同意する必要があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[Garmin シェア]** を選択します。
- 3 範囲内のデバイスが検索されるのを待ちます。
- 4  を選択します。
- 5 送信デバイスと受信デバイスで 6 桁のコードが一致することを確認して、 を選択します。
- 6 データの転送完了を待ちます。
- 7 **[完了]** を選択します。

Garmin シェア設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Garmin シェア]** の順に選択します。

[ステータス]：Garmin シェア機能を有効 / 無効にします。

[デバイスを削除]：過去に Garmin シェアでアイテムを共有したことのあつたすべてのデバイスの情報を削除します。

スマートフォンと PC のアプリケーション

デバイスは、Garmin のスマートフォンアプリや PC のアプリケーションに 1 つの Garmin アカウントでサインインしてアプリの機能やサービスを利用することができます。

Garmin Golf アプリ

Garmin Golf アプリを利用すると、対応する Garmin デバイスからスコアカードをアップロードして、詳細な統計データやショットの分析を確認できます。また、異なるコース間でもプレーヤー同士で競い合うことができます。誰でも参加可能なウィークリーリーダーボードが 43,000 コース以上用意されています。ユーザーは、自由にトーナメントイベントを設定してプレーヤーを招待することができます。Garmin Golf Membership に加入すると、Green Contour 機能(グリーン傾斜情報)などの追加機能を利用できます。

Garmin Golf アプリのデータは、Garmin Connect アカウントに同期されます。Garmin Golf アプリは、スマートフォンのアプリストアからダウンロードすることができます。(Garmin.com/golfapp)

Garmin Connect

Garmin Connect で友人とつながりましょう。Garmin Connect の追跡・分析・共有ツールでお互いを励まし合うことができます。ラン、ウォーク、バイク、スイム、ハイキング、トライアスロンなどのあなたのアクティブなライフスタイルのイベントを記録しましょう。無料のアカウントでサインアップするには、スマートフォンのアプリストアからアプリをダウンロードするか(Garmin.com/connectapp)、connect.Garmin.com にアクセスします。

アクティビティデータの保存：無制限のストレージにアクティビティデータをアップロードすることができます。

アクティビティデータの分析：タイムや距離、心拍数、ピッチ、ケイデンスなどの様々なデータを、地図やグラフにより詳細に分析することができます。

注意：ワイヤレスセンサーをペアリングしないと取得できないデータがあります。

トレーニングの計画：フィットネスの目標や負荷を選択して、毎日のトレーニングの計画を立てられます。

アクティビティトラッキング：毎日のステップ数や睡眠時間、運動量などのライフログデータを記録します。

データの共有：コネクション(Garmin Connect アカウント上の友人)同士でアクティビティをフォローしたり、リンクを共有したりすることができます。

設定のカスタマイズ：デバイスの設定やユーザー設定をカスタマイズすることができます。

Garmin Connect+ サブスクリプション

Garmin Connect+ サブスクリプション(有料)では、Garmin Connect アカウントでトレーニング機能やデータ分析が強化されたサービスを利用できます。サインアップするには、スマートフォンに Garmin Connect アプリをダウンロードするか、connect.garmin.com にアクセスします。

Active Intelligence(AI)：栄養管理を含む、あなたのデータやアクティビティに関する AI インサイト(分析やアドバイス)を受け取れます。

ライブアクティビティ統計：Garmin Connect アプリでワークアウトのトレーニングデータをリアルタイムで確認できます。

注意：この機能は、一部のアクティビティまたはモデルでは利用できません。

LiveTrack 機能の強化：LiveTrack テキストメッセージの送信、ユーザー専用の LiveTrack URL、LiveTrack セッションの履歴を表示できます。

パフォーマンスダッシュボード：栄養指標を含むカスタマイズ可能なチャートやグラフを使って、トレーニングデータを自分の好みに合わせて表示できます。

ソーシャル機能の強化：特別なバッジやバッジチャレンジにアクセスでき、チャレンジで 2 倍のポイントを獲得できます。カスタマイズ可能なフレームでプロフィールアバターを更新できます。

Garmin Connect アプリを利用する

デバイスをスマートフォンとペアリングすると(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))、Garmin Connect アプリですべてのアクティビティデータを Garmin Connect アカウントにアップロードできます。

1 スマートフォンで Garmin Connect アプリを起動します。

2 デバイスとスマートフォンを 10m 以内に近付けます。

デバイスのデータが自動で Garmin Connect アプリと Garmin Connect アカウントに同期されます。

Garmin Connect アプリでソフトウェアをアップデートする

あらかじめスマートフォンとデバイスをペアリングする必要があります。(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

Garmin Connect アプリにデバイスを同期します。(98 ページ [Garmin Connect アプリを利用する](#))

利用可能な更新ソフトウェアがある場合、デバイスに自動で送信されます。

統合トレーニングステータス

Garmin Connect アカウントで 2 つ以上の Garmin デバイスを使用する場合、日常的な使用とトレーニングでの使用で、どのデバイスを優先データソースとするかを選択することができます。

Garmin Connect アプリで、・・・(詳細)> **[設定]**の順に選択します。

優先トレーニングデバイス：トレーニングステータスやトレーニング負荷バランスなどのトレーニング指標の優先データソースとするデバイスを選択します。

トレーニングステータス機能に非対応の Garmin デバイスは優先トレーニングデバイスには設定できませんが、トレーニングデータの記録用として引き続き使用できます。

優先ウェアラブル：ステップ数や睡眠などの日常の健康指標に使用する優先デバイスを設定します。普段最もよく使用するウェアラブルを選択してください。

ヒント：より良い結果を得るため、Garmin Connect アカウントと定期的に同期してください。

アクティビティとパフォーマンスの測定結果を同期する

ほかの Garmin デバイスで記録したアクティビティやパフォーマンス測定結果を Garmin Connect アカウント経由でデバイスに同期することができます。これにより、より正確なトレーニングステータスとフィットネスがデバイスに反映されます。

例えば、Edge デバイスのライド履歴を同期して、Approach S72 デバイスでアクティビティの詳細とリカバリータイムを確認することができます。

Garmin Connect アカウントで、Approach S72 とその他のデバイスを同期します。

ヒント：Garmin Connect アプリで優先トレーニングデバイスと優先ウェアラブルを設定できます。(98 ページ [統合トレーニングステータス](#))

ほかの Garmin デバイスの最近のアクティビティとパフォーマンス測定結果が Approach S72 に同期されます。

PC で Garmin Connect を利用する

Garmin Express を利用すると、デバイスと Garmin Connect アカウントを接続することができます。Garmin Express でデバイスに保存したアクティビティデータのアップロードや、Garmin Connect のウェブサイトからデバイスへワークアウトやトレーニングプランのデータを送信できます。また、ソフトウェアの更新や Connect IQ コンテンツの管理などが行えます。

1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。

2 [Garmin.com/express](https://www.garmin.com/express) にアクセスします。

3 Garmin Express をダウンロードし、PC にインストールします。

4 Garmin Express を起動し、**[デバイスの追加]**を選択します。

5 画面に表示される指示に従って操作します。

Garmin Express でソフトウェアをアップデートする

あらかじめ Garmin Express を PC にインストールし、Garmin Connect アカウントにデバイスを登録する必要があります。

- 1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
利用可能な更新ソフトウェアがある場合、Garmin Express からデバイスに更新データが送信されます。
- 2 画面に表示される指示に従って操作します。
- 3 更新プロセス進行中は、デバイスを PC から取り外さないでください。
デバイスに Wi-Fi ネットワークがセットアップされている場合、Wi-Fi ネットワーク経由で更新データが自動でダウンロードされます。

Garmin Connect に手動でデータを同期する

注意：コントロールメニューにオプションを追加できます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

- 1  を長押しして、コントロールメニューを表示します。
- 2 **[同期]** を選択します。

Connect IQ 機能

デバイスまたはスマートフォンの Connect IQ ストア (Garmin.com/connectiqapp) から Connect IQ 機能を追加できます。

ウォッチフェイス：様々なデザインのウォッチフェイスを利用できます。

デバイス用のアプリ：新しいウィジェットやアクティビティなどのインタラクティブ機能を追加できます。

データ項目：アクティビティやセンサー、履歴に表示するデータ項目をダウンロードできます。デバイスにデフォルトで用意されている機能やトレーニングページに追加できます。

音楽プロバイダ：音楽プロバイダを追加できます。

Connect IQ コンテンツをダウンロードする

Connect IQ のコンテンツを Connect IQ アプリからデバイスにダウンロードするには、あらかじめスマートフォンとデバイスをペアリングする必要があります。(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

- 1 お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Connect IQ アプリをダウンロードします。インストール完了後、アプリを起動します。
- 2 ペアリング済みデバイスを複数台お持ちの場合は、デバイスを選択します。
- 3 ダウンロードする Connect IQ コンテンツを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

PC で Connect IQ コンテンツをダウンロードする

- 1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
- 2 apps.garmin.com にアクセスし、Garmin Connect アカウントでサインインします。
- 3 Connect IQ コンテンツを選択し、ダウンロードします。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

Garmin Messenger アプリ

⚠警告

SOS、トラッキング、inReach 天気情報などの Garmin Messenger アプリの一部の inReach 機能を利用するには、有効な inReach サービスプランと、スマートフォンと inReach デバイスの接続が必要です。Garmin Messenger アプリを実際に屋外で使用する前に、必ず通信テストを行ってください。

⚠注意

Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

注意

Garmin Messenger アプリは、インターネット(スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用)と衛星ネットワーク(inReach デバイスを使用)の両方で動作します。スマートフォンのデータ通信を使用する場合、スマ

ートフォンで任意のデータ通信プランのご契約が必要です。また、データ通信エリア内でのみ利用することができます。ネットワークカバレッジの範囲外で衛星ネットワークを使用するには、デバイスで inReach サービスプランが有効化されている必要があります。

Garmin デバイスを持たない相手でも、Garmin Messenger アプリでメッセージをやりとりできます。アプリをスマートフォンにインストールすることで、インターネットを介してログイン不要でコミュニケーションできます。また、アプリのユーザーは、SMS 電話番号でグループメッセージのメンバーを招待できます。グループメッセージに新しく追加されたメンバーは、Garmin Messenger アプリをダウンロードしてほかのメンバーのメッセージを確認できます。

スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用して送信されたメッセージには、inReach サービスプランのデータ料金や追加料金は発生しません。受信メッセージの配信時に衛星ネットワークとインターネットの両方を介して試行された場合、メッセージの受信に料金が発生する場合があります。ご利用のスマートフォンのデータ通信プランの通常のテキストメッセージに対する料金が適用されます。

ご利用のスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Messenger アプリをダウンロードできます。

(Garmin.com/messengerapp)

集中モード

集中モードでは、睡眠中やアクティビティ実行中などの状況に合わせてデバイスの設定や挙動をカスタマイズできます。集中モードがオンのときにデバイスの設定を変更すると、その集中モードにのみ変更が適用されます。

デフォルトの集中モードをカスタマイズする

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[集中モード]** の順に選択します。
- 3 任意の集中モードを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。

注意：モードにより設定可能なオプションが異なります。

- ・ **[ステータス]** 集中モードをオン / オフします。
- ・ **[スケジュール]** スケジュールを設定します。
- ・ **[ウォッチフェイス]** ウォッチフェイスを変更します。
- ・ **[GPS]** すべてのアクティビティで使用される GNSS 衛星システムを設定します。
ヒント：アクティビティ設定で個別に GPS 設定を設定することができます。(35 ページ [アクティビティ設定](#))
- ・ **[オーディオアラート]** アクティビティ中のオーディオアラートを設定します。(38 ページ [アクティビティ実行中にオーディオアラートを再生する](#))
- ・ **[通知とアラート]** のセクションで、スマート通知や健康&ウェルネスアラート、システムアラートを設定できます。(72 ページ [通知とアラートの設定](#))
- ・ **[音 / バイブ]** のセクションで、サウンドとバイブレーションを設定できます。(75 ページ [音 / バイブの設定](#))
- ・ **[ディスプレイと輝度]** のセクションで、ディスプレイの設定を変更できます。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
- ・ **[名前編集]** 集中モードの名前を編集します。
- ・ **[アイコン]** アイコンまたはカラーを変更します。
- ・ **[追加]** 設定をカスタマイズして追加します。
- ・ **[集中モードを削除]** 集中モードを削除します。
- ・ **[既定値]** デフォルト設定にリセットします。

カスタム集中モードを作成する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[集中モード]** > **[追加]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[標準]** 通常時に使用する集中モードを作成します。
 - ・ **[アクティビティ]** アクティビティ中に使用する集中モードを作成します。
- 4 集中モードの名前を入力して、**✓** を選択します。
- 5 アイコンとカラーを選択します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・ **[通知とアラート]** のセクションで、スマートフォンとデバイスの通知とアラートを設定できます。(72 ページ [通知とアラートの設定](#))
 - ・ **[音 / バイブ]** のセクションで、音と振動の設定をカスタマイズできます。(75 ページ [音 / バイブの設定](#))
 - ・ **[ディスプレイと輝度]** ディスプレイ設定をカスタマイズします。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
- 7 **[完了]** を選択します。
- 8 次のオプションを選択します。

注意：モードにより設定可能なオプションが異なります。

- ・ **[ステータス]** 集中モードをオン / オフします。
- ・ **[スケジュール]** スケジュールを設定します。
- ・ **[ウォッチフェイス]** ウォッチフェイスを変更します。
- ・ **[自動起動]** この集中モードを使用するアクティビティを選択します。
- ・ **[GPS]** GNSS 衛星設定を変更します。
- ・ **[オーディオアラート]** オーディオアラートを設定します。
- ・ **[名前編集]** 集中モードの名前を編集します。
- ・ **[アイコン]** アイコンとカラーを変更します。

ユーザープロフィール

ユーザープロフィールは、デバイスまたは Garmin Connect アプリで設定できます。

ユーザープロフィールを設定する

身長や体重、トレーニングゾーンなどのユーザープロフィールを設定できます。この情報をもとに正確なトレーニングデータが計算されます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[ユーザープロフィール]** の順に選択します。
- 3 任意のオプションを選択します。

ジェンダー設定

デバイスの初期設定では、ユーザーの性別の選択が必須となっています。フィットネスとトレーニングのアルゴリズムは、そのほとんどで性別の選択が必要です。Garmin は、ユーザーの性別は出生時の性別に設定することをおすすめします。初期設定完了後は、Garmin Connect アカунツのプロフィール設定からも設定を変更できます。

プロフィールとプライバシー：公開プロフィールのデータをカスタマイズします。

ユーザー設定：性別を設定します。**[回答しない]**を選択した場合、性別の選択が必要なアルゴリズムでは、デバイスの初期設定で選択した性別が使用されます。

フィットネス年齢を確認する

フィットネス年齢で、実年齢に対する自分のフィットネスレベルを同性の異なる年齢層のユーザーと比較することができます。フィットネス年齢は、ユーザープロフィールの年齢やボディマス指数(BMI)、安静時心拍数のデータ、高強度運動の履歴をもとに推定されます。Index 体重計(別売)をお持ちの場合は、フィットネス年齢の推定に BMI の代わりに体脂肪率が使用されます。運動習慣やライフスタイルの変化がフィットネス年齢に影響します。

注意：フィットネス年齢の測定精度を向上するには、ユーザープロフィールを正しく設定してください。(102 ページ [ユーザープロフィールを設定する](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[ユーザープロフィール]** > **[フィットネス年齢]** の順に選択します。

心拍ゾーンについて

多くのアスリートは、自身の心臓血管の強度を測定して強化し、フィットネスレベルを向上させるために心拍ゾーンを利用しています。心拍ゾーンは一分間あたりの心拍数の範囲を設定したものです。一般的に、心拍ゾーンは 1 ～ 5 の 5 つのゾーンに分けられ、ゾーンの数字が大きいほど強度が高いことを示します。多くの場合、心拍ゾーンは最大心拍数に対する割合を基に計算されます。

フィットネスの目標

トレーニングの目標に合った適切な心拍ゾーンでトレーニングを行うことで、心肺機能の向上に役立つほか、オーバートレーニングを防いだり、けがのリスクを減らすことができます。

- 心拍数は、運動強度を測るための一つの物差しです。
- 適切な心拍ゾーンでトレーニングを行うことで、心臓血管の能力と強度の向上に役立ちます。

自身の最大心拍数がわかる場合は、103 ページ [心拍ゾーン参考表](#)を参考にして、トレーニングの目標に合わせた心拍ゾーンを決定できます。

自身の正確な最大心拍数がわからない場合は、インターネット等で計算方法をお調べください。または、ジムや専門の医療機関で最大心拍数を計測するテストを行っていることがあります。デフォルトでは、最大心拍数は 220 - (年齢) で求められた推定値が使用されています。

心拍ゾーンを設定する

デフォルトの心拍ゾーンは、初期設定のユーザープロフィールの情報を基に決定されます。ラン/バイク/スイムのアクティビティ別に、心拍ゾーンを設定できます。アクティビティ中の消費カロリーをより正確に計測するために、最大心拍数を設定してください。各心拍ゾーンの値と安静時心拍数は、手動で入力することもできます。各ゾーンの値は、デバイスまたは Garmin Connect アカウンツで手動で調整することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[ユーザープロフィール]** > **[心拍とパワーゾーン]** > **[心拍]** の順に選択します。
- 3 **[最大心拍数]** を選択して、ユーザーの最大心拍数を入力します。

自動検出機能で最大心拍数を測定できます。(104 ページ パフォーマンス測定を自動検出する)

4 **[LTHR]** を選択して、ユーザーの乳酸閾値心拍数を入力します。(61 ページ 乳酸閾値)

自動検出機能で乳酸閾値を測定できます。(104 ページ パフォーマンス測定を自動検出する)

5 **[安静時心拍数]** を選択して、ユーザーの安静時心拍数を入力します。

デバイスで測定した平均安静時心拍数の値を使用するか、任意の値を入力します。

6 **[ゾーン]** > **[基準]** の順に選択します。

7 次のオプションを選択します。

- ・ **[bpm]** bpm(一分間あたりの拍動の数)を基準に設定します。
- ・ **[%Max]** 最大心拍数に対する割合(%)を基準に設定します。
- ・ **[%HRR]** 心拍予備量に対する割合(%)を基準に設定します。(心拍予備量 = 最大心拍数 - 安静時心拍数)
- ・ **[%LTHR]** 乳酸閾値心拍数に対する割合(%)を基準に設定します。

8 必要な場合は、**[ゾーン]** を選択して、各ゾーンの数値を入力します。

9 **[スポーツ心拍]** を選択して、心拍ゾーンを個別に設定するアクティビティプロフィールを選択します。(任意)

10 同様の手順でアクティビティプロフィール別の心拍ゾーンを設定します。(任意)

心拍ゾーンの自動設定

初期設定では、最大心拍数を自動検出して、最大心拍数に対する割合を基に心拍ゾーンが設定されます。

- ・ ユーザープロフィールが正しく設定されていることをお確かめください。(102 ページ ユーザープロフィールを設定する)
- ・ 光学式心拍計またはハートレートセンサーを使用して、定期的にランニングアクティビティを実行してください。
- ・ Garmin Connect アカウントで心拍ゾーン別のタイムと心拍数の推移を確認できます。

心拍ゾーン参考表

ゾーン	%Max	運動強度	効果
1	50 ~ 60%	リラックスした楽なペースでリズミカルな呼吸	有酸素性能力の基礎作り、ストレスの軽減
2	60 ~ 70%	快適さを感じるペースで呼吸は少し深いが会話は可能	心肺機能向上の基本となるトレーニング、回復に適したペース
3	70 ~ 80%	マラソンをするような標準のペースで会話を続けるのが難しい	有酸素性能力の向上、心肺機能向上に最適なトレーニング
4	80 ~ 90%	ややきついペースで呼吸が力強い	無酸素性能力と閾値の向上、スピードの向上
5	90 ~ 100%	長時間維持することのできない全速力のペースで呼吸が相当きつい	無酸素性持久力・筋持久力の向上、パワーの向上

パワーゾーンを設定する

パワーゾーンの各ゾーンの値には、初期設定で性別と体重を基にした平均的な数値が使用されているため、ユーザー個人の能力と一致しない場合があります。機能的作業閾値パワー(FTP)または閾値パワー(TP)を入力すると、パワーゾーンが自動計算されます。各ゾーンの値は、デバイスまたは Garmin Connect アカウントで手動で調整することができます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]** > **[ユーザープロフィール]** > **[心拍とパワーゾーン]** > **[パワー]** の順に選択します。

3 アクティビティを選択します。

4 **[基準]** を選択します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **[ワット]** ワット表示を基準に設定します。
- ・ **[%FTP]** または **[%TP]** FTP または TP に対する割合(%)での表示を基準に設定します。

6 **[FTP]** または **[閾値パワー]** を選択して、値を入力します。

自動検出機能でアクティビティ中に閾値パワーを自動検出できます。(104 ページ パフォーマンス測定を自動検出する)

7 必要な場合は、**[ゾーン]** を選択して、各ゾーンの数値を入力します。

8 必要な場合は、**[最小]** を選択してユーザーの最小パワーを入力します。

パフォーマンス測定を自動検出する

パフォーマンス測定の自動検出は、デフォルトでオンに設定されています。アクティビティ実行中に最大心拍数と乳酸閾値を自動検出します。対応するパワー計とペアリングして接続している場合、アクティビティ実行中に FTP を自動検出します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[ユーザープロフィール]** > **[心拍とパワーゾーン]** > **[自動検出]** の順に選択します。
- 3 任意のオプションを選択します。

音楽

注意：デバイスの音楽再生機能は、次の3つのオプションがあります。

- サードパーティの音楽プロバイダの音楽を再生
- デバイ스에 다운로드した音楽を再生
- ペ어링済みスマートフォンの音楽再生のコントロール

PC または サードパーティの音楽プロバイダから音楽コンテンツをデバイスにダウンロードすることができ、スマートフォンが近くなくても音楽を再生できます。Bluetooth イヤホン(別売)と接続してデバイスにダウンロードした音楽を聴くことができます。または、デバイスに内蔵のスピーカーで聴くこともできます。

音楽プロバイダに接続する

デバイスに音楽プロバイダから音楽データをダウンロードするには、あらかじめデバイスを音楽プロバイダに接続する必要があります。

スマートフォンの Connect IQ アプリからその他の音楽プロバイダをダウンロードできます。(99 ページ [Connect IQ コンテンツをダウンロードする](#))

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[Connect IQ ストア]** を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って、音楽プロバイダをインストールします。
- 4 デバイスを操作します。コントロールメニューで **[音楽]** を選択します。
- 5 音楽プロバイダを選択します。

注意：別のプロバイダを選択したい場合は、 を長押しして **[設定]>[音楽]>[音楽プロバイダ]** の順に選択し、画面に表示される指示に従います。

音楽プロバイダから音楽をダウンロードする

音楽プロバイダから音楽をダウンロードするには、デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります(96 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))。ダウンロードした音楽をオフラインで聴き続けるには、7 日ごとに Wi-Fi ネットワークへ再接続する必要があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[音楽]>[音楽プロバイダ]** の順に選択します。
- 3 ログイン済みの音楽プロバイダを選択するか、**[音楽アプリを追加]** を選択して Connect IQ ストアから音楽プロバイダを追加します。
- 4 ダウンロードするプレイリストまたは音楽データを選択します。
- 5 音楽サービスとの同期を求められるまで  を押して戻ります。

注意：音楽のダウンロードにはバッテリーを消費します。バッテリー残量が少ないときは、デバイスを充電してください。

Garmin Express で音楽をダウンロードする

あらかじめ Garmin Express を PC にインストールする必要があります。Garmin Express について詳しくは Garmin.com/express をご参照ください。

mp3 形式や m4a 形式などのファイルに対応しています。対応する音楽ファイルの形式について詳しくは Garmin.com/musicfiles をご覧ください。

- 1 付属の USB ケーブルで、デバイスを PC に接続します。
- 2 PC で Garmin Express を起動します。登録済みのデバイスを選択して、**[音楽]** を選択します。
ヒント：Windows® のコンピューターでは、 を選択すると、音楽ファイルをスキャンするフォルダを選択できます。Apple® のコンピューターでは、iTunes® のライブラリが表示されます。
- 3 マイミュージックまたは iTunes のライブラリリストで、ダウンロードする音楽ファイルのカテゴリを選択します。
- 4 ダウンロードする音楽にチェックを入れ、**[デバイスへの送信]** を選択します。
- 5 デバイ스에 다운로드した音楽を削除するには、Garmin Express のマイミュージック下のデバイスのリストからカテゴリを選択し、削除する音楽にチェックを入れて **[デバイスから削除]** を選択します。

音楽を再生する

初めて音楽を再生すると、選択した内容が初期値として保存されます。二回目以降は、ウォッチフェイスページで  を押す > **[設定]** > **[音楽]** > **[音楽プロバイダ]** から変更できます。

- 1 ミュージックコントロールを開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[マイミュージック]** PC からデバイスにダウンロードした音楽を再生します。(105 ページ [Garmin Express で音楽をダウンロードする](#))
 - ・ **[スマートフォン]** ペアリング済みスマートフォンの音楽再生をコントロールします。
 - ・ **[音楽アプリの追加]** > **[(音楽プロバイダ名)]** 音楽プロバイダからダウンロード済みの音楽を再生します。(105 ページ [音楽プロバイダから音楽をダウンロードする](#))
- 3 必要な場合、Bluetooth イヤホンを接続します。(106 ページ [Bluetooth イヤホンと接続する](#))
- 4  を選択します。

音楽再生のコントロール

アクティビティ中は、画面を左に**スワイプ**するとミュージックコントロールが開きます。

注意：操作可能なオプションは、音楽ソースにより異なる場合があります。

	コントロールオプションを表示
	音量調整
	再生 / 一時停止
	押す：曲送り 長押し：早送り
	押す：頭出し再生 2 回押す：プレイリストの前の曲に戻る 長押し：早戻し
	リピートモードを変更
	シャッフルモードを変更

Bluetooth イヤホンと接続する

- 1 デバイスと Bluetooth イヤホンを 2m 以内に近付けます。
- 2 Bluetooth イヤホンをペアリングモードにします。
- 3 ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
- 4 **[設定]** > **[音楽]** > **[オーディオ出力]** > **[追加]** の順に選択します。
- 5 検出されたイヤホンを選択して接続を完了します。

オーディオモードを変更する

音楽再生のオーディオをステレオからモノラルに変更できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左に**スワイプ**します。
- 2 **[設定]** > **[音楽]** > **[オーディオ]** の順に選択します。
- 3 任意のオプションを選択します。

セーフティ & トラッキング機能

△注意

セーフティ & トラッキング機能は、補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Garmin Connect アプリがあなたに代わって緊急支援サービスに連絡することはありません。

注意

セーフティ & トラッキング機能を利用するには、デバイスと Garmin Connect アプリを Bluetooth 接続する必要があります。デバイスとペアリング済みのスマートフォンがデータ通信をご利用できる環境にある必要があります。あらかじめ Garmin Connect アカウントに援助要請の連絡先を登録する必要があります。

セーフティ & トラッキング機能について詳しくは Garmin.com/ja-JP/legal/idtermsofuse/ をご参照ください。

援助要請: 援助を要請すると、デバイスから援助要請の連絡先に、氏名、LiveTrack リンク、および GPS 位置情報(利用可能な場合)を含むメッセージが送信されます。(108 ページ [援助要請を送信する](#))

GroupTrack: LiveTrack の位置情報を複数のユーザー間で共有し、GroupTrack 対応デバイスの地図上に各ユーザーの位置を表示します。(108 ページ [GroupTrack セッションを開始する](#))

事故検出: 特定の屋外アクティビティ実行中にデバイスが事故を検出した場合、援助要請の連絡先に LiveTrack リンク、GPS 位置情報(利用可能な場合)を含む自動生成のテキストメッセージを送信します。(107 ページ [事故検出をオン/オフにする](#))

LiveTrack: 友人や家族にリアルタイムで実行中のアクティビティやレースを共有できます。メールまたは SNS で Garmin Connect の LiveTrack 追跡用 URL を送信し、閲覧者を招待します。

援助要請の連絡先を追加する

援助要請の連絡先の電話番号は、セーフティ & トラッキング機能で使用されます。

- 1 Garmin Connect アプリで・・・を選択します。
- 2 **[セーフティ & トラッキング]** > **[セーフティ機能]** > **[援助要請の連絡先]** > **[援助要請の連絡先を追加]** の順に選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

援助要請の連絡先に追加した宛先に、ユーザーの援助要請の連絡先に追加されたことを通知するメッセージが送信されます。受信者は登録を承諾または拒否することができます。登録が拒否された場合は、別の連絡先を選択する必要があります。

連絡先を追加する

Garmin Connect アプリに最大 50 件の連絡先を登録できます。連絡先のメールアドレスは、LiveTrack の招待先として選択できます。また、最大 3 件の連絡先を援助要請の連絡先に登録できます。(107 ページ [援助要請の連絡先を追加する](#))

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 **[連絡先]**を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

連絡先追加後は、デバイスとアプリを同期してください。(98 ページ [Garmin Connect アプリを利用する](#))

事故検出をオン/オフにする

△注意

事故検出機能は、特定の屋外アクティビティ実行中のみに利用可能な補助的な機能です。本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Garmin Connect アプリがあなたに代わって緊急支援サービスに連絡することはありません。

注意

事故検出機能を利用するには、あらかじめ Garmin Connect アプリで援助要請の連絡先を登録する必要があります(107 ページ [援助要請の連絡先を追加する](#))。デバイスとペアリング済みのスマートフォンがデータ通信をご利用できる環境にある必要があります。援助要請の連絡先の受信者が、テキストメッセージを受信する必要があります。(規定の通信料が発生する場合があります。)

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]** > **[セーフティ&トラッキング]** > **[事故検出]** の順に選択します。

3 GPS が有効なアクティビティを選択します。

注意：一部の屋外アクティビティのみ事故検出機能に対応しています。

ペアリング済みのスマートフォンと接続中にデバイスで事故が検出されると、Garmin Connect アプリから援助要請の連絡先にあなたの氏名と位置情報(利用可能な場合)を含むテキストメッセージとメールを送信できます。デバイスとペアリング済みのスマートフォンにメッセージが表示され、15 秒経過すると連絡先に通知されます。援助が必要でなければ、カウントダウンの途中でメッセージの送信をキャンセルできます。

援助要請を送信する

△注意

援助要請機能は補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Garmin Connect アプリがあなたに代わって緊急支援サービスに連絡することはありません。

注意

援助要請機能を利用するには、あらかじめ Garmin Connect アプリで援助要請の連絡先を登録する必要があります (107 ページ [援助要請の連絡先を追加する](#))。デバイスとペアリング済みのスマートフォンがデータ通信をご利用できる環境にある必要があります。援助要請の連絡先の受信者が、テキストメッセージを受信する必要があります。(規定の通信料が発生する場合があります。)

1  を長押しします。

援助要請が起動すると、デバイスが振動します。

2 タイマーのカウントダウンを待ちます。

援助要請の連絡先にメッセージが送信されます。

ヒント：カウントダウンが完了する前にいずれかのキーを長押しすると、送信をキャンセルできます。

GroupTrack セッションを開始する

注意

デバイスとペアリング済みのスマートフォンがデータ通信をご利用できる環境にある必要があります。

GroupTrack セッションを開始するには、デバイスとスマートフォンなどのモバイル端末をペアリングする必要があります。(93 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

次に示す手順は、Approach S72 デバイスで GroupTrack セッションを開始する操作方法です。一部の対応するデバイスでは、地図上に各ユーザーの位置を表示することができます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]** > **[セーフティ & トラッキング]** > **[LiveTrack]** > **[GroupTrack]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[閲覧可能]** GroupTrack セッションを閲覧可能なユーザーを選択します。
- ・ **[地図上に表示]** 地図上に GroupTrack セッションのコネクションを表示します。
- ・ **[アクティビティタイプ]** GroupTrack セッションのコネクションの地図上の表示のオン / オフをアクティビティタイプごとに設定します。

4 デバイスで、屋外アクティビティを開始します。

5 トレーニングページをスクロールして地図を表示し、コネクションを確認します。

GroupTrack セッションのヒント

GroupTrack 機能で、LiveTrack 実行中のグループ内のコネクションを追跡して画面に表示することができます。グループ内のすべてのメンバーは、Garmin Connect アカountのコネクションである必要があります。

- ・ GPS を利用した屋外アクティビティを開始してください。
- ・ デバイスとスマートフォンを Bluetooth 接続でペアリングしてください。
- ・ Garmin Connect アプリで **・・・(詳細)** > **[コネクション]** の順に選択して、GroupTrack セッションのコネクションのリストを更新できます。
- ・ GroupTrack に参加するユーザーが、デバイスとスマートフォンをペアリングして Garmin Connect アプリで LiveTrack セッションを開始していることを確認してください。
- ・ GroupTrack に参加するユーザーが範囲内(40km または 25mi)にいることを確認してください。

- GroupTrack セッション実行中は、地図ページでコネクションの位置を確認できます。

アラーム&タイマー

アラームを設定する

アラームは複数件登録できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[アラーム]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・初めてアラームを設定する場合は、アラームの時刻を入力します。
 - ・アラームを追加するには、**[追加]** を選択してアラームの時刻を入力します。
- 4 下にスクロールしてオプションを表示します。
- 5 **[保存]** を選択します。

アラームを編集する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[アラーム]** の順に選択します。
- 3 アラームを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・**[ステータス]** アラームのオン/オフを設定します。
 - ・**[タイム]** アラームを鳴らす時刻を設定します。
 - ・**[スマート起床]** 最適な睡眠時間をもとに、設定したアラーム時刻の30分前から起床を優しく促すアラームを鳴らします。
注意: スマート起床アラームは、設定した時刻の前と設定時刻の両方でアラームが鳴ります。例えば、アラームを午前8:00に設定すると、午前7:30から8:00の間に優しく起床を促します。
 - ・**[リピート]** アラームを鳴らすスケジュールを設定します。
 - ・**[音/バイブ]** アラームの鳴動パターンを設定します。
注意: アラームのサウンドをプレビューしたり、音量やバイブレーションを変更できます。**[徐々に強くアラーム]** のオプションをオンにすると、アラームが最初は小さく、徐々に大きくなります。
 - ・**[ラベル]** アラーム作動時に表示されるラベルを選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・**[完了]** 編集内容を保存します。
 - ・**[削除]** 設定したアラームを削除します。

スマート起床アラーム

デバイスで計測している睡眠データをもとに、アラーム時刻の30分前から最適なタイミングで起床を促します。例えば、アラームを午前8:00に設定すると、午前7:30から8:00の間に優しく起床を促します。任意のアラームをスマート起床アラームに設定できます。(110 ページ [アラームを設定する](#))

アラームは設定した時刻にも鳴ります。

カウントダウンタイマーを開始する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[タイマー]** の順に選択します。
- 3 タイマーが保存されていない場合は、タイムを設定します。
- 4 タイマーが保存されている場合は、次のオプションを選択します。
 - ・**[クイックタイマー]** クイックタイマーを使用します。(タイマーは保存されません。)
 - ・新しいタイマーを設定するには、**[編集]** > **[タイマーを追加]** の順に選択して、タイマーのカウント時間を設定します。
 - ・保存済みタイマーを選択して使用します。
- 5  を押してタイマーを開始します。
- 6 必要な場合は、次のオプションを選択します。
 - ・タイマーを一時停止するには、 を選択します。
 - ・タイマーをリセットするには、 を選択します。
 - ・タイマーを停止してリセットするには、**[タイマーのキャンセル]** を選択します。
 - ・タイマーを保存するには、画面を左にスワイプして **[タイマー保存]** を選択します。
 - ・カウント終了後にタイマーを自動で再開するには、画面を左にスワイプして **[自動スタート]** を選択します。
 - ・タイマーの鳴動パターンを変更するには、画面を左にスワイプして **[音/バイブ]** を選択します。

タイマーを削除する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[タイマー]** > **[編集]** の順に選択します。
- 3 タイマーを選択します。
- 4 **[削除]** を選択します。

ストップウォッチを使用する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[ストップウォッチ]** の順に選択します。
- 3  を押してタイマーを開始します。
- 4 ラップ①を取得するには、 を押します。



ストップウォッチのタイムは②に表示されます。

- 5  を押してタイマーを停止します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・  を押して合計タイムとラップタイムをリセットします。
 - ・ 計測したタイムをアクティビティとして保存するには、画面を左にスワイプして **[アクティビティ保存]** を選択します。
 - ・ ストップウォッチ画面のラップキーをオン/オフするには、画面を左にスワイプして **[ラップキー]** を選択します。

Alt. タイムゾーンを追加する

追加したタイムゾーンの現在の時刻を表示することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
ヒント：Alt. タイムゾーンは、ウィジェットからアクセスすることもできます。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[Alt. タイムゾーン]** > **[ゾーン追加]** の順に選択します。
- 3 横方向にスワイプして地域をスクロールします。
- 4  を押して地域を選択します。
- 5 タイムゾーンを選択します。

Alt. タイムゾーンを編集する

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
ヒント：Alt. タイムゾーンは、ウィジェットからアクセスすることもできます。(43 ページ [ウィジェット一覧をカスタマイズする](#))
- 2 **[アラーム&タイマー]** > **[Alt. タイムゾーン]** の順に選択します。
- 3 タイムゾーンを選択します。

4  を押します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【お気に入りに設定】** タイムゾーンをお気に入りに設定します。お気に入りに設定すると、ウィジェットに表示されます。
- ・ **【名前を変更】** タイムゾーン名を変更します。
- ・ **【略称】** タイムゾーンの略称を設定します。
- ・ **【ゾーン変更】** タイムゾーンを変更します。
- ・ **【削除】** タイムゾーンを削除します。

カウントダウンイベントを追加する

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **【アラーム&タイマー】** > **【カウントダウン】** > **【追加】** の順に選択します。

3 名前を入力します。

4 年月日を設定します。

5 次のオプションを選択します。

- ・ **【終日】** を選択します。
- ・ **【特定の時間】** を選択してイベントの時刻を設定します。

6 アイコンを選択します。

カウントダウンイベントを編集する

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **【アラーム&タイマー】** > **【カウントダウン】** の順に選択します。

3 任意のカウントダウンイベントを選択します。

4 カウントダウンイベントをお気に入りに設定するには、画面を左にスワイプして **【お気に入りに設定】** を選択します。お気に入りに設定すると、ウィジェットに表示されます。(任意)

5 画面を左にスワイプして **【カウントダウンの編集】** を選択します。

6 編集するオプションを選択します。

- ・ **【名前編集】** イベントの名前を変更します。
- ・ **【日付】** イベントの日付を変更します。
- ・ **【時間】** イベントの時刻を変更します。
- ・ **【アイコン】** イベントのアイコンを変更します。
- ・ **【略称】** イベントの略称を設定します。
- ・ **【位置】** イベントの場所を追加します。
- ・ **【リマインダー】** イベントのリマインダーを設定します。
- ・ **【毎年繰り返す】** イベントを毎年繰り返すにはオンに設定します。
- ・ **【カウントダウンの削除】** イベントを削除します。

パワー管理設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[パワー管理]**の順に選択します。

[バッテリー節約]：ウォッチモードでのバッテリー稼働時間を延ばすために、システム設定を変更します。

[アクティビティのパワーモード]：アクティビティ実行中のバッテリー稼働時間を延ばすために、システム設定を変更します。(113 ページ [パワーモードをカスタマイズする](#))

[バッテリー残量]：バッテリー残量をパーセンテージで表示します。

[バッテリー稼働時間]：残りのバッテリー稼働時間(日数または時間数)の予測値を表示します。

[電池残量低下アラート]：バッテリー残量が低下したときにアラートを表示する残り稼働時間を選択します。

バッテリー節約設定をカスタマイズする

ウォッチモードのバッテリー稼働時間を延ばすために、システム設定を一括で変更します。コントロールメニューからもバッテリー節約をオンにできます。(48 ページ [コントロールメニューをカスタマイズする](#))

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]>[パワー管理]>[バッテリー節約]**の順に選択します。

3 **[ステータス]**をオンにしてバッテリー節約を有効にします。

注意：バッテリー節約をオンに設定すると、バッテリー節約にかかわる各機能の設定がメニューページから非表示または選択不可になります。

4 **[編集]**を選択して、バッテリー節約をオンにしたときに連動して切り替える機能を設定します。

- ・ **[ウォッチフェイス]** **[元の設定を使用]**または**[低電力]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、ウォッチフェイスの設定に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[低電力]**のオプションでは、ウォッチフェイスのデータの更新頻度が一分間に一回になります。
- ・ **[音楽]** ミュージック機能の有効/無効を設定します。
- ・ **[スマートフォン]** **[元の設定を使用]**または**[接続解除]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、スマートフォンとの接続に関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[接続解除]**のオプションでは、スマートフォンと接続されません。
- ・ **[Wi-Fi]** **[元の設定を使用]**または**[接続解除]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、Wi-Fi 接続に関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[接続解除]**のオプションでは、Wi-Fi 接続を使用しません。
- ・ **[光学式心拍計]** **[元の設定を使用]**または**[オフ]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、光学式心拍計に関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[オフ]**のオプションでは、光学式心拍計がオフになります。(光学式心拍計をオフにすると、血中酸素トラッキングもオフになります。)
- ・ **[血中酸素]** **[元の設定を使用]**または**[オフ]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、血中酸素トラッキングに関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[オフ]**のオプションでは、血中酸素トラッキングがオフになります。
- ・ **[常に表示]** **[元の設定を使用]**または**[無効]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、ディスプレイに関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[無効]**のオプションでは、デバイスを使用していないときディスプレイがオフになります。
- ・ **[輝度]** **[元の設定を使用]**または**[下げる]**を選択します。**[元の設定を使用]**のオプションでは、輝度に関する機能に変更はなく、元の設定をそのまま使用します。**[下げる]**のオプションでは、ディスプレイの輝度を低くします。
- ・ **[起動ワード]** 音声コマンドの起動ワードを無効にします。
- ・ **[アラートでオン]** 通知やアラートを受信したときに画面が点灯しないようにします。
- ・ **[ジェスチャーでオン]** ジェスチャー(腕を上げて時計を見る動作)をしたときに画面が点灯しないようにします。

バッテリー稼働時間の増減数が各設定の下に表示されます。

5 **[電池残量低下アラート]**を選択して、バッテリー残量が低下したときにアラートを表示する残り稼働時間を選択します。

パワーモードをカスタマイズする

デバイスにはいくつかのパワーモードがあらかじめ登録されています。パワーモードを使用すると、システムやGPSなどの設定をアクティビティ実行中に一括で変更でき、アクティビティ実行中のバッテリー稼働時間を延ばすことができます。

1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。

2 **[設定]>[パワー管理]>[アクティビティパワーモード]**の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ パワーモードを選択して、設定をカスタマイズします。
- ・ **[追加]**を選択してパワーモードを新規作成します。

- 4 必要な場合は、パワーモード名を入力します。
- 5 任意のオプションを選択してパワーモードをカスタマイズします。
たとえば、衛星設定を変更したり、ペアリング済みのスマートフォンとの接続を解除したりできます。**【リセット】**を選択すると、パワーモードを初期設定に戻すことができます。
バッテリー稼働時間の増減数が各設定の下に表示されます。
- 6 必要な場合は、**【完了】**を選択してカスタマイズしたパワーモードを保存して使用します。

アクセシビリティ

デバイスにはカスタムカラーフィルタ、ウォッチフェイスデータの読み上げ、その他の音声や表示に関する設定などのアクセシビリティ機能があります。

アクセシビリティ設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】** > **【アクセシビリティ】** の順に選択します。

- 【カラーフィルタ】**：色覚補正や視認性向上のためにすべての画面のカラーモードを調整します。赤、緑、青などの特定の色を除去したり、**【グレースケール】** を選択してすべての色を取り除くことができます。
- 【毎時アラート】**：毎正時にアラートします。アラートのサウンド、バイブレーション、音声読み上げの設定をカスタマイズできます。
- 【音声コマンド】**：音声コマンドで使用する言語を設定し、音声コマンド用の起動ワード「OK Garmin」のオン / オフを切り替えます
- 【音声アシスタント】**：音声アシスタント用の起動ワードのオン / オフを切り替えます。(94 ページ [音声アシスタントを使用する](#))

システム設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[システム]**の順に選択します。

[言語]：デバイスの表示言語を選択します。(116 ページ [表示言語を変更する](#))

[ショートカット]：キー操作にショートカットを割り当てます。(116 ページ [ショートカット設定をカスタマイズする](#))

[パスコード]：パスコードを設定すると、デバイスを手首から取り外したときにロックされ、個人情報のセキュリティを強化することができます。ロック解除用の 4 桁のパスコードを設定します。(116 ページ [デバイスのパスコードを設定する](#))

[サイレントモード]：サイレントモードをオン / オフします。サイレントモード中の通知やディスプレイの設定をカスタマイズします。

[コンパス]：内蔵のコンパスを校正します。コンパス設定をカスタマイズします。(117 ページ [コンパス](#))

[高度計と気圧計]：内蔵の気圧高度計を校正します。気圧高度計の設定をカスタマイズします。(118 ページ [高度計と気圧計の設定](#))

[時刻]：時刻表示を設定します。(118 ページ [時刻設定](#))

[キーボード]：ウォッチで使用する標準のキーボード言語とレイアウトを設定します。キーボードオプションを追加したり、標準のキーボードを変更することができます。(119 ページ [ウォッチの標準キーボードを変更する](#))

[音声]：音声の言語、音声タイプ、音声コマンドと音声アシスタントの起動ワードのオン / オフを設定します(119 ページ [起動ワードを有効にする](#))。アクティビティ中のオーディオアラートを設定できます。(38 ページ [アクティビティ実行中にオーディオアラートを再生する](#))

[フラッシュライト]：フラッシュライトのストロボ、遭難信号パターン、ショートカット機能を設定します。(48 ページ [LED フラッシュライトを使用する](#))

[アドバンス設定]：単位設定、データ記録設定、USB モード設定などのシステムのアドバンス設定を行います。(119 ページ [システムのアドバンス設定](#))

[復元とリセット]：デバイスのバックアップ設定をカスタマイズします。デバイスの設定をリセットします。(120 ページ [復元とリセットの設定](#))

[ソフトウェア更新]：ダウンロード済みのソフトウェア更新をインストールします。自動更新のオプションをオンにするか、手動で更新を確認できます。(116 ページ [システム設定](#))

[バージョン情報]：デバイス情報、ソフトウェアバージョン、ライセンス情報、規制情報などのデバイスに関する情報を確認します。(121 ページ [デバイスの情報を確認する](#))

表示言語を変更する

デバイスの表示言語を変更します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2  を選択します。
- 3  を選択します。
- 4  を選択します。
- 5 **[日本語]**を選択します。

ショートカット設定をカスタマイズする

設定したキーの長押しで選択した機能にすばやくアクセスするショートカットを設定します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[システム]>[ショートカット]**の順に選択します。
- 3 キー単体またはキーの組み合わせを選択します。
- 4 機能を選択します。

デバイスのパスコードを設定する

注意

パスコードを 3 回間違えると、デバイスが一定時間ロックされます。5 回間違えると、Garmin Connect アプリでパスコードをリセットするまでデバイスがロックされます。スマートフォンとデバイスがペアリングされていない場

合は、5 回間違えた時点でデバイスのデータと設定が初期化されます。

パスコードを設定すると、デバイスを手首から取り外したときにロックされ、個人情報のセキュリティを強化することができます。ロック解除に必要な 4 桁のパスコードは、Garmin Pay ウォレットのパスコードと共通です。[\(20 ページ Garmin Pay\)](#)

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[システム]>[パスコード]>[パスコード設定]**の順に選択します。
- 3 4 桁のパスコードを入力します。

デバイスがロックされると、利用可能な機能が制限されます。すべての機能にアクセスするには、設定したパスコードを入力する必要があります。

デバイスのパスコードを変更する

パスコードを変更するには、現在のパスコードの入力が必要です。パスコードを忘れてしまった場合、またはパスコードを 3 回以上間違えた場合は、Garmin Connect アプリでパスコードをリセットする必要があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[システム]>[パスコード]>[パスコードの変更]**の順に選択します。
- 3 現在のパスコードを入力します。
- 4 新しいパスコードを入力します。

デバイスがロックされると、利用可能な機能が制限されます。すべての機能にアクセスするには、設定したパスコードを入力する必要があります。

パスコードをオフにする

注意：パスコードをオフにするには、現在のパスコードが必要です。パスコードを忘れた場合やパスコードの入力を繰り返し間違えた場合、Garmin Connect アプリでリセットする必要があります。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]>[システム]>[パスコード]>[パスコード]>[ウォレットのみ]**の順に選択します。
- 3 現在のパスコードを入力します。

Garmin Pay ウォレット以外のパスコードがオフになります。

コンパス

デバイスには、自動校正の 3 軸電子コンパスが内蔵されています。コンパスの機能と表示は、ユーザーのアクティビティや GPS の設定、ナビゲーションの実行の有無によって異なります。コンパス設定を手動で変更できます ([117 ページ コンパス設定](#))。コントロールメニュー ([45 ページ コントロールメニュー](#)) またはウィジェット ([41 ページ ウィジェット](#))、トレーニングページ ([34 ページ トレーニングページをカスタマイズする](#)) からコンパスを表示できます。

コンパス設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]>[システム]>[コンパス]**の順に選択します。

[校正]：コンパス校正を開始します。 ([117 ページ 手動でコンパスを校正する](#))

[表示]：方位の表示方法を、文字方位または度、ミルから選択します。

[方位基準]：北の定義を選択します。

[磁針偏差を入力]：地磁気の北の磁針偏差を設定します。

注意：このオプションは **[方位基準]** で **[ユーザー]** を選択している場合に表示されます。

[モード]：コンパスの設定を、移動中は GPS 方位と電子コンパスを使用する (自動)、GPS 方位のみを使用する、磁力計を使用するから選択します。

手動でコンパスを校正する

注意

コンパス校正は、周辺に磁気を帯びた機器のない場所で実施してください。パソコンの近くやマグネットが張り付く机などの上では、成功しない場合があります。自動車やビルの近く、頭上に電線のある場所を避け、屋外で実施することをお勧めします。

デフォルトの設定では、自動校正がオンに設定されています。コンパスが異常な動作をする場合や、長距離を移動した後や極端な温度変化があった場合には、手動で校正を行ってください。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[システム]** > **[コンパス]** > **[校正]** の順に選択します。
- 3 メッセージが表示されるまで、デバイスを装着した腕で小さく 8 の字を描きます。

方位基準を設定する

北の定義を選択します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[システム]** > **[コンパス]** > **[方位基準]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[真北]** 北極点の方向に方位基準を設定します
 - ・ **[磁北]** 磁石が指し示す地磁気の北方向(偏差を考慮しない)を方位基準に設定します。
 - ・ **[グリッド]** グリッド航法時に使用します。
 - ・ **[ユーザー]** 磁気偏差を手動で設定します。磁気偏差値を入力してから **[完了]** を選択します。

気圧高度計

デバイスには、気圧高度計が内蔵されています。デバイスは低電力モード中であっても継続的に高度と気圧のデータを収集しています。高度計は気圧の変化を基に推定高度を表示します。気圧計は高度計が最後に校正された高度データを基に環境圧データを表示します(118 ページ [高度計と気圧計の設定](#))。高度計ウィジェットまたは校正気圧ウィジェットで  を選択すると、高度計または気圧計の設定にすばやくアクセスできます。高度計と気圧計のデータは、45 ページ [コントロールメニュー](#) や 41 ページ [ウィジェット](#)、15 ページ [アプリ](#) から確認できます。

高度計と気圧計の設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[システム]** > **[高度計と気圧計]** の順に選択します。

[校正]：高度計と気圧計を手動校正します。

[自動校正]：気圧高度計を自動校正します。**[オン]** に設定すると、手動校正時のデータや地図データ、DEM データ、GPS データなどからアクティビティ開始時点とアクティビティ実行中、および夜間(睡眠時間中)に高度が自動校正されます。**[夜間]** に設定すると、夜間(睡眠時間中)に高度が自動校正され、アクティビティの開始時に現在の高度の校正値を確認する画面が表示されます。

[センサーモード]：センサーのモードを設定します。**[自動]** は、デバイスの使用状況に応じて高度と気圧の両方を使用します。**[高度計のみ]** は、高度計のみ使用し、高低差のある環境での使用が推奨されます。**[気圧計のみ]** は、気圧計のみ使用し、高低差の少ない環境での使用が推奨されます。

[高度]：高度の表示単位を選択します。

[気圧]：気圧の表示単位を選択します。

[気圧計プロット]：気圧ウィジェットのグラフの表示期間を設定します。

気圧高度計を校正する

気圧高度計は工場出荷時に校正されています。また、デフォルトの設定では、自動校正がオンに設定されています。現在地の正確な高度が分かる場合は、手動で気圧高度計を校正できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[システム]** の順に選択します。
- 3 **[高度計と気圧計]** を選択します。
- 4 **[校正]** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ 現在地の正確な高度を入力するには、**[校正]** > **[手動入力]** を選択します。
 - ・ 数値標高モデル(DEM)を使用して校正するには、**[DEMを使用]** を選択します。(DEM校正を行うには、スマートフォン接続が必要です。)
 - ・ GPS の位置情報を使用して校正するには、**[GPSを使用]** を選択します。

時刻設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**[設定]** > **[システム]** > **[時刻]** の順に選択します。

[時刻表示形式]：時間の表示方法を **[12 時間]** / **[24 時間]** / **[ミリタリー]** から選択します。

【日付の形式】：日付の表示形式を選択します。

【時刻設定】：時刻を設定します。自動のオプションを選択すると、GPSを受信したときに現在地のタイムゾーンの時刻に設定されます。

【時刻】：時刻設定で手動のオプションを選択した場合に、時刻を手動で設定します。

【時刻同期】：時刻をGPSと手動で同期します。(119 ページ [時刻を同期する](#))

時刻を同期する

デバイスの時刻は、衛星信号受信時または Garmin Connect アプリを開いたときにタイムゾーンと現在の時刻が自動設定されます。タイムゾーンを変更したいときや、サマータイムを更新したいときなどに、次の手順で時刻を同期することができます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】>【システム】>【時刻】>【時刻同期】**の順に選択します。
- 3 デバイスがペアリング済みのスマートフォンと接続されるか、衛星の受信が完了するのを待ちます。
ヒント：画面を上にもスワイプして、同期するソースを変更できます。

ウォッチの標準キーボードを変更する

ウォッチで使用する標準のキーボード言語とレイアウトを変更できます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】>【システム】>【キーボード】**の順に選択します。
- 3 **【追加】**を選択し、キーボードを選択します。キーボードオプションが一覧表示されます。
- 4 キーボードを選択し、画面をスクロールしてリストの先頭に移動させます。標準キーボードには★が表示されます。

起動ワードを有効にする

音声コマンドと音声アシスタントの起動ワードを有効にします。

注意：これらの設定を有効にするとバッテリーを消費します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】>【システム】>【音声】**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【OK Garmin】** 音声コマンドの起動ワードを有効にします。(18 ページ [音声コマンドを使用する](#))
 - ・ **【ヘイアシスタント】** 音声アシスタントの起動ワードを有効にします。(94 ページ [音声アシスタントを使用する](#))

システムのアドバンス設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】>【システム】>【アドバンス設定】**の順に選択します。

【フォーマット】：表示単位、アクティビティのペース/スピード表示、週の開始日を設定します。(119 ページ [表示単位を変更する](#))

【データ記録】：アクティビティのデータ記録間隔を設定します。(119 ページ [データ記録設定](#))

【USB モード】：デバイスをPCに接続するときのモードをMTP(メディア転送)モードかGarminモードから選択します。

表示単位を変更する

表示単位に関する設定を行います。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】>【システム】>【アドバンス設定】>【フォーマット】>【単位】**の順に選択します。
- 3 計測の種類を選択します。
- 4 表示単位を選択します。

データ記録設定

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】>【システム】>【アドバンス設定】>【データ記録】**の順に選択します。

【頻度】：アクティビティのデータ記録間隔を設定します。**【スマート】**のオプション(デフォルト設定)を選択すると、より長時間のアクティビティを記録できます。**【毎秒】**のオプションを選択すると、データの記録精度が向上し

ますが、長時間のアクティビティを記録できない場合があります。

【心拍変動記録】：心拍変動記録のオン/オフを設定します。オンに設定すると FIT ファイルに心拍変動データが記録されます。(59 ページ [HRV ステータス](#))

【位置情報の強化】：GPS データを収集し、デバイスに保存したアクティビティの軌跡を Garmin Connect で処理して補正します。このオプションを有効にすると、Garmin Connect へのデータのアップロードに時間がかかる場合があります。一部アクティビティのみ対応しています。

復元とリセットの設定

Garmin デバイスの設定をバックアップして、Garmin Connect アプリで別の対応する Garmin デバイスに復元することができます(120 ページ [Garmin Connect から設定とデータを復元する](#))。バックアップにはアクティビティプロフィール、ウィジェット、ユーザー設定、ワークアウトなどが含まれます。

ウォッチフェイスページで  を押して、**【設定】>【システム】>【復元とリセット】**の順に選択します。

【自動バックアップ】：Garmin Connect アカウントに定期的にデバイスの設定をバックアップします。

【今すぐバックアップ】：Garmin Connect アカウントに手動でバックアップを作成します。

【コンテンツのバックアップ】：バックアップするコンテンツのタイプを選択します。

デバイス設定は自動的にバックアップの対象に含まれています。

【リセット】：デバイスの設定やデータをリセットします。(120 ページ [初期設定にリセットする](#))

Garmin Connect から設定とデータを復元する

- 1 Garmin Connect アプリで・・・(詳細)を選択します。
- 2 **【Garmin デバイス】**を選択して、デバイスを選択します。
- 3 **【システム】>【復元とリセット】>【デバイスのバックアップ】**の順に選択します。
- 4 リストから復元するバックアップファイルを選択します。
- 5 **【バックアップから復元する】>【リセット】**の順に選択します。
- 6 画面に表示される指示に従って操作します。
- 7 アプリとの同期が完了するのを待ちます。
- 8 デバイスで  を押し、 を選択します。

デバイスが再起動して、バックアップから設定とデータが復元されます。

- 9 画面に表示される指示に従って操作します。

初期設定にリセットする

リセットを実行する前に、必要なデータは Garmin Connect アカウントに同期してください。

デバイスの設定やデータをリセットします。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **【設定】>【システム】>【復元とリセット】>【リセット】**の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **【設定リセット】** デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットします。(アクティビティデータと音楽データは保持されます。)
 - ・ **【全アクティビティ削除】** デバイスに保存されているすべてのアクティビティデータを削除します。
 - ・ **【合計リセット】** デバイスの合計距離と合計タイムをリセットします。
 - ・ **【データ削除と設定リセット】** デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットし、すべてのアクティビティデータと音楽データを削除します。
注意：このオプションを選択した場合、デバイスに登録済みの Garmin Pay ウォレットとデバイスに保存されている音楽データは削除されます。
 - ・ **【一時ファイルを削除】** デバイスのすべての一時ファイルを削除します。

デバイスを手動で再起動する

デバイスがフリーズしたり応答しなくなった場合は、次の手順でウォッチを強制的に再起動してください。

- ・ デバイスの電源がオフになるまで、 を長押しします。電源がオフになったら、再度  を長押ししてデバイスを起動します。
- ・ USB-C® の充電ポートにデバイスを接続します。30 秒以上経ったら、一度チャージングケーブルを取り外し、再

度接続します。

デバイスをリカバリーモードから復旧する

ソフトウェアの問題を解決できない場合、リカバリーモードのオプションが表示されます。

リカバリーモードのオプションを1つ以上選択してください。

 Attempt Recovery	ソフトウェアの問題を修復するための最も一般的な方法です。ほとんどの場合、アクティビティデータは失われません。
 Help	二次元コードをスキャンして、Garmin オンラインサポートセンターの最新のトラブルシューティング情報にアクセスします。
 Cancel Activity	現在アクティビティを記録中の場合は、そのアクティビティをキャンセルします。 注意 現在のアクティビティデータは削除されます。
 Delete Maps	ウォッチから地図ファイルを削除します。 注意 このオプションを使用した後は、Garmin Express ソフトウェアと同期して最新の地図アップデートを取得することをおすすめします。
 Connect to Computer	ウォッチをコンピューターに接続できるようにします。接続後は Garmin Express を使用してソフトウェアを更新できます。
 Factory Reset	デバイスを工場出荷時の設定に戻します。 注意 すべてのユーザーデータ、設定、およびペアリング情報が削除されます。Garmin Golf アカウントに同期済みのデータは復元できます。
 Power Off	デバイスの電源をオフにします。

製品のアップデート

PC をご使用の場合は、Garmin Express ([Garmin.com/express](https://garmin.com/express)) をインストールします。スマートフォンをご使用の場合は Garmin Golf アプリをインストールします。

次のサービスをご利用いただけます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図データのアップデート
- コースデータのアップデート
- Garmin Golf へのデータアップロード
- 製品の登録

デバイスの情報を確認する

デバイスのユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス契約などの情報を確認します。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[設定]** > **[システム]** > **[バージョン情報]** の順に選択します。

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する

デバイスのラベルを電子的に確認できます。e ラベルでは、FCC または地域のラベル規制によって提供される識別番号などの規制情報、該当する製品およびライセンス情報が表示されます。

- 1 ウォッチフェイスページで画面を左にスワイプします。
- 2 **[ウォッチの設定]** > **[システム]** の順に選択します。
- 3 **[バージョン情報]** を選択します。

デバイス情報

AMOLED ディスプレイについて

デバイスのバッテリー稼働時間とパフォーマンスは、デフォルトの設定で最適化されています。

AMOLED ディスプレイは画像の焼き付きを引き起こしやすいという特性を持ちます。ディスプレイの表示寿命を損なわないために、高輝度の静止画を長時間表示することを避ける必要があります。焼き付きを最小限にするために、デバイスのディスプレイはディスプレイのタイムアウト設定時間が経過すると自動で消灯します(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))。手首を体の方に返す動作(ジェスチャー)や、タッチスクリーンのタップ、キーの押下でディスプレイを点灯させることができます。

デバイスを充電する

警告

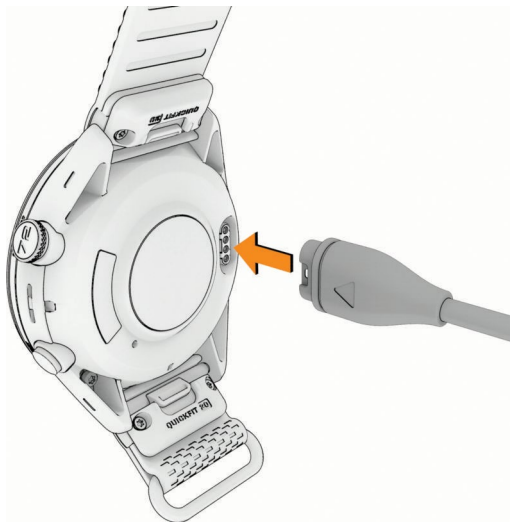
本製品はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーを安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

注意

さびや腐食の原因となりますので、本体およびチャージングケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電または PC 接続の前に必ずクリーニングしてください。(123 ページ [お取り扱い上の注意事項](#))

デバイスには、チャージングケーブルが付属しています。別売のアクセサリや交換用パーツをお求めの際は、Garmin.co.jp にアクセスするか、Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

- 1 チャージングケーブルの▲マークのある方の端子を、デバイスの裏面にある充電端子に接続します。



- 2 チャージングケーブルのもう一方の端子を、PC の USB-C のポートまたは AC アダプター(最小出力パワー 5W)に接続します。デバイスに現在の充電レベルが表示されます。
- 3 充電レベルが 100%になったら、デバイスとチャージングケーブルを取り外します。

仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー
防水性能	5 ATM *
動作・保管温度範囲	-20 ~ 55°C
充電温度範囲	0 ~ 45°C
無線周波数および送信出力	2400 ~ 2483.5 MHz: < 20 dBm 13.56 MHz: < 42 dBuA/m(10 m において)
SAR 値	Approach S72 - 43mm(A05146) : 四肢 0.67 W/kg、頭部 0.10 W/kg Approach S72 - 47mm(A05147) : 四肢 0.36 W/kg、頭部 0.10 W/kg 未満

* 水深 50m に相当する圧力に耐えられます。防水性能について、詳しくは Garmin.com/waterrating をご参照ください。

バッテリー稼働時間

バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、GPS モードや内部センサー、接続中のセンサー、ライフログ、光学式心拍計、血中酸素トラッキングなどの設定、スマートフォン通知の頻度、各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

モード	Approach S72 - 43 mm バッテリー稼働時間	Approach S72 - 47 mm バッテリー稼働時間
スマートウォッチモード	約 10 日間	約 16 日間
ゴルフアクティビティモード	約 15 時間	約 20 時間

バッテリーの稼働時間を長くするには

次のいずれかまたは複数の方法をお試しください。

- アクティビティ中のパワーモードを変更してください。
 - コントロールメニューでバッテリー節約をオンにしてください。(45 ページ [コントロールメニュー](#))
 - バッテリーウィジェットでバッテリーの使用状況の詳細を確認したり、システム設定を調整してください。(41 ページ [ウィジェット](#))
 - ディスプレイのタイムアウトを短く設定してください。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
 - フラッシュライトの輝度を下げて、ストロボ設定を調整してください。(48 ページ [フラッシュライトストロボをカスタマイズする](#))
 - ディスプレイの【常に表示】のオプションをオフに設定し、タイムアウトを短く設定してください。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
 - ディスプレイの輝度を低く設定してください。(76 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
 - 音声コマンドと音声アシスタントの起動ワードを無効にします。(119 ページ [起動ワードを有効にする](#))
 - アクティビティ中は、バッテリー稼働時間を優先する GNSS 衛星モードを使用してください。(39 ページ [GPS 設定を変更する](#))
 - 必要のないときはコントロールメニューから Bluetooth 接続をオフにしてください。(45 ページ [コントロールメニュー](#))
 - アクティビティ中にタイマーを一時停止してしばらく走行しないときは、【後で再開】オプションを選択してください。(22 ページ [アクティビティを終了する](#))
 - スマートフォンの通知を制限してください。(94 ページ [通知機能を有効にする](#))
 - 心拍転送モードをオフに設定してください。(78 ページ [心拍転送モード](#))
 - 光学式心拍計をオフにします。(78 ページ [光学式心拍計設定](#))
- 注意：**光学式心拍計による心拍数のモニタリングが行われないと、週間運動量(高強度運動)と消費カロリーは計測されません。
- 血中酸素トラッキングのモードを【手動】に設定してください。(79 ページ [血中酸素トラッキングのモードを設定する](#))

お取り扱い上の注意事項

注意

デバイスを傷めるおそれがあるため、クリーニングの際に先のとがったものを使用しないでください。

タッチスクリーンを傷付けるおそれがありますので、タッチスクリーンの操作に硬いものや先のとがったものを使用しないでください。

マイクホールまたはスピーカーホールに日焼け止めやその他の化学薬品を塗布しないでください。ホールが目詰まりするなどして、マイクおよびスピーカーの性能が低下するおそれがあります。

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

塩素や海水、日焼け止めクリーム、化粧品、アルコール、その他刺激の強い化学薬品等が本製品に付着した場合は、真水で洗い流し、柔らかい布で水分をしっかりと拭き取ってください。

水中でキー操作を行わないでください。

製品寿命を縮めるおそれがありますので、机や床等に落とすなどの強い衝撃を与えないでください。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

クリーニング方法

△注意

デバイスを長期間装着すると、特に敏感肌やアレルギーをお持ちの方は、皮膚に炎症やかぶれが生じることがあります。皮膚に炎症やかぶれが生じた場合には、症状が改善するまでデバイスを取り外してください。皮膚の炎症やかぶれを防ぐため、デバイスを常に清潔で乾燥した状態に保ってください。腕に装着する際は、デバイスを手首に締め付けすぎないようにしてください。

注意

さびや腐食の原因となりますので、本体およびチャージングケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電または PC 接続の前に必ずクリーニングしてください。

詳しくは Garmin.com/fitandcare をご参照ください。

1 真水ですすぐか、湿らせたリントフリークロスを使用します。

2 デバイスを完全に乾かします。

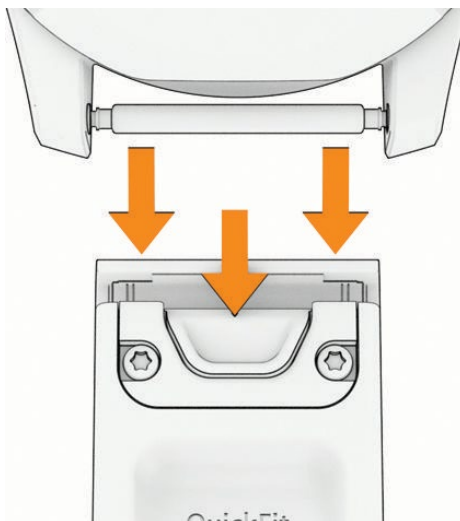
注意：水泳や入浴の後、またはデバイスが水に濡れた後は、スピーカーやマイクの開口部に残った水分により、一時的に音が小さくなる場合があります。これは故障ではありませんが、水分が完全に蒸発するまで一日程度かかる場合があります。ポートの排水を補助する機能を使用することもできます。(45 ページ [コントロールメニュー](#))

ナイロンストラップのクリーニング方法

- ・ ナイロンストラップは、食器用洗剤などの中性洗剤を使用して手洗いしてください。
- ・ ナイロンストラップは、洗濯機や乾燥機を使用して洗浄または乾燥できません。
- ・ ナイロンストラップを乾かすときは、吊るすか平干しして、完全に乾かしてください。
- ・ 詳しくは Garmin.com/fitandcare をご参照ください。

QuickFit バンドを交換する

1 バンドのラッチ(留め具)を矢印の方向へスライドし、バンドをデバイス本体から取り外します。



2 新しいバンドをウォッチのピンに合わせます。

3 バンドを押し込みます。

注意：ラッチが閉じてバンドがしっかりと固定されていることをお確かめください。

4 手順 1～3 を繰り返して反対側のバンドも交換します。

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、Garmin のウェブサイト(Garmin.co.jp)をご参照ください。

- ・ 製品のマニュアル、サポート記事、およびソフトウェア更新については、support.Garmin.com にアクセスしてください。
- ・ 別売のアクセサリまたはパーツの購入については、Garmin.co.jp にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

- ライフログとフィットネス測定の精度については、[Garmin.com/ataccuracy](https://garmin.com/ataccuracy) をご参照ください。
このデバイスは医療用機器ではありません。

付録

VO2 Max レベル分類表

これらの表は、VO2 Max の推定値を年齢や性別により標準化して分類したものです。

男性	パーセンタイル	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳
優れている	95 (上位 5%以上)	55.4	54	52.5	48.9	45.7	42.1
非常に良い	80 (上位 20%以上)	51.1	48.3	46.4	43.4	39.5	36.7
良い	60 (上位 40%以上)	45.4	44	42.4	39.2	35.5	32.3
普通	40 (上位 60%以上)	41.7	40.5	38.5	35.6	32.3	29.4
悪い	0 ～ 40 (上位 60%未満)	41.7 未満	40.5 未満	38.5 未満	35.6 未満	32.3 未満	29.4 未満

女性	パーセンタイル	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳
優れている	95 (上位 5%以上)	49.6	47.4	45.3	41.1	37.8	36.7
非常に良い	80 (上位 20%以上)	43.9	42.4	39.7	36.7	33	30.9
良い	60 (上位 40%以上)	39.5	37.8	36.3	33	30	28.1
普通	40 (上位 60%以上)	36.1	34.4	33	30.1	27.5	25.9
悪い	0 ～ 40 (上位 60%未満)	36.1 未満	34.4 未満	33 未満	30.1 未満	27.5 未満	25.9 未満

データは、The Cooper Institute の許可を得て転載しています。詳しくは www.CooperInstitute.org をご覧ください。

ランニングダイナミクスデータとカラーゲージ

ランニングダイナミクスページのメインデータ項目には、カラーゲージが表示されます。メインデータ項目はカスタマイズできます。カラーゲージは、ユーザーのランニングダイナミクスデータが他のランナーのデータと比較してどのあたりに位置するのかわかるものです。カラーゾーンはパーセンタイルに基づきます。

Garmin が実施した異なるレベルのランナーの調査結果では、レッドからオレンジのゾーンの値のランナーは典型的な経験不足で遅いランナーであり、グリーン、ブルー、パープルのゾーンの値のランナーは典型的な経験豊富で速いランナーであることを示しています。経験豊富で速いランナーほど、接地時間(GCT)が短く、上下動と上下動比が小さく、ステップスピードロスが小さく、ピッチが速い傾向があります。例外的に、背の高いランナーはわずかにピッチが遅く、歩幅が長く、上下動が大きくなる傾向があります。上下動比は、上下動÷歩幅で求められる割合(%)です。身長との相関関係はありません。

ランニングダイナミクスについて、詳しくは Garmin.com/runningdynamics をご参照ください。ランニングダイナミクスのデータ解釈や理論は、走法などにより様々ではありません。それらに関する情報は、専門の書籍やウェブサイト等をご覧ください。

カラーゾーン	パーセンタイル	ピッチ	接地時間	ステップスピードロス
 パープル	95 超	185 spm 超	218 ms 未満	8.2 cm/s 未満
 ブルー	70 ～ 95	174 ～ 185 spm	218 ～ 248 ms	8.2 ～ 12.1 cm/s
 グリーン	30 ～ 69	163 ～ 173 spm	249 ～ 277 ms	12.2 ～ 19.7 cm/s
 オレンジ	5 ～ 29	151 ～ 162 spm	278 ～ 308 ms	19.8 ～ 25.9 cm/s

カラーゾーン	パーセンタイル	ピッチ	接地時間	ステップスピードロス
 レッド	5 未満	151 spm 未満	308 ms 超	25.9 cm/s 超

GCT バランス

接地時間バランスは、ランニングの対称性を測定する指標で、合計接地時間に対する割合で示されます。例えば、左向きの矢印に 51.3% と表示された場合、ランナーは左足の接地時間が長いことを示します。48-52 のように画面に二つの数字が表示される場合は、左足が 48%、右足が 52%であることを示します。

カラーゾーン	 レッド	 オレンジ	 グリーン	 オレンジ	 レッド
対称性	悪い	普通	良い	普通	悪い
ランナー分布	0.05	0.25	0.4	0.25	0.05
GCT バランス	左 52.2% 超	左 50.8 ~ 52.2%	左 50.7%- 右 50.7%	右 50.8 ~ 52.2%	右 52.2% 超

ランニングダイナミクスの開発試験中、Garmin のチームは特定のランナーにおいてけがとバランスの悪さの間に相関関係があることを発見しました。多くの場合、坂を上っているときまたは下っているときは、接地時間バランスが 50-50 からかけ離れる傾向があります。多くのランニングコーチは、左右対称のランニングフォームが望ましいと考えています。エリートクラスのランナーは、素早くバランスの取れたストライドで走る傾向があります。

ランニング中にゲージやデータ項目を確認しながら走ったり、後から Garmin Connect アカウントで概要を確認することができます。ほかのランニングダイナミクスデータと同様に、接地時間バランスはランニングフォームを定量的に測定するための指標です。

上下動と上下動比

上下動と上下動比は、センサーを胸に装着しているか (HRM 600 または HRM-Fit、HRM-Pro シリーズのアクセサリ)、ウエストに装着しているか (ランニングダイナミクスポッド) によって数値の幅がわずかに異なります。

カラーゾーン	パーセンタイル	上下動 (胸部)	上下動 (ウエスト)	上下動比 (胸部)	上下動比 (ウエスト)
 パープル	95 超	6.4 cm 未満	6.8 cm 未満	6.1% 未満	6.5% 未満
 ブルー	70 ~ 95	6.4 ~ 8.1 cm	6.8 ~ 8.9 cm	6.1 ~ 7.4%	6.5 ~ 8.3%
 グリーン	30 ~ 69	8.2 ~ 9.7 cm	9.0 ~ 10.9 cm	7.5 ~ 8.6%	8.4 ~ 10.0%
 オレンジ	5 ~ 29	9.8 ~ 11.5 cm	11.0 ~ 13.0 cm	8.7 ~ 10.1%	10.1 ~ 11.9%
 レッド	5 未満	11.5 cm 超	13.0 cm 超	10.1% 超	11.9% 超

ランニングエコノミー分類表

カラーゾーン	レーティング	男性	女性
 ピンク	エリート	185 未満	190 未満
 パープル	優れている	185 ~ 189	190 ~ 194
 ブルー	エキスパート	190 ~ 194	195 ~ 199
 グリーン	高度な経験者	195 ~ 204	200 ~ 209
 イエロー	経験者	205 ~ 214	210 ~ 219
 オレンジ	中級者	215 ~ 224	220 ~ 229
 レッド	レクリエーション	224 超	229 超

持久力スコア分類表

年齢・性別で分類された持久力スコアは次の表をご参照ください。

男性	レクリエーション	中級者	経験者	高度な経験者	エキスパート	優れている	エリート
18～20歳	4999以下	5000～5699	5700～6299	6300～6999	7000～7599	7600～8299	8300以上
21～39歳	5099以下	5100～5799	5800～6599	6600～7299	7300～8099	8100～8799	8800以上
40～44歳	5099以下	5100～5799	5800～6499	6500～7199	7200～7899	7900～8599	8600以上
45～49歳	4999以下	5000～5699	5700～6399	6400～6999	7000～7699	7700～8399	8400以上
50～54歳	4899以下	4900～5499	5500～6099	6100～6799	6800～7399	7400～7999	8000以上
55～59歳	4599以下	4600～5099	5100～5699	5700～6199	6200～6799	6800～7299	7300以上
60～64歳	4299以下	4300～4799	4800～5299	5300～5699	5700～6199	6200～6699	6700以上
65～69歳	4099以下	4100～4499	4500～4899	4900～5399	5400～5799	5800～6199	6200以上
70～74歳	3799以下	3800～4199	4200～4599	4600～4899	4900～5299	5300～5699	5700以上
75～80歳	3599以下	3600～3899	3900～4299	4300～4599	4600～4999	5000～5299	5300以上
80歳以上	3299以下	3300～3599	3600～3999	4000～4299	4300～4699	4700～4999	5000以上

女性	レクリエーション	中級者	経験者	高度な経験者	エキスパート	優れている	エリート
18～20歳	4599以下	4600～5099	5100～5499	5500～5999	6000～6399	6400～6899	6900以上
21～39歳	4699以下	4700～5199	5200～5699	5700～6299	6300～6799	6800～7299	7300以上
40～44歳	4699以下	4700～5199	5200～5699	5700～6199	6200～6699	6700～7199	7200以上
45～49歳	4599以下	4600～5099	5100～5599	5600～6099	6100～6599	6600～7099	7100以上
50～54歳	4499以下	4500～4999	5000～5399	5400～5899	5900～6299	6300～6799	6800以上
55～59歳	4299以下	4300～4699	4700～5099	5100～5599	5600～5999	6000～6399	6400以上
60～64歳	4099以下	4100～4499	4500～4899	4900～5299	5300～5699	5700～6099	6100以上
65～69歳	3799以下	3800～4199	4200～4599	4600～4899	4900～5299	5300～5699	5700以上
70～74歳	3699以下	3700～4099	4100～4399	4400～4799	4800～5099	5100～5499	5500以上
75～80歳	3499以下	3500～3799	3800～4199	4200～4499	4500～4899	4900～5199	5200以上
80歳以上	3199以下	3200～3499	3500～3799	3800～4099	4100～4399	4400～4699	4700以上

これらの推定値は、Garmin Human Performance Lab によって提供およびサポートされています。

FTP レベル分類表

これらの表は、機能的作業閾値パワー (FTP) の推定値を性別で分類したものです。

男性	FTP レート (W/kg)
優れている	5.05 以上
非常に良い	3.93 ～ 5.04
良い	2.79 ～ 3.92
普通	2.23 ～ 2.78
一般 (未訓練)	2.23 未満

女性	FTP レート (W/kg)
優れている	4.30 以上
非常に良い	3.33 ～ 4.29
良い	2.36 ～ 3.32
普通	1.90 ～ 2.35
一般 (未訓練)	1.90 未満

FTP レートは Hunter Allen and Andrew Coggan, PhD, Training and Racing with a Power Meter (Boulder, CO: VeloPress, 2010) を基にしています。

タイヤサイズと周長

バイクアクティビティで使用する場合、スピードセンサーはタイヤ周長を自動検出します。スピードセンサーのセンサー設定から、手動で周長を入力できます。

タイヤサイズは自転車のタイヤ側面に記載されています。サイズが記載されていない場合は、周長を手動で計測するか、インターネット上の周長計算ツールなどを使用してください。

データ項目

注意：アクティビティタイプにより、表示可能なデータ項目が異なります。一部のデータ項目を表示するには、対応する ANT+ アクセサリまたは Bluetooth アクセサリが必要です。

ヒント：Garmin Connect アプリのデバイス設定からもデータ項目をカスタマイズできます。

ケイデンス / ピッチ

名前	説明
平均ケイデンス	現在のアクティビティの平均ケイデンス数(サイクリング)
平均ピッチ	アクティビティ中の平均ピッチ(ラン)
ケイデンス	クランクアームの毎分の回転数(サイクリング) (ケイデンスセンサーが必要です。)
ピッチ	一分間あたりのステップ数(左右合計) (ラン)
ラップケイデンス	現在のラップの平均ケイデンス数(サイクリング)
ラップピッチ	現在のラップの平均ピッチ(ラン)
前回ラップケイデンス	前回のラップの平均ケイデンス数(サイクリング)
前回ラップピッチ	前回のラップの平均ピッチ(ラン)

グラフ

名前	説明
気圧グラフ	現在までの気圧をグラフで表示
高度グラフ	現在までの高度をグラフで表示
心拍数グラフ	アクティビティ中の心拍数をグラフで表示
ペースグラフ	アクティビティ中のペースをグラフで表示
パワーグラフ	アクティビティ中のパワーをグラフで表示
スピードグラフ	アクティビティ中のスピードをグラフで表示

コンパス

名前	説明
コンパス方位	現在の移動方位を角度で表示(内蔵の電子コンパスを使用)
GPS 方位	現在の移動方位を角度で表示(GPS を使用)
進行方位	現在移動している方向

距離

名前	説明
距離	現在のアクティビティまたは軌跡の走行距離
Int. 距離	現在のインターバルの距離
ラップ距離	現在のラップの移動距離
前回ラップ距離	前回のラップの移動距離
前回の移動距離	前回の運動で移動した距離
移動距離	現在の運動で移動した距離
距離 (nm)	距離を海里 (nm) で表示

高度

名前	説明
平均上昇量	前回データリセット以降の垂直方向の平均上昇量
平均下降量	前回データリセット以降の垂直方向の平均下降量

名前	説明
高度	現在地の標高(海拔)
滑空比	現在の滑空比(垂直距離の変化に対する水平移動距離の比)
GPS 高度	GPS による現在地の標高
勾配	垂直方向(高度)の変化／水平方向(距離)の変化。例えば、3m の高度上昇あたり 60m 進んだ場合、勾配は 5%となる。
ラップ上昇量	現在のラップの上昇量
ラップ下降量	現在のラップの下降量
前回ラップ上昇量	前回のラップの上昇量
前回ラップ下降量	前回のラップの下降量
前回運動上昇	前回の運動中の上昇量
前回運動下降	前回の運動中の下降量
最大上昇量	前回データリセット以降の最高上昇量(一分間あたりの上昇距離)
最大下降量	前回データリセット以降の最高下降量(一分間あたりの下降距離)
最高高度	前回データリセット以降の最高高度
最低高度	前回データリセット以降の最低高度
運動上昇	現在の運動中の上昇量
運動下降	現在の運動中の下降量
総上昇量	前回データリセット以降の合計上昇距離
総下降量	前回データリセット以降の合計下降距離

フロアクライム

名前	説明
上昇階数	一日の総上昇階数
下降階数	一日の総下降階数
階数 / 分	一分間の上昇階数

フォース

名前	説明
3 秒フォース	ペダルプラットフォームに加えられた力の 3 秒移動平均値(ニュートン)
10 秒フォース	ペダルプラットフォームに加えられた力の 10 秒移動平均値(ニュートン)
30 秒フォース	ペダルプラットフォームに加えられた力の 30 秒移動平均値(ニュートン)
平均フォース	アクティビティ中にペダルプラットフォームに加えられた力の平均値(ニュートン)
フォース	ペダルプラットフォームに加えられた力(ニュートン)
ラップフォース	現在のラップ中にペダルプラットフォームに加えられた力の平均値(ニュートン)
ラップ標準化フォース	現在のラップ中にペダルプラットフォームに加えられた標準化力(ニュートン)
前回ラップフォース	前のラップ中にペダルプラットフォームに加えられた力の平均値(ニュートン)
前回ラップ標準化フォース	前のラップ中にペダルプラットフォームに加えられた標準化力(ニュートン)
最大フォース	アクティビティ中にペダルプラットフォームに加えられた力の最大値(ニュートン)
最大ラップフォース	現在のラップ中にペダルプラットフォームに加えられた力の最大値(ニュートン)
標準化フォース	ペダルプラットフォームに加えられた標準化力(ニュートン)

ギア

名前	説明
Di2 バッテリー	Di2 のバッテリー残量
フロント	現在のフロント(前)ギアの位置

名前	説明
ギアバッテリー	ギアポジションセンサーのバッテリー残量
ギアコンボ	現在のギアの組み合わせ
ギア	現在のフロントギア・リアギアの位置
ギア比	現在のフロントギア・リアギアの歯数
リア	現在のリア(後)ギアの位置

グラフィック表示

名前	説明
ピッチゲージ	現在のピッチを数値とカラーゲージで表示(ラン)
コンパスゲージ	現在の移動方位を角度で表示(内蔵の電子コンパスを使用)
GCT バランスゲージ	左右の接地時間のバランスを数値とカラーゲージで表示(ラン)
GCT ゲージ	接地時間を数値とカラーゲージで表示(ms = 1000 分の 1 秒) (ラン)
心拍ゾーンゲージ	現在の心拍数を数値とカラーゲージで表示
心拍ゾーン比	心拍ゾーン別タイムの比率を表示
PacePro ゲージ	PacePro トレーニングのスプリットペースと目標スプリットペースをゲージで表示(ラン)
パワーゲージ	現在のパワーを数値とカラーゲージで表示
スタミナゲージ(距離)	残りスタミナで走行可能な推定距離をゲージで表示
スタミナゲージ(タイム)	残りスタミナで走行可能な推定時間をゲージで表示
ステップスピードロスゲージ	ランニング中のステップスピードロスをゲージで表示
ステップスピードロス%ゲージ	ランニング中のステップスピードロス%をゲージで表示
総上昇量 / 総下降量ゲージ	現在のアクティビティまたは前回データリセット以降の上昇量と下降量の合計をゲージで表示
トレーニング効果ゲージ	有酸素トレーニング効果と無酸素トレーニング効果をゲージで表示
上下動ゲージ	自身の体が上下に動く 振れ幅を数値とカラーゲージで表示(ラン)
上下動比ゲージ	現在の歩幅に対する上下動の比率を数値とカラーゲージで表示

心拍数

名前	説明
心拍%HRR	心拍予備量(最大心拍数と安静時心拍数の差)に対する現在の心拍数の割合(%)
有酸素トレーニング効果	現在のアクティビティが有酸素フィットネスレベルに与える影響を示す値
無酸素トレーニング効果	現在のアクティビティが無酸素フィットネスレベルに与える影響を示す値
平均%HRR	現在のアクティビティの平均%HRR
平均心拍	現在のアクティビティの平均心拍数
平均心拍%Max	現在のアクティビティの平均%Max
心拍	現在の心拍数(bpm) (光学式心拍計または対応する心拍計が必要です。)
心拍 %Max	最大心拍数に対する現在の心拍数の割合(%)
心拍ゾーン	現在の心拍ゾーン(1 ~ 5)。デフォルトのゾーンはユーザープロフィールと最大心拍数(220 - 年齢)をもとに計算されます。
Int. 平均%HRR	現在のインターバルの平均%HRR(スイム)
Int. 平均%Max	現在のインターバルの平均%Max(スイム)
Int. 平均心拍	現在のインターバルの平均心拍数(スイム)
Int. 最大%HRR	現在のインターバルの最大%HRR(スイム)
Int. 最大%Max	現在のインターバルの最大%Max(スイム)
Int. 最大心拍	現在のインターバルの最大心拍数(スイム)
ラップ%HRR	現在のラップの平均%HRR

名前	説明
ラップ心拍	現在のラップの平均心拍数
ラップ心拍%Max	現在のラップの平均%Max
前回ラップ%HRR	前回のラップの平均%HRR
前回ラップ心拍	前回のラップの平均心拍数
前回ラップ心拍%Max	前回のラップの平均%Max
前回運動%HRR	前回の運動の平均%HRR
前回運動 HR	前回の運動の平均心拍数
前回運動心拍%Max	前回の運動の平均%Max
運動%HRR	現在の運動の平均%HRR
運動 HR	現在の運動の平均心拍数
運動心拍%Max	現在の運動の平均%Max
ゾーン(タイム)	心拍ゾーンごとの経過時間

ラップ(プールスイム)

名前	説明
Int. ラップ数	現在のインターバルで完了したラップ数(プールスイム)
ラップ数	現在のアクティビティで完了したラップ数(プールスイム)

ナビゲーション

名前	説明
方位	現在地から目的地までの方位(ナビゲーション実行中)
コース	出発地点から目的地までの方位(ナビゲーション実行中)
目的地	最終目的地の位置
目的地名称	目的地までのルート上の最終ポイント(ナビゲーション実行中)
残り距離	最終目的地までの残り距離(ナビゲーション実行中)
経由地所要距離	ルート上の次の経由地点までの残り距離(ナビゲーション実行中)
予想総距離	出発地点から最終目的地までの推定距離(ナビゲーション実行中)
到着時刻	最終目的地に到着する予想時刻(目的地の現地時間に調整されます。)(ナビゲーション実行中)
経由地到着時刻	ルート上の次の経由地点に到着する予想時刻(経由地点の現地時間に調整されます。)(ナビゲーション実行中)
所要時間	最終目的地に到着するまでにかかる予想所要時間(ナビゲーション実行中)
目的滑空比	現在地から目的地の標高まで降下するのに必要な滑空比(ナビゲーション実行中)
経緯度	現在地の緯度経度(位置フォーマット設定によらず緯度経度を表示します。)
位置	現在地(位置フォーマット設定で選択したフォーマットで表示します。)
次の分岐	NextFork™ マップガイドに基づくトレイルの次の分岐地点までの距離
経由地名称	ルート上の次のポイント(ナビゲーション実行中)
コース逸脱	コースから左右に外れている距離(ナビゲーション実行中)
経由地所要時間	ルート上の次の経由地点に到着するまでにかかる予想所要時間(ナビゲーション実行中)
コース有効速度	ルート上の目的地に向かって進んでいる速度(ナビゲーション実行中)
昇降距離	現在地と最終目的地の標高差(ナビゲーション実行中)
目的地昇降速度	目的地の高度に対する昇降速度(ナビゲーション実行中)

その他

名前	説明
運動消費カロリー	アクティビティ中に消費したカロリー
大気圧	校正されていない現在の気圧
校正気圧	校正された現在の気圧
バッテリー稼働時間	バッテリーの残量を稼働時間で表示
バッテリーレベル	バッテリーの残量
e- バイクバッテリー	e- バイクのバッテリー残量
航続可能距離	e- バイクの残りアシスト距離
フロー	現在のアクティビティのターンでスピードを維持してスムーズにライドしているかを示す指標
GPS	衛星信号の受信強度
グリット	高度や勾配、方向の変化に基づく現在のアクティビティの難易度
インターバル	現在のアクティビティで完了したインターバル数
ラップフロー	現在のラップのフリースコア
ラップグリット	現在のラップのグリットスコア
ラップ数	現在のアクティビティで完了したラップ数
前回ラウンド回数	アクティビティの前のラウンド中の回数
負荷	現在のアクティビティのトレーニング負荷。トレーニング負荷とは EPOC(運動後過剰酸素消費量)の合計値で、運動の激しさを示します。
運動回数	現在のアクティビティで完了した運動数
パフォーマンスコンディション	パフォーマンス能力をリアルタイムで評価するスコア
回数	ワークアウトのセットでの回数(ジムアクティビティ)
呼吸数	一分間あたりの呼吸の回数(brpm)
ラウンド	アクティビティ中の運動の数(ジャンプロープ(なわとび)など)
ステップ	現在のアクティビティ中のステップ数
ストレス	現在のストレスレベル
日の出時刻	GPS の位置情報に基づく現在地の日の出時刻
日の入時刻	GPS の位置情報に基づく現在地の日の入り時刻
時刻	現在地と時刻設定(時刻表示形式、タイムゾーン、サマータイム)に基づく時刻(時：分)
合計カロリー	一日の合計消費カロリー

ペース

名前	説明
500m ペース	現在のアクティビティの 500m あたりのペース(ローイング)
平均 500m ペース	現在のアクティビティの 500m あたりの平均ペース(ローイング)
平均ペース	現在のアクティビティの平均ペース
勾配調整されたペース(GAP)	地形の急勾配を考慮した平地を走った場合の推定平均ペース
Int. ペース	現在のインターバルの平均ペース
ラップ 500m ペース	現在のラップの 500m あたりの平均ペース(ローイング)
ラップペース	現在のラップの平均ペース
前回ラップ 500m ペース	前回のラップの 500m あたりの平均ペース(ローイング)
前回ラップペース	前回のラップの平均ペース
前回ラップペース	前回のラップの平均ペース(プールスイム)
前回運動ペース	前回の運動の平均ペース
運動ペース	現在の運動の平均ペース
ペース	現在のペース
ローリングペース	直近で完了した 1km(または 1mi)の平均ペース

PacePro

名前	説明
次のスプリット距離	次のラップ区間の距離(ラン)
次の目標スプリットペース	次のラップ区間の目標ペース(ラン)
スプリット距離	現在のラップ区間の距離(ラン)
残りスプリット距離	現在のラップ区間の残り距離(ラン)
スプリットペース	現在のラップ区間のペース(ラン)
目標スプリットペース	現在のラップ区間の目標ペース(ラン)

パワー

名前	説明
%FTP	機能的作業閾値パワー (FTP) に対する現在のパワー出力の割合 (%)
3 秒平均バランス	3 秒間の左右の平均パワーバランス値
平均パワー 3 秒	3 秒間の平均パワー出力
3 秒パワー -w/kg	3 秒間の平均パワー出力 (1kg 単位毎) をワット (w) で表示
10 秒平均バランス	10 秒間の左右の平均パワーバランス値
平均パワー 10 秒	10 秒間の平均パワー出力
10 秒パワー -w/kg	10 秒間の平均パワー出力 (1kg 単位毎) をワット (w) で表示
30 秒平均バランス	30 秒間の左右の平均パワーバランス値
平均パワー 30 秒	30 秒間の平均パワー出力
30 秒パワー -w/kg	30 秒間の平均パワー出力 (1kg 単位毎) をワット (w) で表示
平均バランス	現在のアクティビティの左右の平均パワーバランス値
平均 PP-L	現在のアクティビティの左ペダルの平均パワーフェーズ
平均パワー	現在のアクティビティの平均パワー出力
平均 PP-R	現在のアクティビティの右ペダルの平均パワーフェーズ
平均 PPP-L	現在のアクティビティの左ペダルの平均パワーフェーズピーク
平均 PCO	現在のアクティビティの平均プラットフォームセンターオフセット
平均 w/kg	1kg 単位毎の平均パワー出力をワット (w) で表示
平均 PPP-R	現在のアクティビティの右ペダルの平均パワーフェーズピーク
パワーバランス	現在の左右のパワーバランス値
パワー IF	現在のアクティビティの強度係数 (IF)
ラップバランス	現在のラップの左右の平均パワーバランス値
ラップ PPP-L	現在のラップの左ペダルの平均パワーフェーズピーク
ラップ PP-L	現在のラップの左ペダルの平均パワーフェーズ
ラップ最大パワー	現在のラップの最大パワー出力
ラップ NP	現在のラップの平均標準化パワー (NP)
ラップ PCO	現在のラップの平均プラットフォームセンターオフセット
ラップパワー	現在のラップの平均パワー出力
ラップパワー -w/kg	現在のラップの 1kg 単位毎の平均パワー出力をワット (w) で表示
ラップ PPP-R	現在のラップの右ペダルの平均パワーフェーズピーク
ラップ PP-R	現在のラップの右ペダルの平均パワーフェーズ
前回ラップ最大パワー	前回のラップの最大パワー出力
L LAP NP	前回のラップの平均標準化パワー (NP)
前回ラップパワー	前回のラップの平均パワー出力
ラップ PPP	現在の左ペダルのパワーフェーズピーク (パワー出力のピーク部分の開始地点と終了地点の角度)

名前	説明
PP-L	現在の左ペダルのパワーフェーズ(ペダルにトルクがかかっている範囲の開始地点と終了地点の角度)
最大パワー	現在のアクティビティの最大パワー出力
NP	現在のアクティビティの標準化パワー (NP)
ペダルスムーズネス	ペダルストローク全体を通してペダルに均等に力をかけているかを示す指標(ペダルストロークごとの最大パワーに対する平均パワーの割合)
PCO	プラットフォームセンターオフセット(ペダル面の中心から左右に何ミリメートルの位置に力がかかっているかを示す)
パワー	現在のパワー出力(ワット) (スキーアクティビティでは対応するハートレートセンサーの接続が必要です。)
パワー -w/kg	現在の体重 1kg あたりのパワー出力(ワット)
パワーゾーン	現在のパワーゾーン(パワーゾーンは FTP またはカスタム設定に基づきます。)
PPP-R	現在の右ペダルのパワーフェーズピーク(パワー出力のピーク部分の開始地点と終了地点の角度)
PP-R	現在の右ペダルのパワーフェーズ(ペダルにトルクがかかっている範囲の開始地点と終了地点の角度)
ゾーン(タイム)	パワーゾーンごとの経過時間
シットイングタイム	現在のアクティビティの合計シットイング(座り漕ぎ)タイム
ラップシットイングタイム	現在のラップの合計シットイング(座り漕ぎ)タイム
ダンシングタイム	現在のアクティビティの合計ダンシング(立ち漕ぎ)タイム
ラップダンシングタイム	現在のラップの合計ダンシング(立ち漕ぎ)タイム
パワー TSS	現在のアクティビティのトレーニングストレススコア (TSS)
トルク効率	ペダリングの効率の良さを示す指標(総出力に対する正の出力の割合(%))
パワー KJ	累積動作量(パワー出力)をキロジュール (KJ) で表示

休息

名前	説明
休息リピート	前回のインターバルと現在の休息インターバルの合計タイム(プールのスイム)
休息タイム	現在の休息インターバルのタイム(プールのスイム)

ランニングダイナミクス

名前	説明
平均 GCT バランス	現在の平均接地時間バランス
平均接地時間	現在のアクティビティの平均接地時間
平均ステップスピードロス	現在のアクティビティの平均ステップスピードロス
平均ステップスピードロス%	現在のアクティビティのスピードに対するステップスピードロスの割合(%)の平均値
平均歩幅	現在の平均歩幅
平均上下動	現在のアクティビティの平均上下動
平均上下動比	現在の平均上下動比(歩幅に対する上下動の比率)
GCT バランス	現在の左右の足の接地時間バランス
接地時間 (GCT)	地面に足が着いている時間をミリ秒(ms) で表示(接地時間は歩いているときには表示されません。)
ラップ GCT バランス	現在のラップの平均接地時間バランス
ラップ接地時間	現在のラップの平均接地時間
ラップステップスピードロス	現在のラップの平均ステップスピードロス
ラップステップスピードロス%	現在のラップのスピードに対するステップスピードロスの割合(%)の平均値
ラップ歩幅	現在のラップの平均歩幅

名前	説明
ラップ上下動	現在のラップの平均上下動
ラップ上下動比	現在のラップの平均上下動比(歩幅に対する上下動の比率)
ステップスピードロス	現在のステップスピードロス(cm/s)
ステップスピードロス%	現在のランニングスピードに対するステップスピードロスの割合(%)
歩幅	一歩あたりの歩幅をメートル(m)で表示
上下動	ランニング中の一歩ごとの胴体の垂直方向の振れ幅をセンチメートル(cm)で表示
上下動比	歩幅に対する上下動の比率

スピード

名前	説明
平均移動速度	現在のアクティビティの停止時間を除く平均移動速度
平均全体速度	現在のアクティビティの停止時間を含む平均速度
平均スピード	現在のアクティビティの平均スピード
平均 SOG	現在のアクティビティのコースや一時的な方位変動を考慮しない平均対地速度
ラップ SOG	現在のラップのコースや一時的な方位変動を考慮しない平均対地速度
ラップスピード	現在のラップの平均スピード
前回ラップ SOG	前回のラップのコースや一時的な方位変動を考慮しない平均対地速度
前回ラップスピード	前回のラップの平均スピード
前回運動スピード	前回の運動の平均スピード
最大 SOG	現在のアクティビティのコースや一時的な方位変動を考慮しない最大対地速度
最高スピード	現在のアクティビティの最高スピード
運動スピード	現在の運動の平均スピード
スピード	現在の移動速度
SOG	コースや一時的な方位変動を考慮しない実際の対地速度
昇降速度	上昇または下降の速度

スタミナ

名前	説明
スタミナ	現在の残りのスタミナ
残り距離	現在のエフォートで残りのスタミナで走行可能な推定距離
潜在的なスタミナ	残りの潜在的なスタミナ
残り時間	現在のエフォートで残りのスタミナで走行可能な推定時間

ストローク

名前	説明
平均ストローク距離	アクティビティ中の一回のストロークで進む平均距離(スイム)
平均ストローク距離	アクティビティ中の一回のストロークで進む平均距離(パドルスポーツ)
平均ストロークレート	アクティビティ中の一分間あたりの平均ストローク数(パドルスポーツ)
平均ラップストローク数	アクティビティ中の1ラップあたりの平均ストローク数(プールスイム)
ストローク距離	一回のストロークで進む距離(パドルスポーツ)
Int. ラップストローク数	現在のインターバルの1ラップあたりの平均ストローク数(プールスイム)
Int. ストロークタイプ	現在のインターバルのストロークタイプ
ラップストローク距離	現在のラップの一回のストロークで進む平均距離(スイム)
ラップストローク距離	現在のラップの一回のストロークで進む平均距離(パドルスポーツ)
ラップストロークレート	現在のラップの一分間あたりの平均ストローク数(スイム)

名前	説明
ラップストロークレート	現在のラップの一分間あたりの平均ストローク数(パドルスポーツ)
ラップストローク数	現在のラップの合計ストローク数(スイム)
ラップストローク数	現在のラップの合計ストローク数(パドルスポーツ)
前回ラップストローク距離	前回のラップの一回のストロークで進む平均距離(スイム)
前回ラップストローク距離	前回のラップの一回のストロークで進む平均距離(パドルスポーツ)
前回ラップストロークレート	前回のラップの一分間あたりの平均ストローク数(スイム)
前回ラップストロークレート	前回のラップの一分間あたりの平均ストローク数(パドルスポーツ)
前回ラップストローク数	前回のラップの合計ストローク数(スイム)
前回ラップストローク数	前回のラップの合計ストローク数(パドルスポーツ)
前回ラップストローク数	前回のラップの合計ストローク数(プールスイム)
前回ラップストロークタイプ	前回のラップのストロークタイプ(プールスイム)
ストロークレート	一分間あたりのストローク数(スイム)
ストロークレート	一分間あたりのストローク数(パドルスポーツ)
ストローク数	アクティビティ中の合計ストローク数(スイム)
ストローク数	アクティビティ中の合計ストローク数(パドルスポーツ)

SWOLF

名前	説明
平均 SWOLF	現在のアクティビティの平均 SWOLF スコア。SWOLF スコア = 1 ラップのタイム(秒)とストローク数の和(27 ページ スイム用語)。屋外スイムアクティビティの SWOLF スコアは、1 ラップ 25m として計算される。
Int. SWOLF	現在のインターバルの平均 SWOLF スコア
ラップ SWOLF	現在のラップの SWOLF スコア
前回ラップ SWOLF	前回のラップの SWOLF スコア
前回ラップ SWOLF	前回のラップの SWOLF スコア(プールスイム)

気温

名前	説明
最高気温(24H)	過去 24 時間以内の最高気温(別売の対応する温度センサーが必要です。)
最低気温(24H)	過去 24 時間以内の最低気温(別売の対応する温度センサーが必要です。)
温度	温度(温度センサーが体の近くにあると体温の影響を受けます。Tempe センサーをペアリングして使用する場合は、体から離してください。)

タイマー

名前	説明
運動時間	現在のアクティビティの合計運動時間
平均ラップタイム	現在のアクティビティの平均ラップタイム
平均運動時間	現在のアクティビティの運動の平均タイム
平均ポーズタイム	現在のアクティビティのポーズの平均タイム
経過時間	タイマーをスタートしてからアクティビティを終了するまでのタイム(自動ポーズやタイマー停止中も含む、アクティビティを保存するまでのタイム)
到着予想時間	ナビゲーションの目的地に到着するまでにかかる予想時間
Int. タイム	現在のインターバルのタイム
ラップタイム	現在のラップのタイム
前回ラップタイム	前回のラップのタイム
前回運動時間	前回の運動のタイム

名前	説明
前回ポーズタイム	前回のポーズのタイム
運動時間	現在の運動のタイム
移動時間	現在のアクティビティの合計運動時間
先行 / 遅延	目標ペースまたは目標スピードに対する先行 / 遅延時間
ポーズタイム	現在のポーズのタイム
セットタイム	筋力トレーニングの現在のセットのタイム
停止時間	現在のアクティビティの合計停止時間
スイムタイム	現在のアクティビティの泳いだ時間(休息を除く)
タイム	現在のアクティビティのタイム

ワークアウト

名前	説明
残り回数	ワークアウトの動作の残りリピート回数
ステップ継続時間	現在のワークアウトのステップの残り距離またはタイム
ステップペース	ワークアウトのステップの現在のペース
ステップスピード	ワークアウトのステップの現在のスピード
ステップタイム	現在のワークアウトのステップのタイム

商標について

Garmin, Garmin ロゴ, ANT+, Approach, Auto Lap, Auto Pause, Edge, inReach, Move IQ, QuickFit, Virtual Partner は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。Body Battery, Connect IQ, Garmin Human Performance Lab, Garmin AutoShot, Garmin Connect, Garmin Connect+, Garmin Express, Garmin Golf, Garmin Messenger, Garmin Pay, Health Snapshot, HRM-Fit, HRM-Pro series, HRM-Swim, HRM-Tri, Index, NextFork, PacePro, Rally, SatIQ, tempe, Varia, Vector は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずには使用することはできません。

Android™ は Google LLC の商標です。Apple®, iPhone®, iTunes® は米国および他の国々における Apple Inc. の登録商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。Handicap Index® と Slope Rating® は全米ゴルフ協会の登録商標です。The Cooper Institute® および関連する商標は The Cooper Institute が所有しています。Di2™ は Shimano, Inc. の商標です。Shimano® は Shimano, Inc. の登録商標です。iOS® は、Apple Inc. のライセンスに基づいて使用される Cisco Systems, Inc. の登録商標です。NOAA® は、National Oceanic and Atmospheric Administration の登録サービスマークです。STRAVA および Strava™ は Strava, Inc. の商標です。Training Stress Score™ (TSS), Intensity Factor™ (IF), Normalized Power™ (NP) は Peaksware, LLC の商標です。USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Zwift™ は Zwift Inc. の商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A05146, A05147

